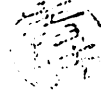


課 員
研修生係長
人事係長
主幹兼課長
補佐兼係長
課 長



(事務連絡)
平成 24 年 4 月 2 日

延岡市 総務部 職員課 御中

(平成 23 年度国土交通省研修員)
延岡市 企画部 企画課
甲斐 章悟

研修に係る勤務状況等について（報告）

いつもお世話になっております。

平成 24 年 3 月の勤務状況につきまして、別紙のとおりご報告いたします。

また、平成 23 年度の国交省研修を終え、規制するにあたって航空便を利用いたしましたので、手続き上必要な書類等についてご報告させていただきます。

内容のご確認及びご対応の程、よろしくお願いたします。

記

(別紙)

- ・ 勤務状況報告書（平成 24 年 3 月分）
- ・ 出勤簿（平成 24 年 3 月分）
- ・ 平成 23 年度 国土交通行政実務研修レポート

(予約航空便)

往路：SNA059 便（3/28（火）羽田 15:55 発）

※ 添付書類

- ・ SNA 搭乗案内書
- ・ 領収書

勤務状況報告書

所属：国土交通省 国土政策局 総合計画課 国土基盤班

研修員氏名：甲斐 章悟

【 平成24年 3月分 】

日	曜日	休暇の状況					時間外・休日勤務の状況					
		年次休暇		その他の休暇								
		時分	～ 時分	日時	事由	時分	～ 時分	日時	時分	～ 時分	日時	
1	木	:	~	:				:	~	:		
2	金	:	~	:				18:15	~	21:00		2h45m
3	土	:	~	:				:	~	:		
4	日											
5	月	:	~	:				18:15	~	21:30		3h15m
6	火	:	~	:				18:15	~	20:30		2h15m
7	水	:	~	:				18:15	~	20:30		2h15m
8	木	:	~	:				:	~	:		
9	金	:	~	:				:	~	:		
10	土	:	~	:				:	~	:		
11	日											
12	月	:	~	:				:	~	:		
13	火	:	~	:				18:15	~	20:30		2h15m
14	水	:	~	:				18:15	~	19:30		1h15m
15	木	:	~	:				:	~	:		
16	金	:	~	:				18:15	~	20:00		1h45m
17	土	:	~	:				:	~	:		
18	日											
19	月	:	~	:				:	~	:		
20	火											
21	水	:	~	:				18:15	~	21:30		3h15m
22	木	:	~	:				:	~	:		
23	金	:	~	:				:	~	:		
24	土	:	~	:				:	~	:		
25	日											
26	月	:	~	:				:	~	:		
27	火	9:30	~	18:15	1日			:	~	:		
28	水	9:30	~	18:15	1日			:	~	:		
29	木	9:30	~	18:15	1日			:	~	:		
30	金	9:30	~	18:15	1日			:	~	:		
31	土	:	~	:				:	~	:		
計					4日							

上記の通り報告します。

平成24年 4月 2日

所属長名：総合計画課長 北本 政行



延岡市長 様

出 勤 簿

氏 名		集										計					
		年次休暇		病 氣 休 暇 日/時/分	特 別 休 暇 日/時/分	短 從 許 可 期 間		欠 勤 時/分	其 他								
		使 用 日/時/分	残 日/時/分			使 用 日/時	残 日/時										
七 月	日曜							土曜	日曜								
八 月	休日							土曜	日曜								
九 月				土曜	日曜					土曜	日曜						
十 月			土曜	日曜						土曜	日曜						
十一 月	土曜	日曜						土曜	日曜								
十二 月	日曜	休日						土曜	日曜								
年次休暇 附与日数	繰越分		日	備 考		合 計		///	///	///	///	///	///	///	///	///	///
	本年分		日														

日 月	出										欠					31
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
七 月	日曜						土曜	日曜						土曜	日曜	
八 月	休日					土曜	日曜						土曜	日曜		
九 月				土曜	日曜						土曜	日曜				
十 月			土曜	日曜						土曜	日曜					
十一 月	土曜	日曜						土曜	日曜					土曜		
十二 月	日曜	休日					土曜	日曜					土曜	日曜		

平成 23 年度 国土交通行政実務研修レポート

所 属：(延岡市 総務部 職員課付)
国土交通省 国土政策局 総合計画課
研修員氏名：甲斐 章悟

下記のとおり、平成 23 年度国土交通行政実務研修に関して、研修レポートを提出いたします。

1. 研修期間

平成 23 年 4 月 1 日(金) ～ 平成 24 年 3 月 30 日(金)

2. 担当業務及び業務内容

(1) 委託調査に関すること

国土基盤班の委託調査のうち、「アジア共通交通施策の策定に向けた検討ツール活用に関する調査」及び「平成 23 年度 更新需要の推計を踏まえた長期的な国土基盤の適切な管理運営手法に関する検討調査」について、委託調査の契約締結までの手続き及び調査業務内容の検討等に関する業務を担当させていただきました。

① 「アジア共通交通施策の策定に向けた検討ツール活用に関する調査」

アジア共通政策の策定を目的として、行政及び研究者間で情報を共有化するための枠組を検討するとともに、アジア共通交通政策の策定に向けた課題の抽出やアジア交通政策検討ツールについて検討を行うものです。

1 年間を通して調査業務の打合せに参加させていただくとともに、11 月には、総合計画課が主催する「第 3 回アジア交通統計に関するワークショップ」にも参加させていただき、東アジア 7 カ国の研究者・行政担当者から各国の交通統計に関するご報告をお聞きすることができました。

また、2 月には「アジア交通統計に関するアドバイザリー会合」に参加させていただき、将来的な交通統計データベースの利用・維持管理等に係る有識者の方々の議論をお聞かせいただきました。

【参考】「第 3 回アジア交通統計に関するワークショップ」

アジア各国の政府や関係機関、民間投資家等が交通部門への投資を拡大する上で必要不可欠なアジアの交通統計情報に関する共通基盤の形成を目指して、日本のイニシアティブの下で東アジア諸国の関係者が一堂に会して意見と情報を交換することを目的として開催するもの。

② 「平成 23 年度 更新需要の推計を踏まえた長期的な国土基盤の適切な管理運営手法に関する検討調査」

地域における国土基盤ストックの管理運営に関する個別具体的な実態、課題を抽出し、その対応方策を検討することにより、長期的視点に立った国土基盤の適切な管理運営のあり方について検討するものです。

総務省自治財政局財務調査課と共同で全国の市区町村を対象としたアンケートを実施し、推計ソフトを活用して具体自治体の将来的な公共施設・インフラの維持・更新需要を推計するなど、自治体が抱える問題についてミクロの視点で検討を重ねてきました。

(2) 国土審議会政策部会に関すること

① 「長期展望委員会」に関すること

平成 22 年度に設置された「長期展望委員会」は、国土の将来を長期展望することで、その姿を定量的に分かりやすく描き出し、その結果を踏まえ、将来の国土に関する課題の整理を行い、国民の議論を喚起するための材料の提示を行うことを目的としています。

今年度の開催実績はありませんでしたが、関連する下記講演会準備等の補助業務を担当させていただき、また、講演会への出席を通して有識者の専門的知見をお聞きできました。

i 「国土の長期展望に資する国際動向把握に関する講演会」

【講演テーマ及び講演者】

- ・「アジアの時代と日本の地域政策」～大西 隆（東京大学大学院 教授）
- ・「国土の長期展望に資する国際動向把握」～中前 忠（中前国際経済研究所 所長）
- ・「ポスト 3. 1 1 の日本とアジア」～白石 隆（政策研究大学院大学 学長）
- ・「東アジア諸国の越境地域政策の現状と課題」～江 京禄（国総研 研究官）
- ・「インドの衝撃」～天川 恵美子（NHK チーフプロデューサー）
- ・「水をめぐる世界の長期展望」～沖 大幹（東京大学教授）
- ・「世界の食料・農業の現状」～松田 祐吾（FAO 日本事務所 次長）

ii 委員長・WG 座長会合

【講演テーマ及び講演者】

- ・「戦略的国土形成」～岡部 明子（千葉大学大学院 准教授）
- ・「人口減少下においても成長を続けていくためにはどうすべきか」
～寺島 実郎（(株)三井物産戦略研究所 所長）
- ・『国土の長期展望』について～中里 透（上智大学 准教授）
- ・「21 世紀型社会システムとは何か、震災と人口減少を踏まえて国土審長期展望委員会中間報告が示唆するもの」～高橋 鉦士（国際医療福祉大 教授）
- ・「持続可能で活力ある国土づくりのための経済」～原田 泰（大和総研 顧問）
- ・『持続可能で活力ある国土・地域』づくりを行う上で、地域政策の観点からはどう考えるべきか～宮口 侗迪（早稲田大学教育・総合科学学術院 教授）

② 「防災国土づくり委員会」に関すること

災害に強い国土構造への再構築に係る重要課題について、調査・審議を行い、全国的観点から災害に強い国土構造の方針を示すとともに、東北圏のあり方について議論を行うものです。7月には本委員会での議論を受け、中間取りまとめとして「災害に強い国土づくりへの提言～減災という発想にたった巨大災害への備え～」が取りまとめられています。

平成23年度に設置された本委員会は6月～7月にかけて計4回開催されましたが、準備等に係る補助業務並びに委員会資料の作成及び必要な資料の収集等を担当しました。

(3)その他

① 北海道視察について

国土交通省後援により開催される「第576回建設技術講習会」において、国土交通省国土政策局総合計画課が「災害に強い国土づくり」をテーマに講師を務めるため、随行させていただくとともに、我が国にとって人流・物流の国際戦略上重要な位置付けにある国土基盤である、国際拠点港湾の苫小牧港及び新千歳空港の視察をさせていただきました。

3. 国土交通大学校での研修について

(1)研修課程

都市行政研修「中心市街地をはじめとする地域の活性化と『新しい公共』等を活用したまちづくり」

(2)研修期間

平成24年2月13日(月) ～ 2月24日(金)

(3)研修内容

① ゼミナール課題

具体的な地域における課題と解決方法について班別に討議することにより、意見を集約する能力、実践的な応用力を養うことを目的としており、今回、甲府市の中心市街地活性化のためのプロジェクトを提案させていただきました。

なお、プロジェクトの提案にあたっては、班別に甲府市の中心市街地を実際に視察するとともに、研修中の有識者による講義や甲府市の中心市街地活性化に係る取組を参考としつつ資料を作成し、甲府市副市長ら有識者に発表を行いました。

【プロジェクト提案概要】

煩雑に広範囲に広がる中心市街地は、①歴史・観光・産業といった資源を強みとして有効活用できるようにし、②ゾーニングにより意味付け・特性を持たせた上で、にぎわいのあり方を再配置・集約する必要があるとの目的意識から、プロジェクトの提案にあたっては、あらゆる世代が快適なまちなか居住を実現することで内需が継続して循環しつつ、かつ、外需も呼び込めるような視点をポイントに、提案させていただきました。

② 講義

【講演テーマ及び講演者】

- ・「講話」～英 直彦（国土交通省 都市局 まちづくり推進課 官民連携推進室長）
- ・「国土交通省における官民連携による中心市街地等の活性化の取組」
～渡部 美津子（国土交通省 都市局 まちづくり推進課 官民連携推進室課長補佐）
- ・「地域コミュニティの現状と新しい公共による地域づくり」
～高石 将也（国土交通省 国土政策局 地域振興課 地域づくり活動推進官）
- ・「地域活性化にかかる国の施策」～長澤 宏（内閣官房 地域活性化統合事務局
内閣府 地域活性化推進室 参事官補佐）
- ・「中心市街地の活性化と産業政策」
～内山 紀美子（経済産業省 商務流通グループ 流通政策課 中心市街地活性化室）
- ・「都市交通と地域の活性化」～中村 文彦（横浜国立大学大学院 教授）
- ・「まちづくりと経済政策」～福井 秀夫（政策研究大学院大学 教授）
- ・「地域の活性化」～河西 邦人（札幌学院大学経営学部 教授）
- ・「エリア・マネジメント」～小林 重敬（東京都市大学都市生活学部 教授）
- ・「コンパクトシティ」～海道 清信（名城大学都市情報学部 教授）
- ・「都市計画の理念」～渡辺 俊一（東京理科大学理工学部 教授）
- ・「賑わいを呼ぶまちづくり」
～堀 繁（東京大学アジア生物資源環境研究センター 教授）
- ・「民間の新たな担い手によるまちづくり」～木下 斉（一般財団法人エリア・イノベーション・アライアンス代表理事、熊本城東マネジメント(株)代表取締役）
- ・「21世紀日本の都市計画」～養原 敬（(株)養原計画事務所代表、都市プランナー）
- ・「エリアマネジメント手法を活かしたまちづくり」～関 幸子（内閣府経済社会総合研究所客員研究員、(株)ローカルファースト研究所代表取締役）
- ・「地域の活性化における地方都市の取組」
～加藤 博（青森市新町商店街振興組合 副理事長）
- ・「人を集める」～廣野 研一（三菱地所(株)大阪支店 副支店長）
- ・「ワークショップによる地域の活性化」
～福永 順彦（場所づくり研究場(有)プレイス）
- ・「新しい公共の担い手と行政の協働」～長島 剛（多摩信用金庫価値創造事業部長）
- ・「新しい公共の担い手と行政の協働」～齋藤 大輔（三鷹市企画部企画経営課）
- ・「甲府市の中心市街地活性化に関する概要説明」～宇野 善昌（甲府市副市長）

(4)研修の感想

2週間にわたって21名の先生方から講義を受け、まちづくりの基礎的学習のみならず、エリアマネジメント、都市交通、コンパクトシティ、都市景観及び新しい公共といった、まちづくりを進める上での具体的な視点や手法についても専門的知見をお聞きすることができました。また、まちづくりに実際に関わっている経験・失敗事例等を踏まえ、具体的に問題点や改善方法をご示唆いただいたことは、今後、中心市街地活性化について検討する上で非常に参考になりました。特に、単に賑わいの意味で活性化を図るのではなく、「まちづくり株式会社」として戦略的に経済活性化を図る中心市街地活性化のあり方に関する関氏及び木下氏の講義について非常に興味を覚えており、「まちづくり株式会社」の仕組み・運用手法等について今後も勉強していきたいと考えています。

また、甲府市において中心市街地活性化のケーススタディ及びプロジェクトの提案をさせていただきましたが、現状分析、課題の抽出、対応方策の検討、活用する事業の検討又は結果の信頼性等、個々のステップそれぞれに難しさがあり、まちづくりのビジョンや望ましいあり方を検討することがいかに難しいことかを実感しました。一方、具体的に難しさを経験できたことは私にとって有意義なことであり、まちにどう賑わいを仕掛けるのか、新しい公共とどのように連携していくのか、行政がどうバックアップすることが望ましいかなど、今後具体的な検討に結びつけていきたいと思えます。

4. 国土交通行政実務研修の成果（自己評価・感想）

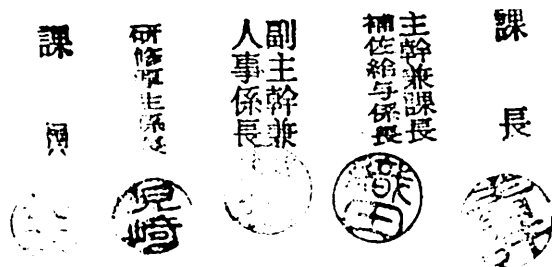
1年間という短い期間での研修はあっという間で、長期展望委員会や継続検討している担当の調査業務も含め、1サイクルが終わるといった感覚は正直無く、まだ引き続き関わりたいながら勉強させていただきたいと感じています。振り返ってみると、国交省の組織体制、国土基盤に関する基礎知識、飛び交う専門用語に戸惑いながらも何とか研修を終えることができたのは、暖かくご指導下さった国土基盤班をはじめ総合計画課の皆様のおかげです。

国土政策局での研修は、地方自治体職員である私にとって大変有意義であったと感じており、その理由としては、まず、①有識者の専門的知見を伺う機会が非常に多かったこと、が挙げられます。特に国際的又は国土政策上の鳥瞰的な広い視点で物事を見る機会は、地方自治体職員にとって貴重な機会であり、勉強して学ぶ知見ではなく、有識者の視点や物事の考え方に触れることができたことが非常に参考になりました。

また、②担当する国土基盤ストックに関する調査業務及び国交大研修が地方自治行政に結びつけ、活かせる内容であったこと、が挙げられ、しかも専門的に掘り下げて検討・議論することができました。

それから、③防災国土づくり委員会に参加できたこと、も理由に挙げられます。3.11の東日本大震災は、我が国にとって未曾有の大災害でしたが、国民の生命・生活を守る上でも必要不可欠なインフラ・国土の所管省である国土交通省の本省内部で見聞し、私なりに考える機会があったことを重く受け止めるとともに、延岡市民の生命・生活を守る使命を見つめ直すことができました。

国土交通省国土政策局総合計画課に私が出向した意味、期待される役割と向き合いながら、今後、延岡市に少しでも付加価値を創造できるよう、努力していきます。



(事務連絡)
平成24年3月1日

延岡市 総務部 職員課 御中

国土交通省 国土政策局 総合計画課
甲斐 章悟

研修に係る勤務状況等について（報告）

いつもお世話になっております。

平成24年2月の勤務状況につきまして、別紙のとおりご報告いたします。

また、国交大研修時の寮費・食費の領収書を受領しましたので、提出させていただきます。

内容のご確認及びご対応の程、よろしくお願いいたします。

記

(別紙)

- ・ 勤務状況報告書（平成24年2月分）
- ・ 出勤簿（平成24年2月分）
- ・ 領収書（国交大研修の寮費・食費）

以上

勤務状況報告書

所属：国土交通省 国土政策局 総合計画課 国土基盤班

研修員氏名：甲斐 章悟

【 平成24年 2月分 】

日	曜日	休暇の状況					時間外・休日勤務の状況	
		年次休暇		事由	その他の休暇			
		時分 ~ 時分	日時		時分 ~ 時分	日時	時分 ~ 時分	日時
1	水	: ~ :			: ~ :		18:15 ~ 19:30	1h15m
2	木	: ~ :			: ~ :		18:15 ~ 19:30	1h15m
3	金	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
4	土	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
6	月	: ~ :			: ~ :		18:15 ~ 20:00	1h45m
7	火	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
8	水	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
9	木	: ~ :			: ~ :		18:15 ~ 21:00	2h45m
10	金	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
13	月	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
14	火	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
15	水	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
16	木	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
17	金	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
18	土	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
20	月	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
21	火	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
22	水	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
23	木	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
24	金	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
25	土	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
27	月	: ~ :			: ~ :		18:15 ~ 21:00	2h45m
28	火	: ~ :			: ~ :		18:15 ~ 20:00	1h45m
29	水	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
		: ~ :			: ~ :		: ~ :	
		: ~ :			: ~ :		: ~ :	
計								

上記の通り報告します。

平成24年 3月 1日

所属長名：総合計画課長 北本 政行



延岡市長 様

平成 24 年

出勤簿

氏名

甲斐 章悟

日 月	出 欠																集 計									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	年次休暇		病 氣 休 暇 日/時/分	特 別 休 暇 日/時/分	短 從 許 可 期 間		欠 勤 時/分	その他		
	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	使 用 日/時/分	残 日/時/分			使 用 日/時	残 日/時				
一 月	日曜			欠 働 19			土曜	日曜	休日					土曜	日曜											
二 月						土曜	日曜	出張	出張			土曜	日曜	研修	研修	研修										
三 月			土曜	日曜																						
四 月	日曜							土曜	日曜					土曜	日曜											
五 月					土曜	日曜							土曜	日曜												
六 月		土曜	日曜							土曜	日曜															
七 月	土曜	日曜								土曜	日曜				土曜											
年次休暇 附与日数	繰越分		日		備考												合計									
	本年分		日																							

本と相違ない事を証明します。
 平成24年 5 月 / 日
 国土政策局 総合計画課
 勤務時間管理員
 菊池 公一

課 員
課 長
主幹兼課長
楠佐給与係長
副主幹兼
人事係長
研修厚生係長



(事務連絡)
平成24年2月6日

延岡市 総務部 職員課 御中

国土交通省 国土政策局 総合計画課
甲斐 章悟

研修に係る勤務状況等について（報告）

いつもお世話になっております。

平成24年1月の勤務状況につきまして、別紙のとおりご報告いたします。

また、2/7～2/8の日程で下関市及び福岡市に出張いたします。詳細等につきましては後日ご報告いたしますが、取り急ぎ出張概要について別紙のとおりご報告させていただきます。

内容のご確認及びご対応の程、よろしく願いいたします。

記

(別紙)

- ・ 勤務状況報告書（平成24年1月分）
- ・ 出勤簿（平成24年1月分）
- ・ 下関市・福岡市出張の概要

以上

下関市・福岡市出張の概要

1. 出張の目的

(1) 下関市

担当する今年度調査業務（国土基盤ストックの管理運営戦略の検討）のケーススタディを下関市と進めており、当方の調査・分析結果をもとに将来的な維持・更新需要の対応について下関市とディスカッションを行う。

(2) 福岡市

PFI 法施行以降、官民連携による効率的な公共施設・社会インフラ資産の維持・更新について関心が高まりつつあるが、国内における取組状況はまだ事例も少なく、今後、より効果的な PFI 等 PPP の取組について推進していく必要があると認識しているところである。

上記の目的意識から、「福岡 PPP プラットフォーム第 5 回セミナー」開催の趣旨や PPP の取組について、福岡市財政局アセットマネジメント推進部からのヒアリングを行う。

2. スケジュール

(2月7日)

14:30～19:51 (新幹線+JR) 東京→下関
※ 下関市内に宿泊

(2月8日)

9:50～12:00 下関市役所にてディスカッション
12:38～14:00 (JR+新幹線+地下鉄) 下関→天神
15:30～17:00 福岡市からのヒアリング
21:15～22:45 (地下鉄+飛行機) 天神→福岡空港→羽田

課長



主幹兼課長
禮佐繪与保長



副主幹兼
人事係長



研修厚生係長



課員



(事務連絡)
平成24年1月10日

延岡市 総務部 職員課 御中

国土交通省 国土政策局 総合計画課
甲斐 章悟

研修に係る勤務状況について（報告）

いつもお世話になっております。

平成23年12月の勤務状況等につきまして別紙のとおりご報告いたします。

内容のご確認及びご対応の程、よろしくお願いいたします。

記

(別紙)

- ・ 勤務状況報告書（平成23年12月分）
- ・ 出勤簿（平成23年12月分）
- ・ 国土交通省派遣研修 第3回報告書

以上

勤務状況報告書

所属：国土交通省 国土政策局 総合計画課 国土基盤班

研修員氏名：甲斐 章悟

【 平成23年 12月分 】

日	曜日	休暇の状況					時間外・休日勤務の状況			
		年次休暇		日時	事由	その他の休暇		日時		
		時分	～ 時分			時分	～ 時分			
1	木	：	～	：			：	～	：	
2	金	：	～	：			18：15	～	20：00	1h45m
3	土	：	～	：			：	～	：	
	日									
5	月	：	～	：			18：15	～	23：45	5h30m
6	火	：	～	：			18：15	～	19：30	1h15m
7	水	：	～	：			18：15	～	23：30	5h15m
8	木	：	～	：			：	～	：	
9	金	：	～	：			18：15	～	21：30	3h15m
10	土	：	～	：			：	～	：	
	日									
12	月	：	～	：			18：15	～	19：30	1h15m
13	火	：	～	：			18：15	～	20：45	2h30m
14	水	：	～	：			18：15	～	20：00	1h45m
15	木	：	～	：			：	～	：	
16	金	：	～	：			：	～	：	
17	土	：	～	：			：	～	：	
	日									
19	月	：	～	：			：	～	：	
20	火	：	～	：			：	～	：	
21	水	9：30	～	14：00	4/8		：	～	：	
22	木	：	～	：			：	～	：	
	金									
24	土	：	～	：			：	～	：	
	日									
26	月	：	～	：			18：15	～	20：30	2h15m
27	火	：	～	：			：	～	：	
28	水	9：30	～	18：15	1日		：	～	：	
	木									
	金									
31	土	：	～	：			：	～	：	
計										

上記の通り報告します。

平成24年 1月 10日

所属長名：総合計画課長 北本 政



延岡市長 様

平成 24 年 1 月 10 日

延岡市総務部職員課付

甲斐 章悟

(国土交通省国土政策局総合計画課)

国土交通省派遣研修 第 3 回報告書

1. 派遣先に係る状況報告

(1) 「長期展望委員会」について

本課が事務局を務める国土審議会政策部会「長期展望委員会」は、「人口減少の進行、急速な高齢化等を踏まえた国土の長期展望を行い、将来的な国土の重要課題について調査審議する」ことを目的として昨年 9 月に設置されました。

この委員会の再開に向け、10 月 6 日にシナリオ設定のための WG(ワーキンググループ)が開催されましたが、その際に委員から「基本的なテーマの設定に関する議論を踏んだ方が良い。」との意見があがったことから、今後の検討の方向性に関する勉強会を 2 回に渡って下記のとおり実施いたしました。

① 第 1 回委員長・WG 座長会合 (12/8)

講演者：岡部 明子 氏 (千葉大学工学研究科 准教授)

寺島 実郎 氏 ((株)三井物産戦略研究所 所長、(財)日本総合研究所 理事長)

② 第 2 回委員長・WG 座長会合 (12/13)

講演者：中里 透 氏 (上智大学経済学部 准教授)

高橋 鉦士 氏 (国際医療福祉大 教授)

(2) 「東京圏の中核機能のバックアップに関する検討会」について

立法、司法、行政の三権のみならず、経済・情報等の諸機能の中核が集中する東京圏が被災した場合には、国内のみならず世界的にも広くその影響が及ぶことが想定されることから、これらの中核機能のバックアップ(代替による維持確保)に関する検討を行うことを目的として、12 月 9 日に第 1 回目、そして 12 月 27 日に第 2 回目の「東京圏の中核機能のバックアップに関する検討会」が開催されました。

※ 資料 1. 「東京圏の中核機能のバックアップに関する検討会について」を参照。

2. 派遣先における勤務状況報告

現在、私が担当している業務は、主に以下の(1)及び(2)の 2 つです。

また、研修の一環として、国内出張及び有識者による講演会等にも別途参加させていただいております。

※ 資料 2 「派遣先における参加講演会一覧」(長期展望委員会及びバックアップ検討会に関する講演を含む)を参照。

(1)平成 23 年度 更新需要の推計を踏まえた長期的な国土基盤の適切な管理運営手法に関する検討調査

～ 公共施設・インフラ資産等の耐用年数を踏まえた将来的な維持・更新費用負担が大きな負担となることが予想されているため、更新需要に関する分析を通して、これら基盤ストックの長期的な管理運営手法のあり方について検討しています。

11/1 に総務省自治財政局財務調査課と共同で基盤ストックの維持・更新需要に関するアンケート調査（全国の全市区町村を対象）を実施し、その結果報告も兼ねて「公共施設等の更新費用等勉強会」に参加いたしました。アセットマネジメントや PPP 推進の先進自治体であるさいたま市、習志野市及び加西市も参加しており、各委員からは「推計上、人口が5%減少することにより生産年齢人口が2割減少するものの、高所得者層の団塊 Jr. が増えて税収にはあまり影響が出なかった。また、扶助費に関しては、年少人口が減少することで高齢者の増加分を相殺し、むしろ黒字が出る傾向がある。（さいたま市）」、「当市は今回の東日本大震災の影響により、庁舎の耐震性に問題が生じた。防災拠点としての考え方も検討するとともに、公共施設の複合化等も図っていきたい。（習志野市）」、「短期に集中整備した下水道については、更新費の捻出が将来的に厳しいため、いずれは浄化槽の更新整備によるダウンサイジングも検討する必要がある。（加西市）」といった貴重な意見を伺うことができました。

また、具体の自治体における維持・更新費の将来推計や対応方策の検討といったケーススタディも開始しており、現在、自治体に協力いただきながら作業を進めています。

※ 資料3「公共施設等の更新費用の推計等に関する勉強会 開催概要」を参照。

(2)アジア共通交通政策の策定に向けた検討ツール活用に関する調査

～ アジア間の貿易政策において、情報ツールや貨物量の単位などの違いが障壁となっていることから、各国の有識者と協働して知的プラットフォームを形成し、アジア共通の交通政策の確立に向けて検討を進めるものです。

詳細については既にご報告させていただいているところですが、11月15日～16日に、「第3回東アジア国際交通統計ワークショップ」を神戸大学にて開催し、東アジア8カ国11名の交通統計の有識者を招いて各国の交通統計の現状報告等を行いました。

また、神戸港及び阪神・淡路大震災記念「人と防災未来センター」を視察しました。

※ 資料4「第3回『東アジアの交通統計に関するワークショップ』総括（概要版）」を参照。

(3)その他

① 国内出張について

これについても既に詳細をご報告させていただいておりますが、10月19日～20日の日程で北海道に出張し、(社)全日本建設技術協会、北海道及び札幌市共催並びに国土交通省後援により開催される「第576回建設技術講習会」に参加するとともに、国際拠点港湾の苫小牧港及び新千歳空港の視察を行いました。

3. 所感

この3ヶ月は、通常業務の外、神戸市及び北海道への国内出張並びに数多くの有識者による講演があり、研修員として見聞を広めるという意味で非常に充実した期間でした。

特に有識者による講演については、「東京圏の中核機能をどうバックアップするのか」、又は、「望ましい国土のあり方に関する長期展望をどう見るのか」と論点はそれぞれ違えど、その論点を構成する重要な視点についてはどの先生も認識している共通項があり、必然的に私も考えさせられることが多かったように思います。

その中でも特に「東アジアのダイナミズムとどう向き合っていくのか」という視点については、BRICsのインド、中国はもちろんのこと、今では次の新興予定国群VISTAのベトナム、インドネシア、その次の新興予定国は・と数多くの東アジアの国々が名乗りをあげている現状もあり、どの先生からもほぼ必ず関心を持って言及されていました。その度に東九州の延岡市職員としては少し寂しさを感じつつ、港湾整備、LCC（格安旅行会社）の就航、新幹線の整備が西九州に集中している中でも、国際戦略上、延岡市職員の私も積極的に考える必要があると認識しているところです。

とは言え、地の利がない延岡市のような国内自治体に外需を呼び込むにはどうしたらよいかについて解を得ることの難しさも認識せざるを得ませんが、有識者の先生方の講演は勉強になることが多く、非常に参考になるご意見をお聞かせいただいています。

例えば、

- ・ 日本が世界の、特に新興国主体の大きな流れに対応したサプライチェーンを今後構築するためには、AKB48のみではなく、K-POP方式も組み合わせる必要がある。大きな自地域市場に立脚・依存するのではなく、最初から海外展開を狙って差異化しなければ、ブランド力の強化を図れない。
→ H&M（スウェーデン）や徳島県上勝町の「彩」事業など。
- ・ 観光立国で外国人来訪客を増やすのはいいが、来日する外国人の約8割を占めるアジア観光客を迎え入れる覚悟（施設数の充足、治安等）が地域・日本にあるだろうか。
定住人口が減少するというメガトレンドの中で活力を高めるためには、移動・交流人口の増加を目指さざるを得ず、これは相当大変な努力・工夫を伴う。

などは、直接の解には至らずとも、現況を知り、打開していくための必要な視点・考え方ではないかと感じ、個人的に関心のあったご意見です。

東アジアの議論のみならず、東日本大震災の教訓を踏まえたまちづくりや少子高齢化社会に備えた社会システムなど、正直、今の私には吸収しきれない内容もあり、不甲斐なく感じることもあります。ただし、今まで私が触れていなかっただけで、延岡市を取り巻く社会システム・環境は私の関心ある・なしに関わらず変化し続けており、今ここで何となく話を聞いて何も考えずにいることは、無責任なことなのだと改めて実感しています。

その認識のもとで当事者として考える姿勢を保ちつつ、有意義な成果物を吸収して持ち帰るのもいいですが、そこに至った視点、考え方、目的意識を30年後も引き出して応用できるような頭に少しでも整えて延岡市に帰りたいというのが、この研修の私の目標です。

東京圏の中核機能のバックアップに関する検討会について

1. 検討の背景

東日本大震災では、その直接的被害は東北圏を中心に関東、北海道等まで広範囲にわたり、また、その影響は我が国全体に及んだことから、このような巨大災害等による被害を全国に波及させない国土のあり方が国土政策上の重要な課題となった。

とりわけ、立法、司法、行政の三権の中核機能及び経済、情報等の諸機能の中核が集中している東京圏が被災した場合には、東京圏のみならず我が国全体に計り知れない深刻な影響が及び、さらには国際的にも広くその影響が及ぶことが想定される。

従って、東京圏の中核機能については、首都直下地震等が発生した場合にも停止しない、あるいは即座に復旧できるような防災面の対策に加え、万一停止した場合にも他の地域で最低限必要な機能を代替する「バックアップ」の必要性が各方面から指摘されている。

東日本大震災復興構想会議の「復興への提言～悲惨のなかの希望～」(H23年6月)においては、「国土の防災性を高める観点から、首都直下地震の可能性などを考慮し、各種機能のバックアップのあり方、機能分担・配置のあり方など広域的な国土政策の検討が必要」と指摘され、また、国土審議会政策部会防災国土づくり委員会の「災害に強い国土づくりへの提言～減災という発想にたった巨大災害への備え～」(H23年7月)においても、「東京圏の機能をどう分担し、あるいはバックアップしていくかについて検討することが、まずもって必要」との指摘がなされた。

これらのことを背景に、東京圏の中核機能のバックアップに関する検討を開始するものである。

2. 検討会の目的

本検討会は、東京圏に存する中核機能の継続が何らかの原因により不可能となる事態が発生した場合にも、これを代替する機能(バックアップ機能)が働くことによって最低限必要な中核機能が維持確保されることを最終目標として、そのバックアップに関する基礎的な検討を行うことを目的とする。

3. 検討内容

本検討会では、当面、東京圏の中核機能のバックアップ体制を構築するに当たり検討すべき論点を抽出・整理し、それぞれの論点に対する考え方を提示するものとする。

<論点及び考え方の例>

○ バックアップすべき業務の種類、範囲：

業務継続計画(BCP)の考え方を援用して、業務の種類としては、非常事態への応急対応業務と一般継続重要業務(外交、防衛、警察、金融、気象・災害観測、運行(航)管理等)があるのではないかと。

また、業務の範囲については、復旧目標時間(RTO、Recovery Time Objective)の考え方を援用できるのではないかと。

○ バックアップの形態：

コンピュータシステムや通信機器のバックアップの考え方を援用して、ホットスタンバイ（要員が常にスタンバイ）、ウォームスタンバイ（要員は平時は別の業務）、コールドスタンバイ（要員は東京圏から駆けつける。）という形態が考えられるのではないか。

○ バックアップ先の条件：

例えば、東京との同時被災可能性が低いこと、災害の蓋然性が低いこと、東京との位置関係・交通基盤の多重性等が考えられるのではないか。

4. 検討の体制等

○ 国土交通副大臣、国土交通大臣政務官及び別紙委員による検討会を設置し検討を行う。

○ 事務局：国土交通省国土政策局総合計画課

○ オブザーバー：内閣官房（安全保障・危機管理担当）、内閣府（防災担当）等

○ 検討会は原則フルオープンとするが、ヒヤリング対象者の希望等によっては非公開にすることもある。

「東京圏の中核機能のバックアップに関する検討会」委員名簿

- | | |
|--------|--------------------------------------|
| 青山 侑 | 明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科 教授 |
| 荒井 良雄 | 東京大学大学院総合文化研究科 教授 |
| 池田 彰孝 | 東京商工会議所 副会頭、SMK株式会社 常勤監査役 |
| 岩見 隆夫 | 政治ジャーナリスト |
| ○ 大西 隆 | 東京大学大学院工学系研究科 教授 |
| 小川 和久 | 軍事アナリスト、特定非営利活動法人国際変動研究所 理事長 |
| 河田 恵昭 | 関西大学社会安全学部 学部長・大学院社会安全研究科
研究科長・教授 |
| 指田 朝久 | 東京海上日動リスクコンサルティング株式会社 主席研究員 |
| 森川 博之 | 東京大学先端科学技術研究センター 教授 |

※ 敬称略、五十音順、○印は座長



派遣先における参加講演会一覧（10～12月）

No.	日時	講演会名	講師	講演内容		
1	11/30	「平成23年度 国土政策関係研究支援事業 中間報告会」	石川 永子	公益財団法人 ひょうご震災記念21世紀研究機構 研究員	被害が甚大で集団移転事業を実施する実施する小規模自治体における 未来を担う若い世代の復興計画への参画手法に関する研究	
			伊藤 香織	東京理科大学 准教授	日記形式web アンケート調査による地震被災時帰宅行動の実証分析	
			北垣 亮馬	東京大学大学院 准教授	大規模地震発生時における建設系廃棄物・がれき類の高速撤去・再利用を実現する災害時迅速復旧シミュレーターの開発に関する研究	
			清野 薫子	東京医科歯科大学 助教授	災害復旧・復興地域における、国土・地域政策を基礎とした高齢者の健康を確保する地域再編ガイドラインの作成	
			福本 潤也	東北大学 准教授	東日本大震災における緊急支援物資の流動実態の定量的把握	
			吉村 方男	アジア航測(株)	地域遺伝子を踏まえた防災・減災手法に関する調査研究～東北地方太平洋沖地震で被害を受けた岩手県・宮城県・千葉県地域を調査研究の対象地域として～	
			岡村 祐	首都大学東京 助教授	我が国における歴史まちづくりを目的としたまちづくりファンドの到達点と課題～萌芽期の日本と成熟期の英国の事例研究を通じて～	
			堤 拓哉	地方独立行政法人 北海道立総合研究機構	スノーセーフティネット整備による豪雪地帯の安全安心な暮らし確保	
			鳥居 享司	鹿児島大学 准教授	離島漁業・漁村の活性化に向けた政策学的研究	
			松本 明	(株)エックス都市研究所	環境財を通じた条件不利地域の活性化政策に関する研究～地域資源・環境価値に着目した地域空間ブランドの形成と市場ニーズを中心に～	
2	12/8	「第1回 長期展望 委員長・WG座長会合」	岡部 明子	千葉大学大学院 准教授	「戦略的国土形成」	国土への人口の貼り付き方を踏まえつつ、1人ひとりの豊かさを見据えた戦略的国土形成のための考え方、アプローチについて講演
			寺島 実郎	(株)三井物産戦略研究所 所長 (財)日本総合研究所 理事長	「人口減少下においても成長を続けていくためにはどうすべきか」	大中華圏のダイナミズムに対し、日本の農業・観光政策はどうあるべきか。また、少子高齢化や内需をどう展望すべきかについて講演
3	12/9	「第1回 東京圏の中核機能のバックアップに関する検討会」	大西 隆	東京大学大学院 工学系研究科 教授	「首都機能のバックアップ～東日本大震災の教訓」	首都直下地震を想定して、東京圏に1極集中する中核機能のバックアップを構築するための検討事項や今後の課題等について提言
			指田 朝久	東京海上日動リスクコンサルティング(株) 主席研究員	「事業継続の考え方と中核機能のバックアップ」	東京海上日動の事例を踏まえながら、東日本大震災におけるBCPの教訓と、首都機能のバックアップについて検討・整理
4	12/13	「第2回 長期展望 委員長・WG座長会合」	中里 透	上智大学経済学部 准教授	「国土の長期展望」について	人口減少と経済成長について検討し、集積のメリットを活かすための望ましい国土構造として「数極集中」型を提示
			高橋 敏士	国際医療福祉大 教授	「21世紀型社会システムとは何か、震災と人口減少を踏まえて国土審長期展望委員会中間報告が示唆するもの」	国土政策局作成の「長期展望委員会中間とりまとめ」への示唆を通して、「社会保障給付を循環させる地域」のあり方（福祉と経済社会を考える視点）に言及
5	12/20		藤田昌久	経済産業研究所 所長 甲南大学 教授 京都大学経済研究所 特任教授	「人口減少下においても成長を続けていくためにはどうすべきか」	地理経済学の第一人者の知見から、少子高齢化社会において、大都市に集中投資すべきなのか、また他のやり方があるのかといった国土のあり方について講演
6	12/27	「第2回 東京圏の中核機能のバックアップに関する検討会」	小川 和久	軍事アナリスト 国際変動研究所 理事長	「なぜ『もう一つの首都』が必要か」	米国の政府存続システムを事例に、日本国内における「副首都・NEMIC」建設、総理大臣の職務権限継承、その他法整備等の必要性について講演
			河田 恵昭	関西大学社会安全学部 学部長 " 大学院社会安全研究科 研究科長・教授	「東京圏の中核機能のバックアップの課題」	東日本大震災におけるBCPの課題として、①企業の取組レベルにより評価が分かれたBCPの有効性、②機能しなかった災害原因別BCPの限界、を挙げ、「想定外」を作らないための「最悪の機能停止型シナリオ」の検討の必要性について講演
			竜田 博之	日本銀行 決済機構局 業務継続企画課長	「金融決済機能と業務継続体制」	日本銀行における業務継続体制および東日本大震災時の初動対応について事例紹介

公共施設等の更新費用の推計等に関する勉強会 開催概要

1. 目的

(財)自治総合センターが昨年度設置した「地方公共団体の財政分析等に関する調査研究会」において、今後見込まれる公共施設等の更新費用を簡便に推計できる手法の検討が行われ、試算ソフトが作成されたところ。

これを踏まえ、総務省財務調査課が勉強会を設置し、地方自治体が当該手法等を通じて将来の財政負担をより合理的に把握・分析する方法等について、更に検討を深めていく。

2. 勉強会のテーマ

- 市町村における試算ソフトの利用を踏まえた分析・検証
- 分析指標の作成
- 試算ソフト調査表を用いた市町村データの収集・分析
- 公会計との連携（資産台帳との連動、減価償却による推計との関連等）

3. 構成員（敬称略、五十音順）

【構成員】

- 後藤 友宏（総務省 自治財政局 財務調査課 理事官）
- 塩川 潔（習志野市 企画政策部 経営改革推進室 主査）
- 中村 賢一（加西市 経営戦略室 次長）
- 西尾 真治（さいたま市 行財政改革推進本部 副理事）
- 水嶋 啓（ランドブレイン(株) 環境・社会システムグループ チーム長）
※「宮代町公共施設マネジメント委員会」委員
- 村上 敬（(財)地方自治研究機構 調査研究部 調査研究室長）
- 望月 伸一（(株)ファインコラボレート研究所 所長）

【アドバイザー】

- 根本 祐二（東洋大学大学院 経済学研究科 教授）

※ その他、テーマに応じて関係者を適宜招聘し、ヒアリング・意見交換を行う。

4. 開催スケジュール

8月中旬に第1回を開催。以後、2ヶ月に1回程度を目途に適宜開催することとし、第2回を11月1日に実施。

第3回「東アジアの交通統計に関するワークショップ」総括（概要版）

1. ワークショップの目的

国土形成計画（全国計画）に示されたシームレスアジアの実現に向けて調査研究を進めるうえで、東アジア諸国における交通統計等の整備が喫緊の課題になっている。このため、2008年3月に第1回、2008年11月に第2回ワークショップを開催し、交通統計データの整備状況について議論した結果、交通統計の標準化、共有化の重要性が認識され、今後とるべき方向性が示された。

今回は、過去2回のワークショップの議論をさらに深めていくため、第3回のワークショップを2011年11月15日と16日の2日間、兵庫県神戸市の神戸大学深江キャンパスで開催し、東アジア諸国の交通統計の専門家を招聘して、各国の交通統計の現状報告と自由討議を行った。

2. ワークショップの主催者及び参加者

ワークショップは、国土交通省国土政策局及び神戸大学大学院海事科学研究科の共催で開催され、国土交通省近畿地方整備局、神戸市及びならびにEASTS IRG17が後援した。

ワークショップには、海外からの招聘者としてシンガポール、中国、韓国、台湾、カンボジア、フィリピン、タイ及び日本の研究者・専門家をはじめ、大学、研究所、関係業界等から合計57名が出席した。

3. ワークショップの概要

ワークショップでは、下記のように海外からの招聘者による発表及びディスカッションが行われた。

- ① 主催者挨拶 国土交通省大臣官房川上征雄審議官
- ② 歓迎挨拶 神戸大学大学院海事科学研究科長 小田啓二研究科長
- ③ 基調講演
 - a) シンガポール国立大学土木環境工学科 Tien-Fang FWA 教授
「東アジア諸国の交通統計データベース構築の課題」
 - b) 国土交通省国土政策局 数土 勉計画官
「東アジア諸国の交通統計の現状」
- ④ セッション1（各国の交通統計の現状とシステム）
 - a) ファシリテーター：神戸大学大学院海事科学研究科 竹林幹雄教授
 - b) 各国の交通統計の現状報告
 - 1) 中国清華大学深セン研究生院 現代物流研究中心 Lixin MIAO 教授
「中国の交通統計の現状と将来」
 - 2) 韓国運輸研究院（KOTI）道路研究部 Young-in KWON 博士
「韓国の交通統計及び関連政策」
 - 3) 台湾交通大学運輸科技管理學系 Kuan-Cheng HUANG 准教授
「台湾の交通統計及び主要課題」

⑤ セッション2 (各国の交通統計の現状と課題)

a) ファシリテーター：東京工業大学大学院理工学研究科准教授 花岡伸也

b) 各国の交通統計の現状報告

1) カンボジア シハヌークビル港湾公社計画統計部統計通信課長

Mr. Ouk Somethy

「カンボジアの交通統計の構造とシハヌークヴィル自治港の統計」

2) フィリピン大学国立交通研究センター専門家

Ms. Sheila Flor Dominguez JAVIER

「フィリピンの交通統計 (2001 - 2010)」

3) タイ チュラロンコン大学交通研究所 Sompong SIRISOPONSILP 准教授

「タイにおける貨物輸送統計収集の課題及びチャレンジ」

4. ワークショップの総括コメント

各招聘者による発表内容・フリーディスカッションに基づき、京都大学大学院理工学研究科 谷口栄一教授より、総括コメントが以下のように発表された。

- ・ 東アジアの交通統計の整備に関する哲学として、今回のワークショップの真の目標は、既に EU において実現しているような、東アジアにおける共通交通政策の実現と考える。既に東アジアの各国間では、経済的な結びつきが強まり、運輸交通・物流の面からも 10～15 年を目標年次とする共通交通政策の立案が必要となっている。共通交通政策の目標は、環境、安全及び安全保障の課題に関する移動性、持続性及び実現可能性の確保。
- ・ 東アジアの交通統計の整備に関するビジョンとしては、研究者が科学的アプローチで共通交通政策立案の手助けをすることを考慮することが必要。このためには、交通政策の実施以前に、交通政策の科学的評価を行うことが重要。また、交通計画立案に際しては、国際複合輸送も考慮することが必要。本ワークショップにおいて議論された、インフラ関連、環境、安全、安全保障に関するパブリック・ドメインである交通統計データは、我々研究者の目的である共通交通政策立案に必要な不可欠なもの。また、データの定義も非常に重要であると共に、計量手法、単位及び集計の統一化も求められている。また、誰でも Website で閲覧可能なデータベースは、非常に歓迎される。
- ・ 東アジアの交通統計の整備戦略に関しては、海運、航空輸送及び陸上輸送のデータ収集に関して、各々異なる条件・問題を包有している。航空輸送データは非常にまとめられているが、海運データの多くは民間会社が保有して公開されておらず、陸上輸送に関しては一部の国ではデータそのものが存在しない。この面から研究者間の協力が必要であり、今回のような機会が与えられたことは非常に有意義だが、交通統計データ収集・更新のための資金確保が重要。その他、交通統計データ収集・更新のためには、最新技術の活用、統計担当者の教育・訓練、静的・動的データの収集に際しての PPP の活用、利用し易いデータの整備、データの普及並びに新領域のデータ収集等が挙げられる。
- ・ 本ワークショップの結論として、東アジアの交通網に関するデータの共有のための共同研究を行ってきたことは誇れることであり、適切な交通データを利用して科学的アプローチにより東アジアの共通交通政策立案に資することが新たな挑戦となる。

課
員

研
修
課
長

副
主
幹
兼
人
事
係
長

主
幹
兼
課
長
補
佐
兼
係
長

課
長



(事務連絡)
平成23年11月1日

延岡市 総務部 職員課 御中

(延岡市 総務部 職員課付)
国土交通省 国土政策局 総合計画課
甲斐 章悟

研修に係る勤務状況等について（報告）

いつもお世話になっております。

平成23年10月の勤務状況等につきまして、別紙のとおりご報告いたします。

また、11月15日～16日の日程で神戸市に出張いたしますので、その概要につきましては別紙をご確認下さい。

なお、11月7日～18日の日程で受講する予定であった小平本校における国土交通大学研修につきましては、現在、講師の派遣等の問題から研修の実施が困難となり、実施を延期するとの連絡がありました。延期した日程は未定で、年明けの方向で検討中とのことですので、詳細がわかり次第ご報告させていただきます。

内容のご確認及びご対応の程、よろしくお願いいたします。

記

(別紙)

- ・ 勤務状況報告書（平成23年10月分）
 - ・ 出勤簿（平成23年10月分）
 - ・ 派遣研修に伴う国内出張について（概要 ※現時点版）
- ※ 現時点での概要ですので、行程に変更がある可能性があります。

以上

勤務状況報告書

所属：国土交通省 国土政策局 総合計画課 国土基盤班

研修員氏名：甲斐 章悟

【平成23年 10月分】

日	曜日	休暇の状況					時間外・休日勤務の状況	
		年次休暇		日時	その他の休暇		日時	時分 ~ 時分
		時分 ~ 時分	事由		時分 ~ 時分			
1	土	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
2	日							
3	月	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
4	火	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
5	水	: ~ :			: ~ :		18:15 ~ 19:30	1h15m
6	木	: ~ :			: ~ :		18:15 ~ 22:00	3h45m
7	金	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
8	土	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
9	日							
10	月							
11	火	: ~ :			: ~ :		18:15 ~ 22:30	4h15m
12	水	: ~ :			: ~ :		18:15 ~ 19:45	1h30m
13	木	: ~ :			: ~ :		18:15 ~ 20:30	2h15m
14	金	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
15	土	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
16	日							
17	月	: ~ :			: ~ :		18:15 ~ 20:30	2h15m
18	火	: ~ :			: ~ :		18:15 ~ 22:00	3h45m
19	水	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
20	木	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
21	金	: ~ :			: ~ :		18:15 ~ 20:00	1h45m
22	土	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
23	日							
24	月	: ~ :			: ~ :		18:15 ~ 21:00	2h45m
25	火	: ~ :			: ~ :		18:15 ~ 19:45	1h30m
26	水	: ~ :			: ~ :		18:15 ~ 21:00	2h45m
27	木	9:30 ~ 18:15	1日		: ~ :		: ~ :	
28	金	: ~ :			: ~ :		18:15 ~ 20:00	1h45m
29	土	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
30	日							
31	月	: ~ :			: ~ :		18:15 ~ 20:00	1h45m
計								

上記の通り報告します。

平成23年 11月 1日

所属長名：総合計画課長 北本 政行



延岡市長 様

派遣研修に伴う国内出張について（概要 ※現時点版）

1. 日程

平成 23 年 11 月 15 日（火）～16 日（水）

2. 出張先

兵庫県神戸市

3. 出張者

甲斐 章悟（国土交通省国土政策局総合計画課・延岡市職員課付）

4. 出張の目的

平成 23 年 11 月 15～16 日に本課が主催する「第 3 回アジア交通統計に関するワークショップ」に参加するため。

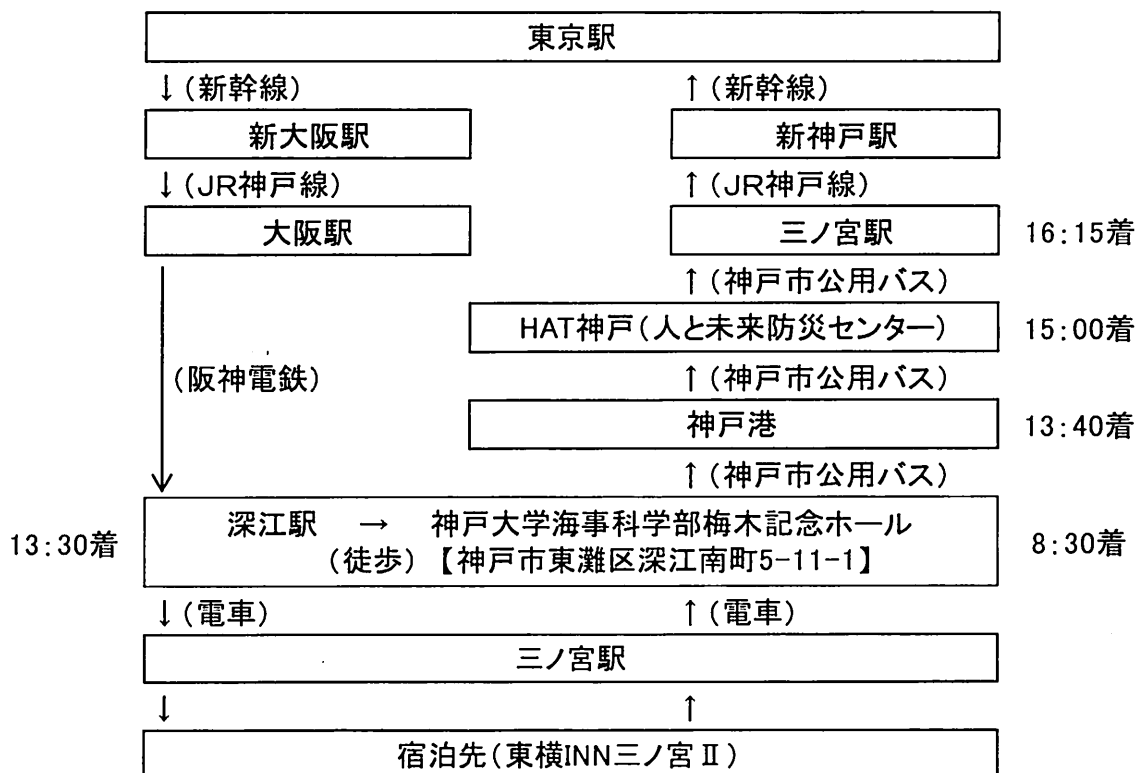
5. 出張の概要

※ 別紙「第 3 回東アジアの交通統計に関するワークショップ」を参照。

6. スケジュール

【往路(11月15日:1日目)】

【復路(11月16日:2日目)】



※ 王子→東京間は「都区内」により、新大阪→大阪間は「市内」により、新幹線のチケットの移動範囲内に含まれ、別料金が発生しないものと予想されます。

※ 「人と未来防災センター」では、入場料が別途必要です。

「第3回東アジアの交通統計に関するワークショップ」

国土形成計画（全国計画）に示されたシームレスアジアの実現に向けて調査研究を進めるうえで、東アジア諸国における交通統計等の整備が喫緊の課題になっています。このため、2008年3月に第1回、2008年11月に第2回ワークショップを開催し、交通統計データの整備状況について議論した結果、交通統計の標準化、共有化の重要性が認識され、今後とるべき方向性が示されました。今回は、過去2回のワークショップの議論をさらに深めていくため、東アジア諸国の交通統計の専門家にお集まりいただき、各国の交通統計の現状報告と自由討議を行います。

主催

○国土交通省国土政策局

協催

○神戸大学海事科学部

後援

○国土交通省近畿地方整備局

○神戸市

○EASTS IRG17

日程・場所

日程：2011年11月15日（火）～16日（水）

場所：神戸大学海事科学部梅木記念ホール
神戸市東灘区深江南町5-11-1

会議の言語

英語（同時通訳はありません）

会議内容

11月15日（火）

13:30 - 14:00

開会、挨拶

14:00 - 14:15

主催者等挨拶：国土交通省大臣官房審議官 川上征雄

歓迎挨拶：神戸大学大学院海事科学研究科学科長 小田啓二

14:15 - 15:15

基調講演

①東アジア諸国の交通統計データベース構築の課題：

シンガポール国立大学土木環境工学科教授 Prof. Tien-Fang FWA

②東アジア諸国の交通統計の現状：

国土交通省国土政策局計画官 数土 勉

15:15 - 15:30

休憩

15:30 - 17:00

セッション1（各国の交通統計の現状とシステム）

ファシリテーター：神戸大学大学院海事科学研究科教授 竹林幹雄

①中国の交通統計の現状と将来：

中国精華大学深圳研究生院 現代物流研究中心教授 Prof. Lixin MIAO

②韓国の交通統計及び関連政策：

韓国運輸研究院（KOTI）道路研究部 Dr. Young-in KWON

③台湾の交通統計及び主要課題：

台湾交通大学運輸技術管理系助教授 Dr. Kuan-Cheng HUANG

④自由討議

⑤ファシリテーターからのコメント・議論の取りまとめ

18:30 - 20:30

歓迎レセプション：神戸空港ターミナルビル4階コントレイル

参加費用：一般参加者 6,000円

11月16日（水）

09:00 - 11:15

セッション2（各国の交通統計の現状と課題）

ファシリテーター：東京工業大学大学院理工学研究科准教授 花岡伸也

①カンボジアの交通統計の構造とシハヌークヴィル自治港の統計：

カンボジア シハヌークビル港湾公社計画統計部統計通信課長 Mr. Ouk Somethy

②フィリピンの交通統計（2001 - 2010）：

フィリピン大学国立交通研究センター専門家 Ms. Sheila Flor Dominguez JAVIER

③タイにおける貨物輸送統計収集の課題及びチャレンジ：

タイ チュラロンコン大学交通研究所准教授 Dr. Sompong SIRISOPONSILP

④発表タイトル未定：

ベトナム運輸省計画投資部総合計画統計室副主任 Mr. Tran-Minh PHUONG

- ④自由討議
- ⑤ファシリテーターからのコメント・議論の取りまとめ
- 11:15-11:35 総括コメント：京都大学大学院工学研究科教授 谷口栄一
- 11:35-12:00 閉会の挨拶：国土交通省近畿地方整備局副局長 小野憲二
- 12:00 閉会
- 13:00-17:00 神戸港、阪神・淡路大震災記念「人と防災未来センター」等見学会（神戸市主催）
一般の参加者の方も、この見学会に参加していただけます。
参加費用は無料ですが、「人と防災未来センター」の入場料のみお支払いいただくことになります。

ワークショップ参加費用

ワークショップへの参加費用は無料です。

ワークショップ定員

ワークショップへの一般の方の参加は 100 名を定員とさせていただき、先着順で申込者の方が定員をこえた場合には、申し込みをお断りすることがありますので、その点ご了承をお願いいたします。

ワークショップ参加申し込み

ワークショップ、レセプション、見学会への参加を希望される方は、次頁の参加申込書にご記入の上、2011 年 10 月 28 日までに記載のメールアドレスまで参加申込書をお送り下さい。

問い合わせ先

本ワークショップに関しますお問い合わせは、以下のワークショップ事務局のメールアドレスまでメールでお知らせ下さい。

workshop2011@kok.or.jp

担当：西村、藤田

課
員

研修
厚生係長

副主幹兼
人事係長

主幹兼課長
補佐兼係長

課
長



(事務連絡)

平成23年10月3日

延岡市 総務部 職員課 御中

国土交通省 国土政策局 総合計画課

甲斐 章悟

研修に係る勤務状況について（報告）

いつもお世話になっております。

平成23年9月の勤務状況等につきまして別紙のとおりご報告いたします。

内容のご確認及びご対応の程、よろしく願いいたします。

記

(別紙)

- ・ 勤務状況報告書（平成23年9月分）
- ・ 出勤簿（平成23年9月分）
- ・ 国土交通省派遣研修 第2回報告書

以上

勤務状況報告書

所属：国土交通省 国土政策局 総合計画課 国土基盤班

研修員氏名：甲斐 章悟

【平成23年 9月分】

日	曜日	休暇の状況					時間外・休日勤務の状況	
		年次休暇		日時	その他の休暇		日時	時分 ~ 時分
		時分 ~ 時分	事由		時分 ~ 時分			
1	木	: ~ :			: ~ :		18:15 ~ 20:00	1h45m
2	金	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
3	土	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
4	日							
5	月	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
6	火	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
7	水	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
8	木	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
9	金	: ~ :			: ~ :		18:15 ~ 20:00	1h45m
10	土	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
11	日							
12	月	: ~ :			: ~ :		18:15 ~ 22:00	3h45m
13	火	: ~ :			: ~ :		18:15 ~ 20:30	2h15m
14	水	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
15	木	: ~ :			: ~ :		18:15 ~ 20:00	1h45m
16	金	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
17	土	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
18	日							
19	月	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
20	火	: ~ :			: ~ :		18:15 ~ 22:00	3h45m
21	水	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
22	木	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
23	金	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
24	土	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
25	日							
26	月	: ~ :			: ~ :		18:15 ~ 22:00	3h45m
27	火	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
28	水	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
29	木	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
30	金	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
		: ~ :			: ~ :		: ~ :	
計								

上記の通り報告します。

平成23年10月 3日

所属長名：総合計画課長 北本 政行



延岡市長 様

平成 23 年

出 勤 簿

氏 名

甲斐 孝悟

日 月	出 欠															集 計								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	年次休暇		病 気 休 暇 日/時/分	特 別 休 暇 日/時/分	短 従 許 可 期 間		欠 勤 時/分	そ の 他	
	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	使 用 日/時/分			残 日/時/分	使 用 日/時			残 日/時
七	出欠	土曜	日曜	出欠	出欠	出欠	出欠	出張	土曜	日曜	出欠	出欠	出欠	出欠	出欠	0%	///	///	///	///	///	///	///	
月	土曜	日曜	休日	出欠	出欠	出欠	出欠	土曜	日曜	出欠	出欠	出欠	年次休暇 日3時間 AM3h	出欠	土曜									日曜
八	出欠	出欠	出欠	出欠	出欠	土曜	日曜	出欠	出欠	出欠	出欠	出欠	特別休暇 夏季休暇	土曜	日曜	特別休暇 夏季休暇	6%	///	///	///	///	///	///	
月	特別休暇 夏季休暇	特別休暇 夏季休暇	特別休暇 夏季休暇	特別休暇 夏季休暇	特別休暇 夏季休暇	土曜	日曜	出欠	出欠	出欠	出欠	出欠	土曜	日曜	出欠	出欠								
九	出欠	出欠	土曜	日曜	出欠	出欠	出欠	出欠	出欠	土曜	日曜	出欠	出欠	出欠	出欠	0%	///	///	///	///	///	///	///	
月	出欠	土曜	日曜	休日	出欠	出欠	出欠	休日	土曜	日曜	出欠	出欠	出欠	出欠	出欠									
十	土曜	日曜						土曜	日曜	休日					土曜	///	///	///	///	///	///	///		
月	日曜						土曜	日曜					土曜	日曜										
十一			休日		土曜	日曜						土曜	日曜			///	///	///	///	///	///	///	///	
月				土曜	日曜			休日			土曜	日曜												
十二			土曜	日曜							土曜	日曜				///	///	///	///	///	///	///	///	
月		土曜	日曜					休日	土曜	日曜			休日	休日	土曜									
年次休暇 附与日数		繰越分 本年分		日	備 考										日	合 計		///	///	///	///	///	///	///

原本と相違ない事を証明します。
平成 23 年 10 月 3 日

国土政策局総合計画課

勤務時間管理員 菊池 公一



(事務連絡)
平成23年9月1日

延岡市 総務部 職員課 御中

国土交通省 国土政策局 総合計画課
甲斐 章悟

研修に係る勤務状況について（報告）

いつもお世話になっております。

平成23年8月の勤務状況につきまして、別紙のとおりご報告いたします。

内容のご確認及びご対応の程、よろしく願いいたします。

なお、9月1日付の人事異動により、新しい総合計画課長として北本政行氏が就任されております。

記

(別紙)

- ・ 勤務状況報告書（平成23年8月分）
- ・ 出勤簿（平成23年8月分）

以上

勤務状況報告書

所属：国土交通省 国土政策局 総合計画課 国土基盤班

研修員氏名：甲斐 章悟

【平成23年 8月分】

日	曜日	休暇の状況					時間外・休日勤務の状況	
		年次休暇		その他の休暇			時分 ~ 時分	日時
		時分 ~ 時分	日時	事由	時分 ~ 時分	日時		
1	月	: ~ :			: ~ :		18:15 ~ 19:30	1h15m
2	火	: ~ :			: ~ :		18:15 ~ 20:00	1h45m
3	水	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
4	木	: ~ :			: ~ :		18:15 ~ 20:00	1h45m
5	金	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
6	土	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
8	月	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
9	火	: ~ :			: ~ :		18:15 ~ 20:00	1h45m
10	水	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
11	木	: ~ :			: ~ :		18:15 ~ 21:00	2h45m
12	金	9:30 ~ 18:15	1日	夏休	: ~ :		: ~ :	
13	土	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
15	月	9:30 ~ 18:15	1日	夏休	: ~ :		: ~ :	
16	火	9:30 ~ 18:15	1日	夏休	: ~ :		: ~ :	
17	水	9:30 ~ 18:15	1日	夏休	: ~ :		: ~ :	
18	木	9:30 ~ 18:15	1日	夏休	: ~ :		: ~ :	
19	金	9:30 ~ 18:15	1日	夏休	: ~ :		: ~ :	
20	土	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
22	月	: ~ :			: ~ :		18:15 ~ 20:00	1h45m
23	火	: ~ :			: ~ :		7:30 ~ 9:30 18:15 ~ 19:30	2h 1h15m
24	水	: ~ :			: ~ :		18:15 ~ 19:30	1h15m
25	木	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
26	金	: ~ :			: ~ :		18:15 ~ 20:00	1h45m
27	土	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
29	月	: ~ :			: ~ :		18:15 ~ 20:30	2h15m
30	火	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
31	水	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
計								

上記の通り報告します。

平成23年 9月 1日

所属長名：総合計画課長 北本 政行



延岡市長 様

平成 23 年

出勤簿

氏名		甲斐 章悟																		
集計											年次休暇 使用日/時/分	残 日/時/分	病欠 休暇 日/時/分	特別 休暇 日/時/分	短従許可期間		欠勤 時/分	その他		
使用日/時/分		残日/時/分		使用日/時		残日/時														
0%	///	///	///	///	///	///	///	///	///	///					///	///			///	///
6%	///	///	///	///	///	///	///	///	///	///	///	///	///	///	///	///	///	///		
原本と相違ないことを証明します。											///	///	///	///	///	///	///	///	///	///
平成23年 9月 1日											///	///	///	///	///	///	///	///	///	///
国土政策局 総務計画課											///	///	///	///	///	///	///	///	///	///
勤務時間管理員 菊池 公一											///	///	///	///	///	///	///	///	///	///
年次休暇	繰越分		日		備考							合計	///	///	///	///	///	///	///	///
附与日数	本年分		日									///	///	///	///	///	///	///	///	///

日 月	出							欠										
	1 16	2 17	3 18	4 19	5 20	6 21	7 22	8 23	9 24	10 25	11 26	12 27	13 28	14 29	15 30	31		
七 月	出	土曜	日曜	出	出	出	出	出張	土曜	日曜	出	出	出	出	出	/		
八 月	土曜	日曜	休日	出	出	出	出	土曜	日曜	出	出	出	出	出	土曜	日曜	0%	///
九 月	出	出	出	出	土曜	日曜	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	6%	///
十 月	特別休暇 夏季休暇	特別休暇 夏季休暇	特別休暇 夏季休暇	特別休暇 夏季休暇	土曜	日曜	出	出	出	出	出	出	土曜	日曜	出	出	///	///
十一 月	土曜	日曜						土曜	日曜	休日				土曜	日曜	/	///	///
十二 月	土曜	日曜						土曜	日曜					土曜	日曜	/	///	///
一 月	土曜	日曜						土曜	日曜	休日				休日	休日	土曜	///	///

課 員
課 長
主幹兼課長
補佐給与係長
副主幹兼
人事係長
研修生係長



(事務連絡)

平成 23 年 8 月 2 日

延岡市 総務部 職員課 御中

国土交通省 国土政策局 総合計画課

甲斐 章悟

研修に係る勤務状況について（報告）

いつもお世話になっております。

平成 23 年 7 月の勤務状況につきまして別紙のとおりご報告いたします。

内容のご確認及びご対応の程、よろしく願いいたします。

なお、帰省に際して、「8 月 17 日中に職員課にご挨拶に伺う」旨お伝えしていましたが、8 月 16 日の午後にお伺いすることになりそうです。

記

(別紙)

- ・ 勤務状況報告書（平成 23 年 7 月分）
- ・ 出勤簿（平成 23 年 7 月分）

以上

勤務状況報告書

所属：国土交通省 国土政策局 総合計画課 国土基盤班

研修員氏名：甲斐 章悟

【 平成23年7月分 】

日	曜日	休暇の状況					時間外・休日勤務の状況	
		年次休暇		日時	その他の休暇		日時	日時
		時分	～ 時分		時分	～ 時分		
1	金	:	～ :			:	～ :	
2	土	:	～ :			:	～ :	
3	日	:	～ :			:	～ :	
4	月	:	～ :			18 : 15	～ 22 : 00	3h45m
5	火	:	～ :			:	～ :	
6	水	:	～ :			:	～ :	
7	木	:	～ :			18 : 15	～ 20 : 45	2h30m
8	金	:	～ :			:	～ :	
9	土	:	～ :			:	～ :	
10	日	:	～ :			:	～ :	
11	月	:	～ :			:	～ :	
12	火	:	～ :			18 : 15	～ 19 : 30	1h15m
13	水	:	～ :			:	～ :	
14	木	:	～ :			:	～ :	
15	金	:	～ :			:	～ :	
16	土	:	～ :			:	～ :	
17	日	:	～ :			:	～ :	
18	月	:	～ :			:	～ :	
19	火	:	～ :			:	～ :	
20	水	:	～ :			18 : 15	～ 19 : 30	1h15m
21	木	:	～ :			:	～ :	
22	金	:	～ :			:	～ :	
23	土	:	～ :			:	～ :	
24	日	:	～ :			:	～ :	
25	月	:	～ :			18 : 15	～ 20 : 00	1h45m
26	火	:	～ :			:	～ :	
27	水	:	～ :			:	～ :	
28	木	9 : 30	～ 12 : 00	3h		:	～ :	
29	金	:	～ :			:	～ :	
30	土	:	～ :			:	～ :	
計								

上記の通り報告します。

平成23年 8月 2日

所属長名：総合計画課長 川上 征雄



延岡市長 様

出勤簿

氏名

甲斐 章悟

日 月	出 欠															集 計								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	年次休暇		病欠 休暇 日/時/分	特別 休暇 日/時/分	短從許可期間		欠 勤 時/分	その他	
	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	使用 日/時/分			残 日/時/分	使用 日/時			残 日/時
七	出欠	土曜	日曜	出欠	出欠	出欠	出欠	出張	土曜	日曜	出欠	出欠	出欠	出欠	出欠	出欠	0/0	///	///	///	///	///	///	
月	土曜	日曜	休日	出欠	出欠	出欠	出欠	土曜	日曜	出欠	出欠	出欠	年次休暇 Bの時間 AM3h	出欠	土曜	日曜								
八						土曜	日曜						土曜	日曜			///	///	///	///	///	///	///	
月					土曜	日曜						土曜	日曜											
九			土曜	日曜						土曜	日曜						///	///	///	///	///	///	///	
月		土曜	日曜	休日				休日	土曜	日曜														
十	土曜	日曜							土曜	日曜	休日				土曜		///	///	///	///	///	///	///	
月	日曜						土曜	日曜					土曜	日曜										
十一			休日		土曜	日曜						土曜	日曜				///	///	///	///	///	///	///	
月				土曜	日曜			休日			土曜	日曜												
十二			土曜	日曜						土曜	日曜						///	///	///	///	///	///	///	
月		土曜	日曜					休日	土曜	日曜			休日	休日	土曜									
年次休暇 附与日数		繰越分 本年分		日	備考		合計									///	///	///	///	///	///	///		

原本と相違ないことを証明します。
 平成23年 8月 1日
 国土政策局 総合計画課
 勤務時間管理員 菊池 公

課
員

研修
主任
係長

副主
幹兼
人事
係長

主任
兼課
長
補佐
兼係
長

課
長



(事務連絡)

平成23年7月4日

このとおり報告がありました。

延岡市 総務部 職員課 御中

国土交通省 国土政策局 総合計画課
甲斐 章悟

研修に係る勤務状況について（報告）

いつもお世話になっております。

平成23年6月の勤務状況等につきまして別紙のとおりご報告いたします。

内容のご確認及びご対応の程、よろしく願いいたします。

記

(別紙)

- ・ 勤務状況報告書（平成23年6月分）
- ・ 出勤簿（平成23年6月分）
- ・ 国土交通省派遣研修 第1回報告書

以上

勤務状況報告書

所属：国土交通省 国土計画局 総合計画課 国土基盤班

研修員氏名：甲斐 章悟

【 平成23年6月分 】

日	曜日	休暇の状況					時間外・休日勤務の状況					
		年次休暇		その他の休暇								
		時分	～ 時分	日時	事由	時分	～ 時分	日時	時分	～ 時分	日時	
1	水	:	～	:				:	～	:		
2	木	:	～	:				18:15	～	19:30		1h15m
3	金	:	～	:				:	～	:		
4	土	:	～	:				:	～	:		
5	日	:	～	:				:	～	:		
6	月	:	～	:				18:30	～	21:30		3h
7	火	:	～	:				18:15	～	19:30		1h15m
8	水	:	～	:				18:15	～	20:30		2h15m
9	木	:	～	:				:	～	:		
10	金	:	～	:				:	～	:		
11	土	:	～	:				:	～	:		
12	日	:	～	:				:	～	:		
13	月	:	～	:				:	～	:		
14	火	:	～	:				18:15	～	21:30		3h15m
15	水	:	～	:				:	～	:		
16	木	:	～	:				18:15	～	21:00		2h45m
17	金	9:30	～	11:00	1h30m			18:15	～	19:30		1h15m
18	土	:	～	:				:	～	:		
19	日	:	～	:				:	～	:		
20	月	:	～	:				:	～	:		
21	火	:	～	:				:	～	:		
22	水	9:30	～	18:15	1日			:	～	:		
23	木	:	～	:				18:15	～	20:00		1h45m
24	金	:	～	:				:	～	:		
25	土	:	～	:				:	～	:		
26	日	:	～	:				:	～	:		
27	月	:	～	:				:	～	:		
28	火	:	～	:				:	～	:		
29	水	:	～	:				:	～	:		
30	木	:	～	:				18:15	～	19:30		1h15m
		:	～	:				:	～	:		
計												

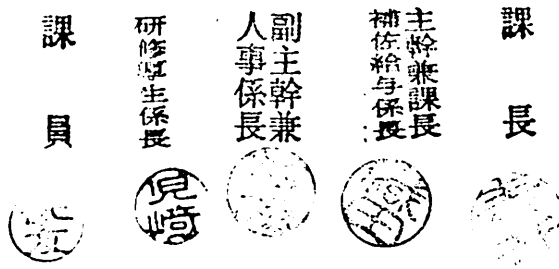
上記の通り報告します。

平成23年 7月 4日

所属長名：総合計画課長 川上 征雄



延岡市長 様



(事務連絡)
平成 23 年 5 月 9 日

延岡市 総務部 職員課 御中

国土交通省 国土計画局 総合計画課
甲斐 章悟

研修に係る勤務状況について（報告）

いつもお世話になっております。

平成 23 年 4 月の勤務状況につきまして別紙のとおりご報告いたします。

内容のご確認及びご対応の程、よろしくお願いいたします。

記

(別紙)

- ・ 勤務状況報告書（平成 23 年 4 月分）
- ・ 出勤簿（平成 23 年 4 月分）

以上

出 勤 簿

氏 名		甲斐 章悟																					
集 計		年次休暇		病 氣 休 暇 日/時/分	特 別 休 暇 日/時/分	短 促 許 可 期 間		欠 勤 時/分	其 他														
使用 日/時/分	残 日/時/分	使用 日/時	残 日/時																				
一	月	土曜	日曜	休日					土曜	日曜	休日				土曜	日曜	///	///	///	///	///	///	
二	月				土曜	日曜					休日	土曜	日曜				///	///	///	///	///	///	
三	月				土曜	日曜						土曜	日曜				///	///	///	///	///	///	
四	月	木曜	土曜	日曜	甲斐章悟	甲斐章悟	甲斐章悟	甲斐章悟	土曜	日曜	甲斐章悟	甲斐章悟	甲斐章悟	甲斐章悟	甲斐章悟	甲斐章悟	1/0/0	///	///	///	///	///	
五	月	土曜	日曜	甲斐章悟	甲斐章悟	甲斐章悟	甲斐章悟	土曜	日曜	甲斐章悟	甲斐章悟	甲斐章悟	甲斐章悟	休日	土曜		///	///	///	///	///	///	
六	月	日曜		休日	休日	休日		土曜	日曜						土曜	日曜	///	///	///	///	///	///	
六	月				土曜	日曜									土曜	日曜	///	///	///	///	///	///	
六	月				土曜	日曜									土曜	日曜	///	///	///	///	///	///	
年次休暇 附与日数		繰越分 本年分		日	備 考										合 計	///	///	///	///	///	///	///	

原本と相違ないことを証明します。
 平成23年 5月 9日
 国土計画局 総合計画課
 勤務時間管理員 須永 新平

勤務状況報告書

所属：国土交通省 国土計画局 総合計画課 国土基盤班

研修員氏名：甲斐 章悟

【 平成23年 4月分 】

日	曜日	休暇の状況					時間外・休日勤務の状況	
		年次休暇		事由	その他の休暇		時分 ~ 時分	日時
		時分 ~ 時分	日時		時分 ~ 時分	日時		
1	金	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
2	土	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
3	日							
4	月	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
5	火	: ~ :			: ~ :		18:15 ~ 22:00	3h45m
6	水	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
7	木	: ~ :			: ~ :		18:15 ~ 19:30	1h15m
8	金	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
9	土							
10	日							
11	月	: ~ :			: ~ :		18:15 ~ 21:30	3h15m
12	火	: ~ :			: ~ :		18:15 ~ 21:45	3h30m
13	水	: ~ :			: ~ :		18:15 ~ 19:45	1h30m
14	木	: ~ :			: ~ :		18:15 ~ 19:30	1h15m
15	金	: ~ :			: ~ :		18:15 ~ 20:00	1h45m
16	土	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
17	日							
18	月	: ~ :			: ~ :		18:15 ~ 20:30	2h15m
19	火	: ~ :			: ~ :		18:15 ~ 19:30	1h15m
20	水	: ~ :			: ~ :		18:15 ~ 22:00	3h45m
21	木	: ~ :			: ~ :		18:15 ~ 21:30	3h15m
22	金	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
23	土	: ~ :			: ~ :		11:00 ~ 14:00	3h
24	日							
25	月	: ~ :			: ~ :		18:30 ~ 21:00	2h30m
26	火	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
27	水	: ~ :			: ~ :		18:30 ~ 22:30	4h
28	木	: ~ :			: ~ :		18:15 ~ 20:00	1h45m
29	金							
30	土	: ~ :			: ~ :		: ~ :	
計								

上記の通り報告します。

平成23年 5月 9日

所属長名：総合計画課長 川上 征雄



延岡市長 様

課長

主任兼課長
補佐兼係長

副主任兼
人事係長

研修主任係長

課員



(事務連絡)

平成23年6月1日

延岡市 総務部 職員課 御中

国土交通省 国土計画局 総合計画課

甲斐 章悟

研修に係る勤務状況について（報告）

いつもお世話になっております。

平成23年5月の勤務状況につきまして別紙のとおりご報告いたします。

内容のご確認及びご対応の程、よろしくお願いたします。

記

(別紙)

- ・ 勤務状況報告書（平成23年5月分）
- ・ 出勤簿（平成23年5月分）

以上

勤務状況報告書

所属：国土交通省 国土計画局 総合計画課 国土基盤班

研修員氏名：甲斐 章悟

【 平成23年 5月分 】

日	曜日	休暇の状況					時間外・休日勤務の状況	
		年次休暇		日時	その他の休暇		日時	日時
		時分 ~ 時分	日時		事由	時分 ~ 時分		
1	日							
2	月						18:15 ~ 20:00	1h45m
3	火							
4	水							
5	木							
6	金						18:15 ~ 20:30	2h15m
7	土							
8	日							
9	月							
10	火							
11	水						18:15 ~ 20:30	2h15m
12	木						18:15 ~ 22:30	4h15m
13	金							
14	土							
15	日							
16	月						18:15 ~ 22:00	3h45m
17	火						18:15 ~ 20:00	1h45m
18	水						18:15 ~ 20:00	1h45m
19	木							
20	金						18:15 ~ 20:00	1h45m
21	土							
22	日							
23	月							
24	火						18:15 ~ 20:30	2h15m
25	水							
26	木	9:30 ~ 12:00	2h30m				18:15 ~ 19:30	1h15m
27	金							
28	土							
29	日							
30	月							
31	火						18:15 ~ 19:45	1h30m
計								

上記の通り報告します。

平成23年6月1日

所属長名：総合計画課長 川上 征雄



延岡市長 様

平成 23 年

出 勤 簿

氏 名

甲斐 章悟

日 月	出 欠																集 計							
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	年次休暇		病 氣 休 暇 日/時/分	特 別 休 暇 日/時/分	短 促 許 可 期 間		欠 勤 時/分	其 他
	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	使 用 日/時/分	残 日/時/分			使 用 日/時	残 日/時		
七 月		土曜	日曜						土曜	日曜							///	///	///	///	/	/	/	
	土曜	日曜	休日					土曜	日曜						土曜	日曜								
八 月						土曜	日曜						土曜	日曜			///	///	///	///	/	/	/	
					土曜	日曜					土曜	日曜												
九 月			土曜	日曜						土曜	日曜						///	///	///	///	/	/	/	
		土曜	日曜	休日					休日	土曜	日曜													
十 月	土曜	日曜							土曜	日曜	休日					土曜	///	///	///	///	/	/	/	
	日曜						土曜	日曜						土曜	日曜									
十一 月			休日		土曜	日曜						土曜	日曜				///	///	///	///	/	/	/	
				土曜	日曜			休日			土曜	日曜												
十二 月			土曜	日曜						土曜	日曜						///	///	///	///	/	/	/	
		土曜	日曜						休日	土曜	日曜			休日	休日	土曜								
年次休暇 附与日数		繰越分		日		備 考		合 計		///	///	///	///	/	/	/								
		本年分		日						///	///	///	///	/	/	/								

出 勤 簿

氏 名		集 計														
甲斐 尊悟		年次休暇		病 氣 休 暇 日/時/分	特 別 休 暇 日/時/分	短 途 許 可 期 間		欠 勤 日/時/分	其 他							
使用 日/時/分	残 日/時/分	使用 日/時	残 日/時													
一	月	土曜	日曜	休日												
二	月	日曜														
三	月				土曜	日曜										
四	月				土曜	日曜										
五	月	土曜	日曜	甲斐	甲斐	甲斐	甲斐	甲斐	土曜	日曜	甲斐	甲斐	甲斐	甲斐	甲斐	甲斐
六	月	日曜	甲斐	休日	休日	休日	甲斐	土曜	日曜	甲斐	甲斐	甲斐	甲斐	甲斐	土曜	日曜
七	月	甲斐	甲斐	甲斐	甲斐	甲斐	土曜	日曜	甲斐	甲斐	甲斐	甲斐	甲斐	土曜	日曜	甲斐
八	月				土曜	日曜										
九	月				土曜	日曜										
十	月															
十一	月															
十二	月															
十三	月															
十四	月															
十五	月															
十六	月															
十七	月															
十八	月															
十九	月															
二十	月															
二十	月															
二十一	月															
二十二	月															
二十三	月															
二十四	月															
二十五	月															
二十六	月															
二十七	月															
二十八	月															
二十九	月															
三十	月															
三十一	月															
合計																

年次休暇 附与日数	繰越分 本年分	日 日	備 考	合 計
--------------	------------	--------	-----	-----

原本と相違ないことを証明します。
 平成23年 6月 1日
 国土計画局 総合計画課
 勤務時間管理員 須永 新平

課 主 人 研 係 業 課
員 査 専 務 主 業 務 務 務
長 係 長 長 長 長 長
長 長 長 長 長 長

20110-1084-6
平成25年10月2日



延岡市長 殿

宮崎県総合政策課長
(公印省略)

実務研修職員の研修状況通知書 (平成25年9月分)

貴市から派遣された職員の実務研修状況は、下記のとおりです。

記

1 出勤等の状況 (単位:日)

氏名	出勤・出張	研修	年次休暇	傷病休暇	特別休暇	備考
甲斐 正輝	19日	0日	0日	0日	日	

(注)年次休暇は、時間単位での取得分は合計時間数を日換算して算出し、記入する。

2 実務研修の状況

(1) 主な事務分掌

- ① 総合計画に係る将来推計に関すること。
- ② 政策評価に関すること。
- ③ 国土形成計画・広域地方計画に関すること。
- ④ 民間との包括協定に関すること。
- ⑤ PFIに関すること。

(2) 主な業務内容

- ・ 9月定例県議会を迎え、答弁書の作成や参考資料の作成を行った。
- ・ 次期総合計画の策定に係る人口フレームの検討(委託発注準備)
- ・ イオンとの包括協定に係る連絡調整及び関係課との詳細な調整作業を行った。
- ・ 九州圏地方広域計画のフォローアップの関係で、九州地方整備局等との調整作業に当たった。
- ・ PFI関係の資料収集等を行った。

3 その他特記事項

- ・ 9月24日には福岡市で開催された国土形成計画九州圏地方計画協議会幹事会に出席。

課 主 人事係長
員 査 長
副主幹兼
研修主任係長
業務管理監
兼課長
係長
課 副参事兼
長

20110-1084-5
平成25年9月3日



延岡市長 殿

宮崎県総合政策課長
(公印省略)

実務研修職員の研究状況通知書 (平成25年8月分)

貴市から派遣された職員の実務研修状況は、下記のとおりです。

記

1 出勤等の状況 (単位：日)

氏名	出勤・出張	研修	年次休暇	傷病休暇	特別休暇	備考
甲斐 正輝	19日	0日	0日	0日	3日	特休は夏季休暇

(注)年次休暇は、時間単位での取得分は合計時間数を日換算して算出し、記入する。

2 実務研修の状況

(1) 主な事務分掌

- ① 総合計画に係る将来推計に関すること。
- ② 政策評価に関すること。
- ③ 国土形成計画・広域地方計画に関すること。
- ④ 民間との包括協定に関すること。
- ⑤ PFIに関すること。

(2) 主な業務内容

- ・ 8月5日、知事とイオン九州社長による「イオングループと県との包括提携協定締結式」の開催を段取り。イオングループや庁内関係者との連絡調整を円滑に図り、滞りなく締結式を執り行った。
- ・ 九州圏地方広域計画のフォローアップの関係で、九州地方整備局等との調整作業に当たった。
- ・ 今年度の県の政策評価について、資料作成や委員会開催に同僚と協力して当たり、最終報告書の作成に貢献した。
- ・ 同僚とともに、「県政概要」の今年度版を取りまとめた。

3 その他特記事項

- ・ 8月30日に福岡市で開催されたPPP (官民パートナーシップ) 講演会に出席。
- ・ 5月に受診した健康診断の判定は「C2」で特記すべき自覚症状や既往歴もなし。

課 主 人事係長 副主幹兼 業務管理監 課 副参事兼
員 査 長 研修庫生係長 業務管理監 課 副参事兼
係 長 業務管理監 課 副参事兼



20110-1084-4
平成25年8月5日

延岡市長 殿

宮崎県総合政策課長
(公印省略)

実務研修職員の研修状況通知書 (平成25年7月分)

貴市から派遣された職員の実務研修状況は、下記のとおりです。

記

1 出勤等の状況 (単位：日)

氏名	出勤・出張	研修	年次休暇	傷病休暇	特別休暇	備考
甲斐 正輝	21日	0日	0.5日	0日	0日	他に時間休3時間

(注)年次休暇は、時間単位での取得分は合計時間数を日換算して算出し、記入する。

2 実務研修の状況

(1) 主な事務分掌

- ① 総合計画に係る将来推計に関すること。
- ② 政策評価に関すること。
- ③ 国土形成計画・広域地方計画に関すること。
- ④ 民間との包括協定に関すること。
- ⑤ PFIに関すること。

(2) 主な業務内容

- ・ イオングループと県との包括協定を8月5日に締結するところまでこぎつけ、当日に向け、イオンとの連絡調整や関係課との協定内容の詳細な調整に努めた。
- ・ 政策評価委員会の実施に係る資料作成を行った。
- ・ 「県政概要」の作成を行っている。

3 その他特記事項

- ・ 7月9日に宮崎大学附属中学校が実施した生徒による「県政課題研究会」に総合政策課の職員とともに出席。中学生との質疑応答を行った。
- ・ 7月31日に開催された県の政策評価委員会全体会に出席。
- ・ 猛暑の時期であり、夏季休暇をはじめとする休暇は積極的に取得するよう指導したい。

課 主 人事係長
員 査 副主幹兼
 研修庫生係長
 業務管理係長
 兼総務係長
 課 副参事兼
 長

20110-1084-3
平成25年7月2日

延岡市長 殿

宮崎県総合政策課長
(公印省略)

実務研修職員の研修状況通知書 (平成25年6月分)

貴市から派遣された職員の実務研修状況は、下記のとおりです。

記

1 出勤等の状況 (単位：日)

氏名	出勤・出張	研修	年次休暇	傷病休暇	特別休暇	備考
甲斐 正輝	21日	0日	0日	0日	0日	6/1(土)出勤。後日 半日振替取得済。

(注)年次休暇は、時間単位での取得分は合計時間数を日換算して算出し、記入する。

2 実務研修の状況

(1) 主な事務分掌

- ① 総合計画に係る将来推計に関すること。
- ② 政策評価に関すること。
- ③ 国土形成計画・広域地方計画に関すること。
- ④ 民間との包括協定に関すること。
- ⑤ PFIに関すること。

(2) 主な業務内容

- ・ イオングループと県との包括協定締結に向け、イオン及び関係課の担当者との連絡調整に努めた。
- ・ 入庁10年目の県職員が受講する研修の講師として「県総合計画」について説明した。
- ・ 県議会答弁に係る資料作成の補助等を行った。

3 その他特記事項

- ・ 6月1日にメディキット県民文化センターで举行了置県130年記念式典においても、休日開催の中、参加者受付等の運營業務に積極的に貢献した。
- ・ 6月は、県議会が開催され、企画担当全体の業務が錯綜したが、自己の担当業務以外のサポートにも厭うことなく対応した。

課 主 人事係長 副主幹兼 業務管理監 副参事兼
員 査 研修厚生係長 係長 兼課長補佐 長

20110-1084-2
平成25年6月3日

延岡市長 殿



宮崎県総合政策課長

実務研修職員の研修状況通知書（平成25年5月分）

貴市から派遣された職員の実務研修状況は、下記のとおりです。

記

1 出勤等の状況

（単位：日）

氏名	出勤・出張	研修	年次休暇	傷病休暇	特別休暇	備考
甲斐 正輝	20日	0日	1日	0日	0日	

（注）年次休暇は、時間単位での取得分は合計時間数を日換算して算出し、記入する。

2 実務研修の状況

（1）主な事務分掌

- ① 総合計画に係る将来推計に関すること。
- ② 政策評価に関すること。
- ③ 国土形成計画・広域地方計画に関すること。
- ④ 民間との包括協定に関すること。
- ⑤ PFIに関すること。

（2）業務内容

- ・ 平成24年度事業の政策評価について、「危機対応」や「産業づくり」に関する分野を担当し、各部局との調整作業に当たるとともに、政策評価委員会（分科会）の開催に係る関連事務を行った。
- ・ 各地域で実施される地方連絡協議会のうち、「西臼杵」及び「東臼杵」地区に参加し、各地域における課題や取組の状況について、知識の習得に努めた。
- ・ イオングループと県との包括協定に向け、イオン及び関係課の担当者との連絡調整に努めた。

3 その他特記事項

- ・ 引き続き報告・相談等も適切に行いながら、円滑に業務を遂行している。
- ・ 置県130年記念式典の実施など、総合政策課全体で協力して遂行した業務においても献身的に貢献し、組織の一員としての自覚、姿勢に安心感がある。

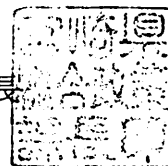
課 主 人事係長 副主幹兼 業務管理監 副参事兼
員 査 研修厚生係長 係長 長 長

20110-1084
平成25年5月1日

延岡市長 殿



宮崎県総合政策課長



実務研修職員の研修状況通知書（平成25年4月分）

貴市から派遣された職員の実務研修状況は、下記のとおりです。

記

1 出勤等の状況

（単位：日）

氏名	出勤・出張	研修	年次休暇	傷病休暇	特別休暇	備考
甲斐 正輝	20日	0日	0日	0日	0日	年休 3h

（注）年次休暇は、時間単位での取得分は合計時間数を日換算して算出し、記入する。

2 実務研修の状況

（1）主な事務分掌






- ① 総合計画に係る将来推計に関すること。
- ② 政策評価に関すること。
- ③ 国土形成計画・広域地方計画に関すること。
- ④ 民間との包括協定に関すること。
- ⑤ PFIに関すること。

（2）業務内容

- ・ 県における事務の流れ、進め方等の全体像を把握するため、総合政策課が関与する様々な庁内会議、打合せ等に積極的に参加した。
- ・ 総合計画の推進、見直しを班全体として進めていくこととなるため、計画全体（長期ビジョン、アクションプラン）に係る内容、知識の習得や整理に努めた。
- ・ 平成24年度事業の政策評価を進めるに当たり、総合計画（アクションプラン）の工程表の内容把握や、各部局との調整作業に当たった。
- ・ 九州圏地方広域計画のフォローアップの関係で、九州地方整備局等との調整作業に当たった。

3 その他特記事項

- ・ 職場の雰囲気にも馴染み、適時、的確に報告・相談等も行い、円滑に業務を遂行している。
- ・ 業務知識を吸収しつつ、懇親会等も通じ、他課の職員とも人脈を広げようとしているところであり、今後の活躍が期待されるとともに、楽しみな人材である。

課 員	人事係主査	人事係長	主幹兼課長補 佐・給与係長	課 長
				

復 命 書

出張年月日 平成 25 年 2 月 15 日 (金) 10:00~12:00

出張地 宮崎県庁附属棟 2 階 201 号室

出張用件 平成 24 年度市町村派遣実務研修職員政策課題研究発表会出席

所 感

市町村派遣実務研修職員の政策課題研究については、勤務時間外に行っており、先進地視察等はあるものの、研修に費やす時間短いものと思われました。本市では 8 年目職員を中心に実施していますが、研修内容や発表状況は本市の職員の方が深い充実したものとなっています。

ただ、政策課題のテーマは IT 機器 (スマートフォン等) を活用して行政情報の提供や「命名権」などの導入等であり、着眼点は評価できるものでした。本市の高橋主任主事については、一昨年の本市での政策課題研修の経験を踏まえ、第 2 班で研究内容の発表を担当するなど積極的な姿勢が伺えました。この命名権の導入については、本市においても今後の研究課題とする必要があるものと思われました。

平成 25 年 2 月 19 日

復命者 : 職員課研修厚生係長 児崎 文昭





課 主 人事係長 研修生係長 主幹兼課長 補佐給与係長 課 副 参事兼 長

21950-2263
平成25年1月25日

各市町村人事担当課長
各一部組合・広域連合事務局長

宮崎
殿
お会します。

宮崎県総務部市町村課長
(公印省略)

平成24年度市町村派遣実務研修職員の政策課題研究発表会について (通知)

市町村から派遣いただいております平成24年度市町村派遣実務研修職員のうち、本庁配属の12名は、昨年8月から特別研修を受講するとともに、政策課題研究に取り組んでいます。

このたび、下記のとおり研究発表会を開催しますので、御多忙のことと存じますが、関係職員の方に研究成果を御覧いただきたく御案内いたします。

なお、出席していただける場合は、別紙により平成25年2月6日(水)までにお知らせください。

記

- 1 日時
平成25年2月15日(金) 午前10時から正午まで
- 2 場所
県庁附属棟2階 201号室
- 3 研究テーマ等
 - 【第1班】 行政サービスにおける小型情報端末活用の可能性について
 - 班 長 川野 辰幸 (市町村課 行政担当) 派遣元: 宮崎市
 - 班 員 阿久根 浩史 (市町村課 財政・地方債担当) 派遣元: 川南町
 - 濱砂 勇二 (市町村課 財政・地方債担当) 派遣元: 西米良村
 - 橋口 智一 (企業立地課 企業立地推進担当) 派遣元: 日向市
 - 【第2班】 ネーミングライツ(命名権)導入による税外収入増加計画
 - 班 長 平 真樹 (市町村課 行政担当) 派遣元: 高原町
 - 班 員 河野 真史 (市町村課 財政・地方債担当) 派遣元: 高鍋町
 - 川崎 極 (市町村課 税制・交付税担当) 派遣元: 三股町
 - 高橋 泰成 (総合政策課 調整担当) 派遣元: 延岡市
 - 【第3班】 廃校を活用した地域再生プラン
 - 班 長 巽 雄司 (市町村課 行政担当) 派遣元: 木城町
 - 班 員 井植 博志 (市町村課 財政・地方債担当) 派遣元: 日之影町
 - 後藤 仁 (市町村課 選挙担当) 派遣元: 日向市
 - 鬼束 洋一郎 (企業立地課 企業立地推進担当) 派遣元: 都城市
- 4 その他
会場に駐車場はありませんので、予め御了承ください。

【担当】行政担当 松田

TEL 0985-26-7116 Fax 0985-27-7919

Matsuda-takanori@pref.miyazaki.lg.jp

(別紙)

【**縣市町村課 行政担当 松田**】あてに電子メール又はFAXでお送りください。
E-mail: matsuda-takanori@pref.miyazaki.lg.jp FAX: 0985 (27) 7919

回答締切: 2月6日(水)

市町村名	延岡市
所属	職員課
担当者名	児崎文昭
電話番号	0982-22-7007
メールアドレス	shokuin@city.nobeoka.miyazaki.jp

平成24年度市町村派遣実務研修職員の政策課題研究発表会出席者

所属	職名	氏名
職員課	研修厚生係長	児崎文昭

延岡市総務部職員課

送信者: “松田 隆則” <matsuda-takanori@pref.miyazaki.lg.jp>
宛先: <undisclosed-recipients:>
送信日時: 2013年1月25日 13:43
添付: 開催通知(市町村等).doc; 出席者名簿(市町村).xls
件名: 【案内】平成24年度市町村派遣実務研修職員の政策課題研究発表会について
各市町村人事担当者
各一部事務組合人事担当者 様
各広域連合人事担当者

お世話になっております。

市町村から県に派遣いただいております平成24年度市町村派遣実務研修
・職員のうち、本庁の12名は、昨年8月から特別研修を受講するとともに、
・政策課題研究に取り組んでまいりました。

この度、別添のとおり研究発表会を開催しますので、ご多忙のことと存じ
ますが、職員の方に研究成果をご覧いただきたくご案内いたします。

なお、出席していただける場合は、別紙出席者名簿に記入の上、
2月6日(火)までに、下記担当までお知らせください。

よろしく申し上げます。

宮崎県総務部市町村課
行政担当 主任主事 松田隆則
〒880-8501
宮崎市橋通東2丁目10番1号
電話:0985-26-7116
FAX:0985-27-7919
E-mail:matsuda-takanori@pref.miyazaki.lg.jp

平成24年度 市町村派遣実務研修職員
政策課題研究発表会 次第

日時 平成25年2月15日(金)
午前10時から
場所 附属棟2階201号室

- 1 開会 10:00~
- 2 研究発表【30分(発表25分、質疑応答5分)×3班】 10:05

【第1班】 行政サービスにおける小型情報端末活用の可能性について

班長 川野 辰幸 (市町村課 行政担当) 派遣元：宮崎市
 班員 阿久根 浩史 (市町村課 財政・地方債担当) 派遣元：川南町
 濱砂 勇二 (市町村課 財政・地方債担当) 派遣元：西米良村
 橋口 智一 (企業立地課 企業立地推進担当) 派遣元：日向市

【第2班】 命名権導入による自治体活性化

班長 平 真樹 (市町村課 行政担当) 派遣元：高原町
 班員 河野 真史 (市町村課 財政・地方債担当) 派遣元：高鍋町
 川崎 極 (市町村課 税制・交付税担当) 派遣元：三股町
 高橋 泰成 (総合政策課 調整担当) 派遣元：延岡市

【第3班】 廃校を活用した地域再生プラン

班長 巽 雄司 (市町村課 行政担当) 派遣元：木城町
 班員 井植 博志 (市町村課 財政・地方債担当) 派遣元：日之影町
 後藤 仁 (市町村課 選挙担当) 派遣元：日向市
 鬼束 洋一郎 (企業立地課 企業立地推進担当) 派遣元：都城市

タイムリ-な政策課題

- 3 講評 11:45
- 4 閉会 12:00
- ・ 説得力のある政策
 ・ 現状分析(詳細)
 ・ 先進地視察のフィードバック
- } 各地域での取組み

1班
 効果の確認
 iTours

2班
 東郷プロジェクト
 行政と民間企業の
 利益の一致
 企業の考え方の把握

3班
 アケートの工夫(都市部・山間部)
 県内事例の紹介
 日向市の考え方方針(坪屋中)

平成24年度 市町村派遣実務研修員政策課題研究

「行政サービスにおける 小型情報端末活用の可能性について」

第1班 川野 辰幸 阿久根 浩史
橋口 智一 濱砂 勇二



1班のメンバー

市町村 濱砂 勇二
元IT企業の営業マン。かりぼろずの扉を小学坂本で開いていた。

企業立地 橋口 智一
全国を飛び回る1班の父。できればもう2人欲しい。

市町村 川野 辰幸
1班の班長。何かと話に「うちの扉」が登場する重要人物。

市町村 阿久根 浩史
研修生としての食通。宮崎牛日本一に当たり前だと怒った男。

はじめに



▶ スマートフォン・タブレット端末を使っている人が多くなった。
※メンバー全員スマートフォンを所有



▶ 普段の使い方

- ・Webサイトを見る。
- ・SNSアプリを使う。
- ・写真、動画を撮影する。
- ・ゲームアプリで遊ぶ。
- ・ニュースを見る。
- ・地図でルートを探す。



はじめに



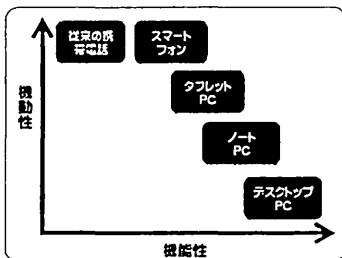
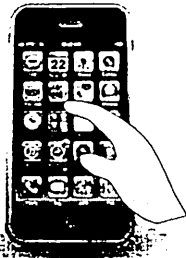
- ▶ 普段の使い方は娯楽に偏っている。
- ▶ 業務で使ったことがない。
- ▶ 小型情報端末で何がどこまでできるかわからない。



行政で効果的に
活用することはできないか

第1章 特徴について

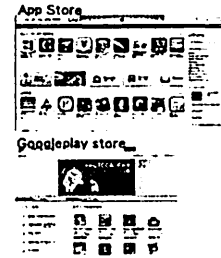
スマートフォン・タブレット端末の特徴



- ▶ 画面に直接触れて操作するユニークな操作性。
- ▶ 高い機動性と機能性を持ち合わせた端末。

第1章 特徴について

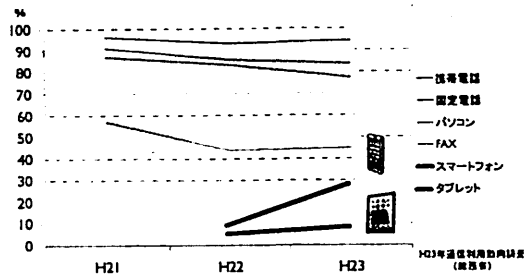
スマートフォン・タブレット端末の特徴



- ▶ 地図機能などの優れた機能がある。
- ▶ アプリを追加することで様々な機能を付加できる。

第2章 現状について

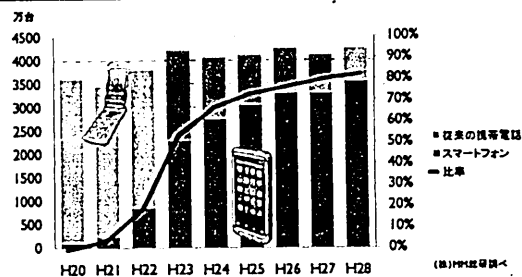
①情報通信機器の保有率



▶ 特にスマートフォンの普及が急速に進んでいる。

第2章 現状について

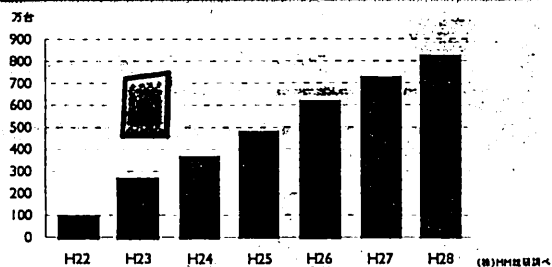
②スマートフォンの出荷台数の推移



▶ H27年度には、携帯電話の8割以上を占める。

第2章 現状について

③タブレット型端末の出荷台数の推移



▶ 今年は世界でノートパソコンの出荷台数を超える。
▶ 国内でも出荷台数は伸びていく。

第3章 活用状況等について

自治体等の取り組み

- ・観光
- ・教育
- ・福祉
- ・広報
- ・防災

本県での取り組み



宮崎県観光協会
「神☆コレ」

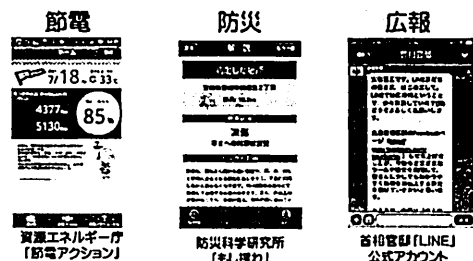


みやざき情報コミュニケーション協会
「ひわかナビ」

▶ 特に観光分野での活用事例が多い

第3章 活用状況等について

国等の取り組み



▶ 総務省「スマートフォン プライバシー イニシアティブ」
⇒ 利用者が安全安心に利用できるように

第4章 小型情報端末を活用した先進地調査①

株式会社きびもく(所在地:大阪市)

▶ 視察目的

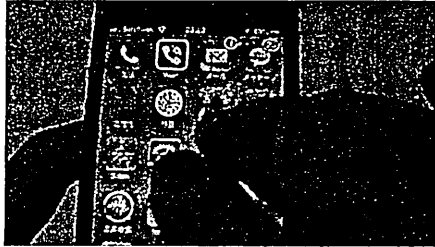
▶ 障がい者福祉分野における小型情報端末の効果について

▶ ポイント

▶ 障がい者雇用の環境改善を目指した取り組み。
▶ スマートフォンの高い機動力と操作性に注目し、「お墓参り代行サービス」を企画。

第4章 小型情報端末を活用した先進地調査①

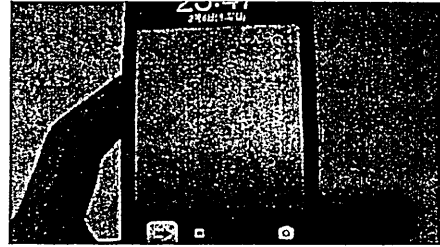
優れたアシスト機能



▶ アシスト機能①
⇒ 画面の拡大表示
※iPhoneの「三本指のタップ」による操作

第4章 小型情報端末を活用した先進地調査①

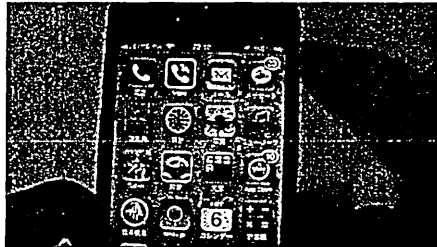
優れたアシスト機能



▶ アシスト機能②
⇒ 声による操作(例:電話の発信)
※iPhoneの「Siri」による操作

第4章 小型情報端末を活用した先進地調査①

優れたアシスト機能



▶ アシスト機能③
⇒ 音声読み上げ機能(例:メールの確認)
※iPhoneの「VoiceOver機能」

第4章 小型情報端末を活用した先進地調査①

ちゅうNet "ありがちゅう"お墓参り代行

遠方に住んでお墓掃除できない方、お墓参りできずにお困りの方、
私たちはお墓参り・お墓のお掃除代行を
心をこめて丁寧に行います。

TOP | 実店舗での案内 | 料金コース | 墓参り・お墓 | お墓の歴史 | スタッフブログ

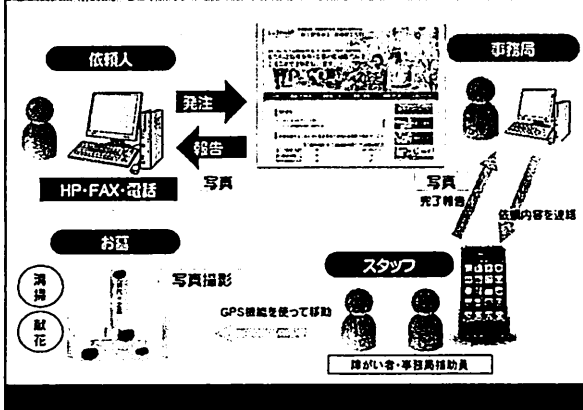
NEWS

2012.02.22 墓参り代行サービスのご案内

2012.01.18 墓参り代行サービスのご案内

多摩圏をはじめとする東京都府中市内のお墓参り代行サービス

第4章 小型情報端末を活用した先進地調査①

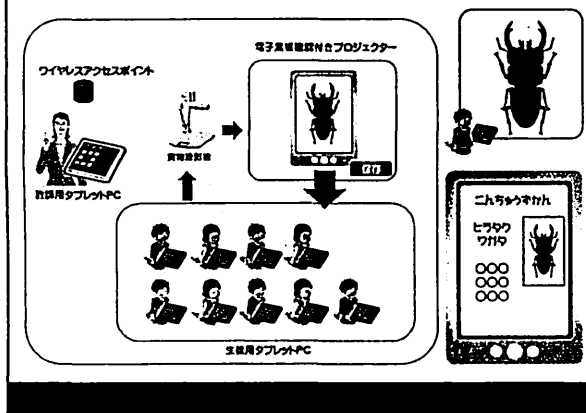


第4章 小型情報端末を活用した先進地調査②

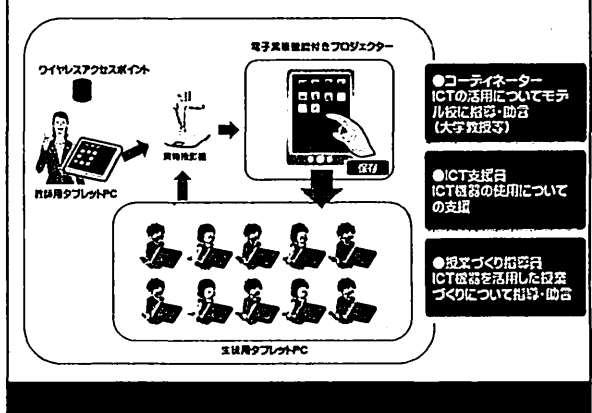
大阪市教育委員会

- ◎ 視察目的
 - ▶ 教育現場でのICT活用の取り組み
- ◎ ポイント
 - ▶ タブレット端末を1人1台利用して授業を受けられる体制を整備。
 - ▶ 情報モラル学習教材としての活用も視野に入れる。

第4章 小型情報端末を活用した先進地調査②



第4章 小型情報端末を活用した先進地調査②

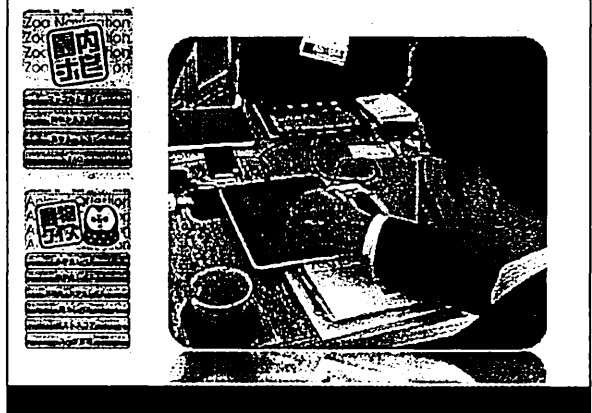


第4章 小型情報端末を活用した先進地調査②

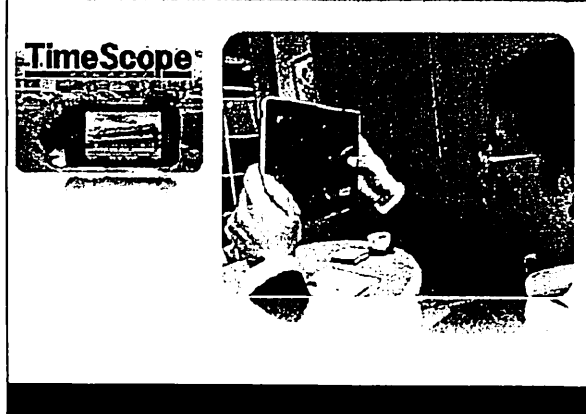
(財)京都技術研究所

- ▶ 視察目的
 - ▶ 小型端末を活用したシステム開発に係る支援の背景について
- ▶ ポイント
 - ▶ iPhoneプロジェクトを立ち上げ組織化。
 - ▶ 京都市動物園の「野生の窓」や歴史的建造物をVRにて再現する「タイム・スコープ」など実績豊富。

第4章 小型情報端末を活用した先進地調査②



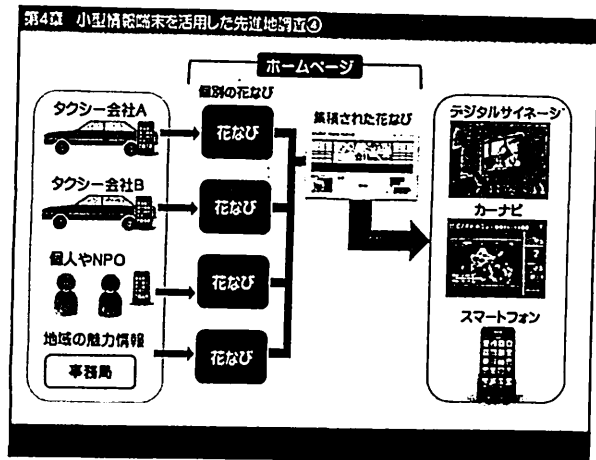
第4章 小型情報端末を活用した先進地調査②



第4章 小型情報端末を活用した先進地調査②

京都フラワーツーリズム推進協議会

- ▶ 視察目的
 - ▶ 観光アプリ「花なび」の開発に至った経緯と取り組み
- ▶ ポイント
 - ▶ 若者や外国人観光客がターゲット。引き付けるツールは小型情報端末が不可欠。
 - ▶ タクシー会社と協力した鮮度の高い情報を収集するアイデアとICT活用。



第4章 小型情報端末を活用した先進地調査②
京田辺市役所

▶ 視察目的
▶ ご当地アプリ「iTours」の開発経緯及び活用実績

▶ ポイント
▶ インキュベーション施設D-eggを設立し、産官学連携を促す環境を整備。
▶ 開発会社はD-egg入居企業であり、実験的な取り組みを多く手がける。

iTours パッケージ商品 988,000円

第4章 小型情報端末を活用した先進地調査②

<p>同志社大学 Doshisha University D. U. E. S. S マーケティングに関するアドバイス 英語サークルによる英訳</p>	<p>中小機構 アドバイス・PRの手伝い等</p>
<p>運行管理・情報提供 京田辺市 京田辺市観光協会</p>	<p>システム・アプリの開発 Yoshizou XYZ Solutions</p>

京田辺市 開発費用 0円

第4章 小型情報端末を活用した先進地調査③

全ての街に、ご当地アプリを。

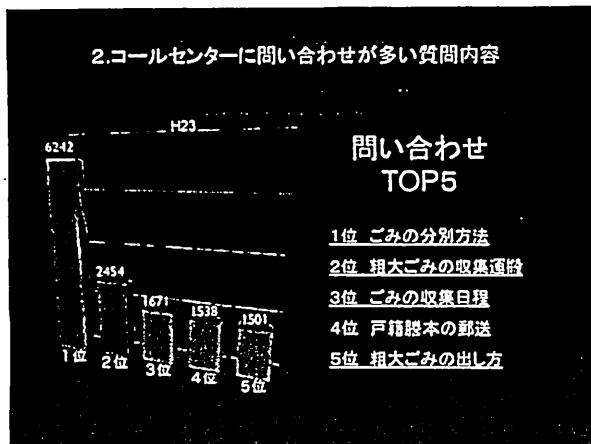
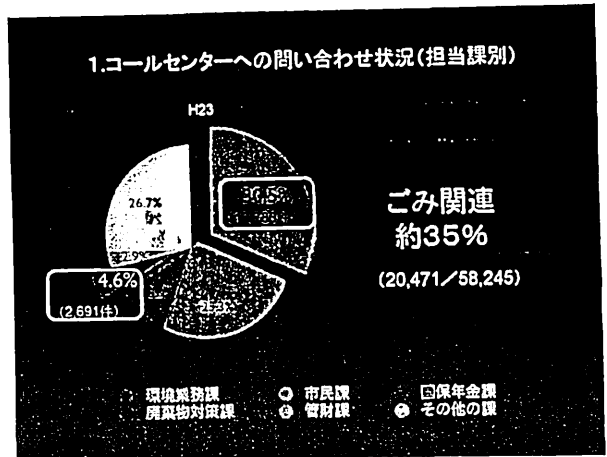
京田辺観光大使 一休さん

各自治体での活用案

宮崎市 ごみ情報提供ツール	市民のニーズに答えるアプリの開発
日向市 外国人観光客をターゲットにした観光ツール	低コストで導入可能な「iTours」の活用
川南町 食材の宝庫の街の情報発信ツール	
西米良村 高齢者による新しい情報発信ツール	タブレット端末の特性を生かした取り組み

開発の場合には複数の自治体で行い、経費削減、リスク分散する。

「ごみ情報提供ツール」 としての活用策



3.ごみに関する現状等

- 自治会未加入者への周知策が課題
- 集積所管理者(自治会)とのトラブル
- 外国人住民にとっても最も必要としている情報
『外国人住民生活実態調査結果報告書(H23年度)』

4.ごみ情報アプリ「互美(ごみ)ナビ」の導入

若年層等に対する
分別啓発の補完ツール

『正しい分別排出の促進』

5.「互美(ごみ)ナビ」の機能

①基本機能

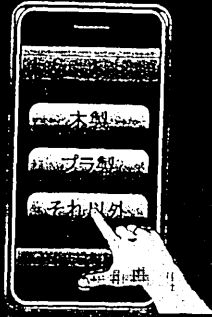
ごみの分別の仕方
(例)用語検索

5.「互美(ごみ)ナビ」の機能

①基本機能

ごみの分別の仕方

(例)用語検索

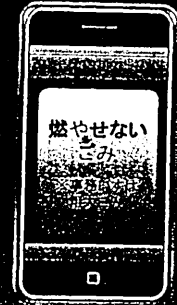


5.「互美(ごみ)ナビ」の機能

①基本機能

ごみの分別の仕方

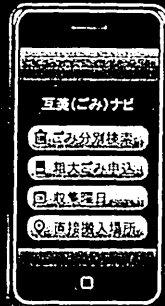
(例)用語検索



5.「互美(ごみ)ナビ」の機能

①基本機能

- ・粗大ごみの収集申し込み
- ・収集曜日の表示と登録
- ・直接搬入場所の地図表示



5.「互美(ごみ)ナビ」の機能

②応用機能

- ・マスコットの活用
(リサイクルマン、エコガルー)
- ・環境美化活動の情報発信
(Facebook、twitterとの連携)
- ・分別ゲーム機能
- ・翻訳機能



6.「互美(ごみ)ナビ」の効果

①基本機能による効果

正しいごみの出し方の促進



ごみの減量と
リサイクルの推進



集積所管理者(自治会)
の負担軽減

6.「互美(ごみ)ナビ」の効果

②応用機能による効果



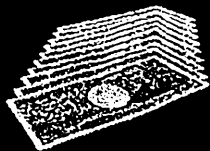
自治会等の環境美化活動の
周知啓発



外国人住民のごみ出しに対
する理解の深まり

7. アプリ提供の課題

- ・一部の限られた所有者を対象
- ・活用されるかどうか不透明



導入コストの抑制

8. 導入コスト抑制の事例

横浜市の開発経費はタダ。本来は200万円必要

企業側のメリットが大きい事で実現



- ・多くのメディアに紹介 ⇨ 認知度UP
- ・自治体とのプロジェクト ⇨ 信用度UP
- ・行政向け市場での地位獲得 ⇨ ビジネスチャンスUP
- ・企業の勉強 ⇨ スキルUP

9. 導入コスト抑制のための対策

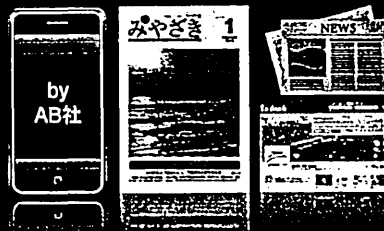
Research



9. 導入コスト抑制のための対策

PR

public relations



9. 導入コスト抑制のための対策

Speed



9. 導入コスト抑制のための対策

Step



9.導入コスト抑制のための対策

AD advertisement

△▽不動産

OOO

10.「互美(ごみ)ナビ」への更なる期待

Facebook twitter

美化活動

互美ナビ

おわりに

- ▶ スマートフォン・タブレット端末の活用は避けては通れない。
- ▶ 直観的な操作でよりICTが身近に。平等に情報を共有できる媒体。
- ▶ 無償アプリの活用など、コストを抑えることも可能。
- ▶ 大切なのは利用者の立場を念頭に置いた取り組みと、活用するアイデア。

おわりに

スマートフォンページの設置

フェイスブック・ツイッターの活用

OO市ホームページ

OO市スマートフォンページ

遅れている

様々な分野で活用

※観光系の利用が多い

▶ 住民に直接関係する情報が多いのはホームページなのだが・・・

住民は何を求めている？

負担軽減・満足度向上

観光客+住民への活用

命名権（ネーミングライツ） 導入による自治体活性化

2班
平真樹、河野真史、川崎極、高橋泰成

2班のメンバー

はじめに

【テーマ選定の背景】

自治体の財政不安定

税外収入の確保

- 公有財産の活用
 - 合併で不要となった庁舎の貸与
 - 駐車場等の余裕スペースの貸与
- 広告事業
 - 広報誌やHPへの広告掲載
 - 公有施設への命名権の導入

命名権の導入による効果

- 対象施設がないから？
- 企業が少ないから？

泉佐野市 市名売却

命名権の概要

【命名権とは】

一般的には、施設・設備等対象物に対して企業の社名やブランド名などを付与する権利

施設等所有者は、名称付与権を取得する相手方であるスポンサー企業に付与

その対価として、スポンサー企業は契約金額を支払う

命名権の概要

【一般的な商取引と命名権の違い】

【一般的な商取引】

売り手 ↔ 買い手

【命名権】

売り手 ↔ 買い手

↑

住民

↓

住民の理解・協力があって契約成立

命名権の概要

【命名権の歴史】

海外 1970年代以降、アメリカで定着。スポーツ施設の建設・運営資金調達のための手法。シアトルマリナーズの本拠地「セーフコ・フィールド」は保険会社名が冠せられている。

国内 2003年3月3日、東京スタジアム（横浜市）が「味の素スタジアム」へ改名（5年間の契約）（2004年）国内の公共施設としては初の事例

自治体 2005年、横浜市の国際総合競技場「日産スタジアム」へ

命名権の概要

【命名権の形】

自治体が導入している命名権の形

〇〇

「公の施設」の通称・称を定める権利

↓

条例改正の必要なし！

命名権の概要

【命名権導入のメリット①】

◆行政側

- ①収入多額確保
- ②利用者の利便性向上
- ③スポーツ文化施設の充実
- ④維持・補修

命名権の概要

【命名権導入のメリット②】

◆企業側

- ①企業名・商品名の認知度向上
- ②ブランドイメージの向上
- ③地域住民の好感度向上
- ④社会貢献活動の促進

命名権の概要

【命名権導入のデメリット】

- ①短期間で施設名が変わってしまう可能性
- ②施設の場所や機能名が分かりづらくなる
- ③歴史ある建物の場合、住民感情を害する可能性
- ④契約企業が不祥事を起こした場合のイメージダウンリスク

命名権の国内動向

【対象物の変遷】

2003年～ 大型運動施設への導入
 「東京スタジアム」→「味の素スタジアム」の事例を機に、大型運動施設へ導入が広がる

2005年ごろ～ 地方自治体所有施設への導入
 地方自治体の財源不足を背景に、自治体所有の運動施設や文化施設へ導入が進む

近年 施設以外への導入
 森林、ダム、道路や、事業等の実物資産以外のもので、その対象物は多岐に及ぶ

命名権の国内動向

【目的の変化】

自治体の目的
 収入の確保

企業の目的
 広告効果

+

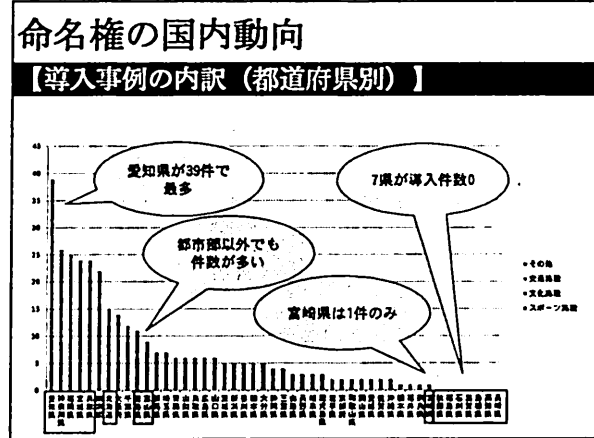
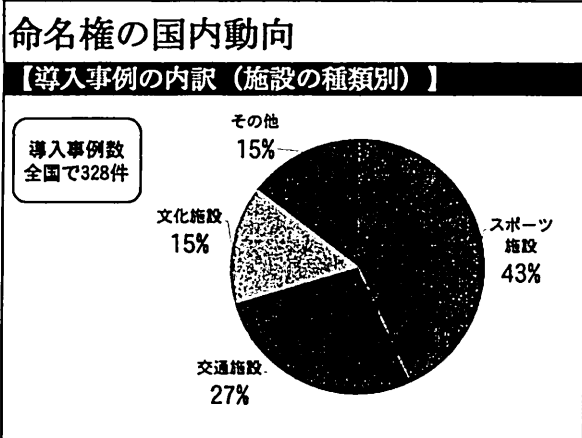
目的の多様化

+

住民・企業との協働

+

社会貢献活動



命名権の国内動向

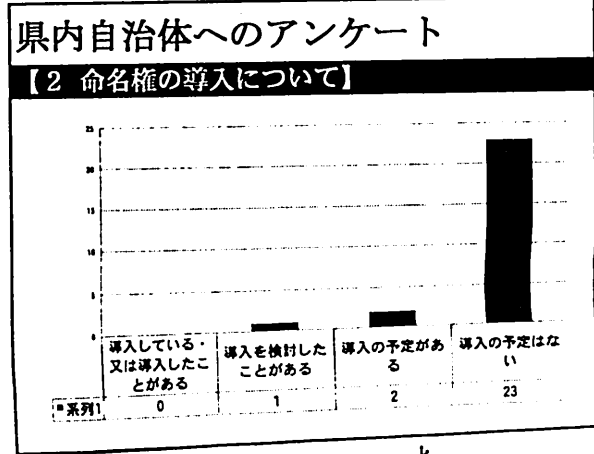
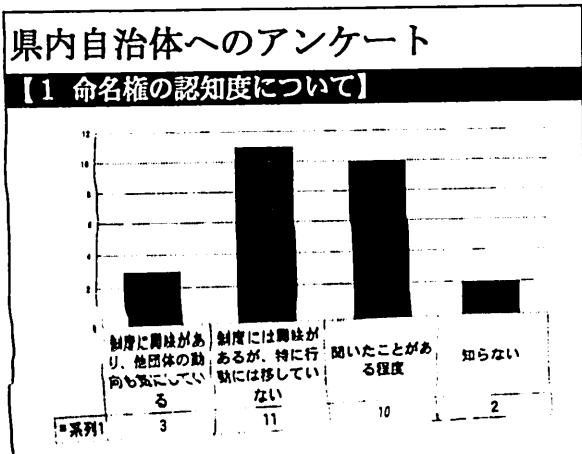
【県内の命名権への取り組み】

◆県内の導入実績
 メディキット県民文化センター
 正式名称: 宮崎県立芸術劇場
 期間: 2008年4月1日～2014年3月31日
 契約金額 年間2千万円

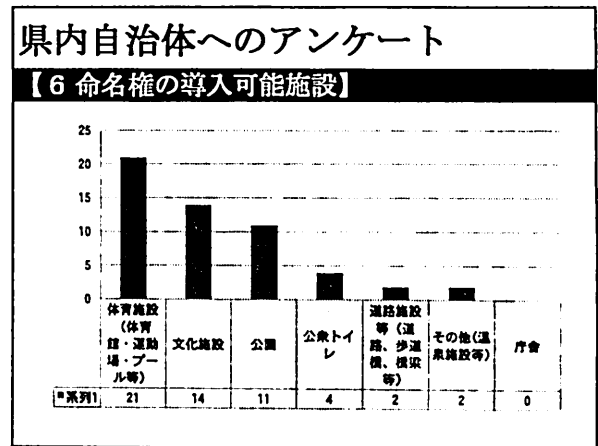
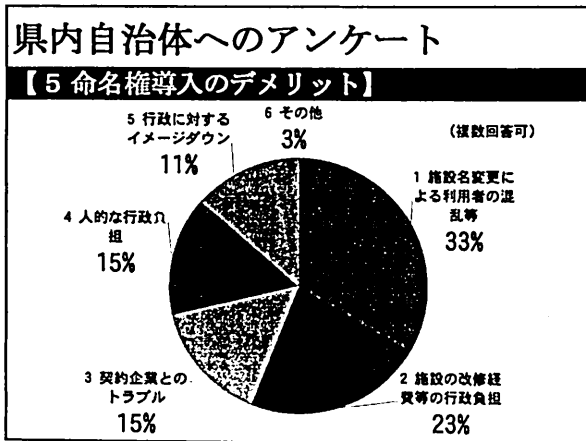
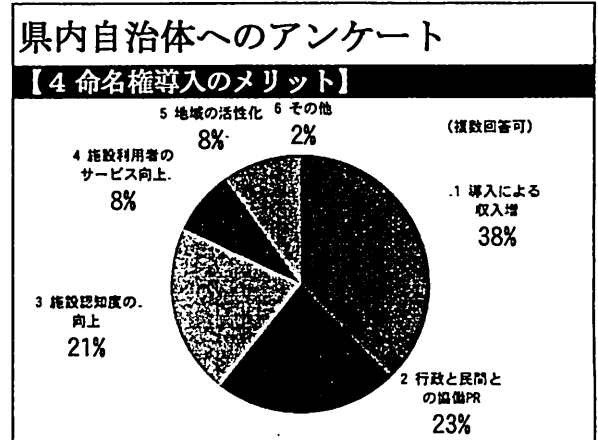
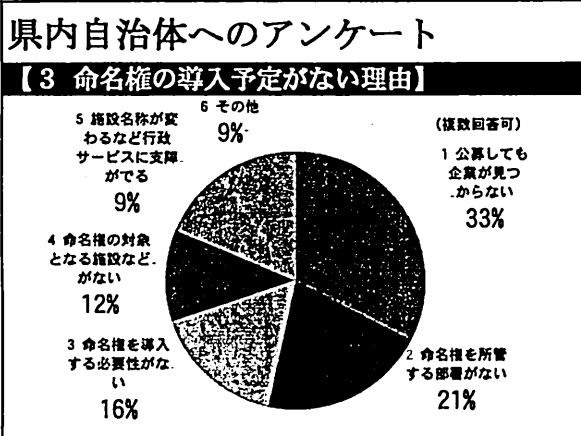
県内自治体へのアンケート

【アンケートの概要】

- ★目的: 自治体全体の考え方や方向性を調査
- ★対象: 公共施設状況調査担当部署概要
- ★回答数: 県内26市町村
- ★実施時期: 平成25年1月



宮崎 川南 日南



県内自治体へのアンケート

【アンケート結果】

約半数以上が興味を持っている

条件が揃えばどの自治体でも導入の可能性がある

県外先進地での取組事例

【1 大阪府庁】

(1)ネーミングライツサポート事業者制度

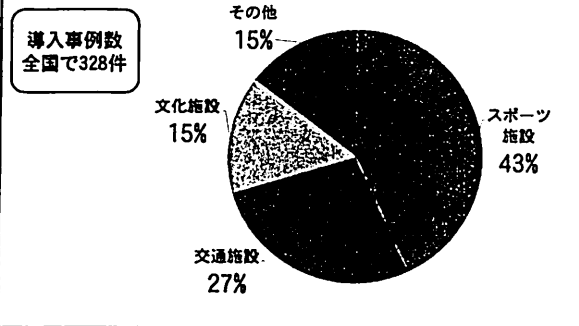
(2)全国初！歩道橋に命名権

- ◎9件の契約実績で1,000万円強の収入
- ◎収入は施設の維持管理費に充当

企業ニーズの相違などから、新たな導入は難しい状況

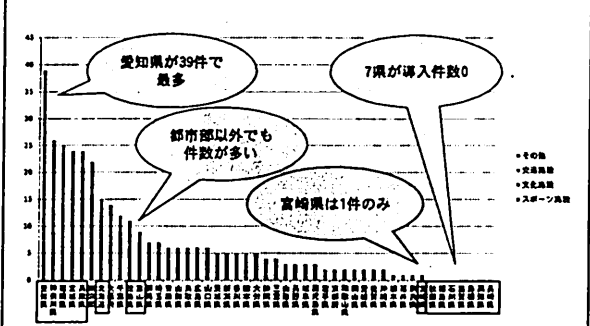
命名権の国内動向

【導入事例の内訳（施設の種別）】



命名権の国内動向

【導入事例の内訳（都道府県別）】

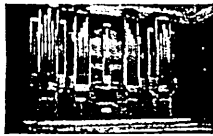


命名権の国内動向

【県内の命名権への取り組み】

◆ 県内の導入実績

メディキット県民文化センター
 正式名称: 宮崎県立芸術劇場
 期間: 2008年4月1日～2014年3月31日
 契約金額 年間2千万円



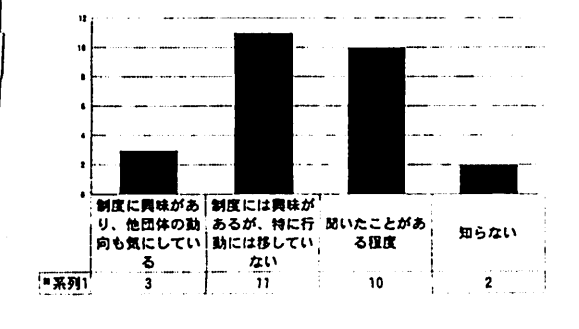
県内自治体へのアンケート

【アンケートの概要】

- ★目的: 自治体全体の考え方や方向性を調査
- ★対象: 公共施設状況調査担当部署概要
- ★回答数: 県内26市町村
- ★実施時期: 平成25年1月

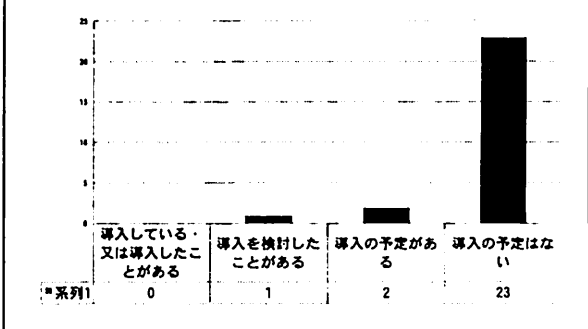
県内自治体へのアンケート

【1 命名権の認知度について】

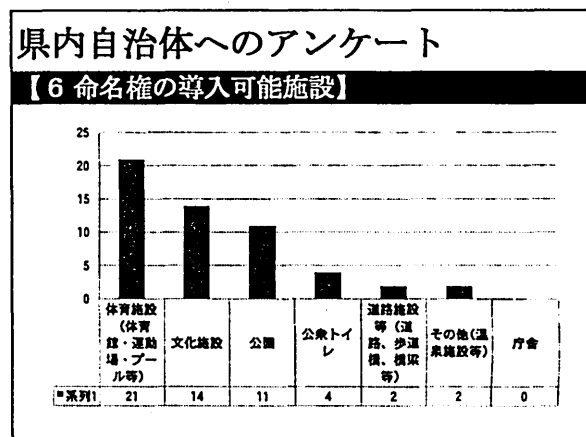
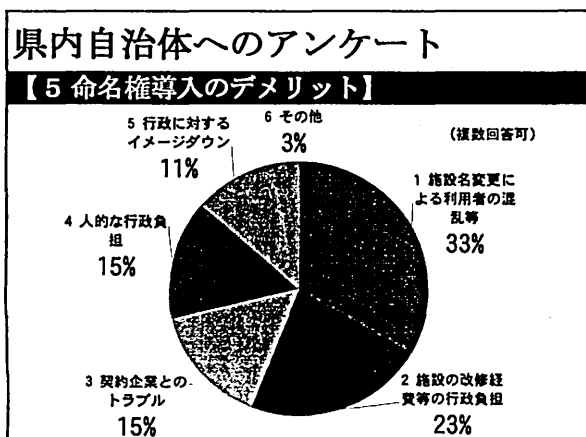
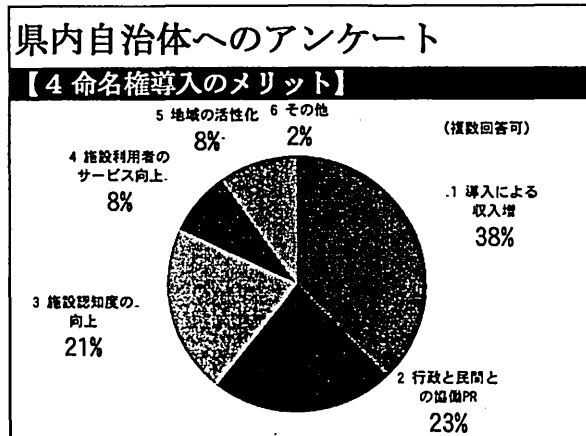
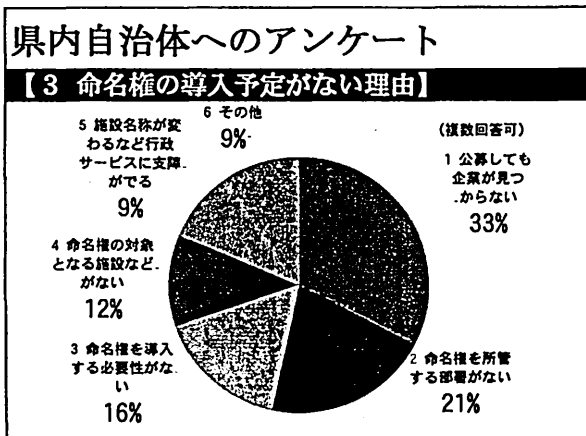


県内自治体へのアンケート

【2 命名権の導入について】



宮崎 川南
日南

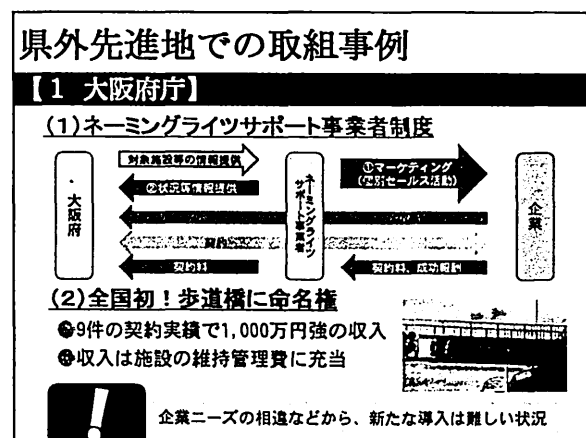


県内自治体へのアンケート

【アンケート結果】

約半数以上が興味を持っている

条件が揃えばどの自治体でも導入の可能性はある



県外先進地での取組事例

【2 富山県射水市】

(1) 体育施設や文化施設に積極的に命名権を導入

- 「職員提案」等を契機に命名権導入を開始！
- 広告効果よりも社会貢献活動による信用獲得やイメージアップを重視している企業もある！



- ・ 職員や組織の行動力・発想力
- ・ 広告以外の違う視点

県外先進地での取組事例

【3 富山県富山市】

(1) 新設大型体育施設への導入

- 新設施設に命名権を導入！
- 市内に上場企業が11社もある好条件！



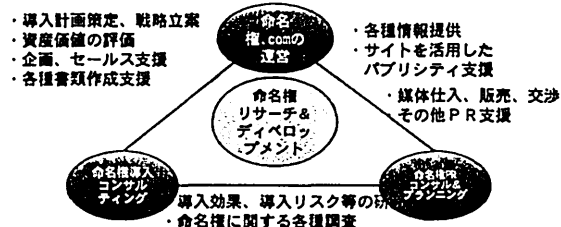
- ・ 住民に愛着のある施設ほど名称変更に影響
- ・ 企業数≠導入件数

北陸新幹線

県外先進地での取組事例

新潟

【4 (株) ベイクーブシー】



- ・ 即時の対応！
- ・ 話題性！
- ・ 企業のイメージアップ！

県外先進地調査で見た課題

【課題】

- 企業ニーズの把握
- 命名権の対象物の拡大
- 住民の理解
- 広告効果の増大
- 広告以外の魅力的な条件の模索
- 企業のイメージアップにつながる手法の検討

県内の導入に向けた新たな展開

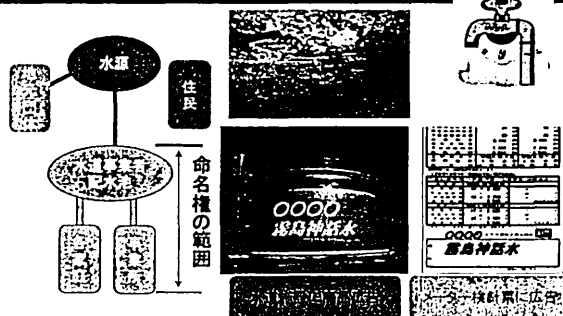
【政策提案】

『みやざきならではの命名権』

- 豊かな自然環境の活用
- 様々な催事の活用
- 官と民の連携・協働

県内の導入に向けた新たな展開

【1 水道水へ命名権の導入①】



県内の導入に向けた新たな展開

【1 水道水へ命名権の導入②】

特典として水の販売権付与	ゆかりの地の水道水で「古事記水」を企画
命名権の契約金の他にも売り上げの一部を回収	ゆかりのある神社でお祓いしてから販売

ペットボトルを納入

県内の導入に向けた新たな展開

【2 消防団へ命名権の導入①】

消防団の愛称の命名権を募集！

- ◎自治体のメリット
 - ・「きつい」「厳しい」「古い」といった消防団に対する負のイメージの改善
 - ・命名権の収入によって消防団活動の充実
- ◎企業のメリット
 - ・僅かな報酬で地域貢献活動をする消防団に企業名を含んだ愛称を付けることで大きなイメージアップ

県内の導入に向けた新たな展開

【2 消防団へ命名権の導入②】

◎その他にこんな特典を用意！！

ヘルメットや消防車に愛称のステッカーを貼る。	消防服に企業のエンブレムを付ける。	夜警などの広報活動の際に、愛称を連呼する。

県内の導入に向けた新たな展開

【3 サーフィンスポットに命名権①】

- ①伊勢ヶ浜
- ②石倉ヶ浜
- ③金ヶ浜
- ④伊倉浜
- ⑤炊口浜
- ⑥佐土原浜
- ⑦木崎浜
- ⑧青島
- ⑨白浜
- ⑩石波浜
- ⑪志ヶ浦

全国屈指のサーフィンスポットが数多くある

県内外から多くのサーファーが訪れる

国際大会や国内主要大会も開催される

観光マリンスポーツとしても注目される

県内の導入に向けた新たな展開

【3 サーフィンスポットに命名権②】

例)ひむか浜 ●●サーフビニヤ

対象 (波・砂浜・更衣室・駐車場) などサーフィンエリア一体

エリア全体のイメージアップ

マリンスポーツでの観光推進が期待できる

県内の導入に向けた新たな展開

【4 自治体が実施する施策(事業)へ命名権の導入①】

自治体主催・共催の各種催事に命名権

『～〇〇プレゼンツ～ みやざき〇〇博物館等』
企業は企画や運営等にも携わる。
もちろん会場での企業広告も可能！

『〇〇町冬祭り サポート 〇〇銀行』
～イルミネーションに命名権～
★幻想的な風景で企業イメージもアップ。
様々な世代が訪れるため、企業PRは効果大
★太陽光発電などを行う企業は、発電した電気で実施し、商品性能PR効果も

県内の導入に向けた新たな展開

【4 自治体が実施する施策（事業）へ命名権の導入②】

②環境保全事業等に命名権



『OOが未来につなぐ豊かな景観づくり事業』

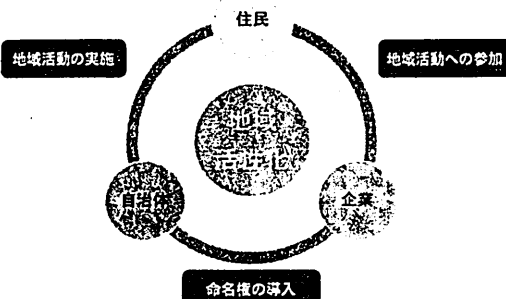
県内の景勝地等を対象に景観等保全活動（道路の整備、周辺の草刈り、清掃活動、植栽活動等）を協働により行う。

自治体のメリット：収入確保・協働による事業効果の増加

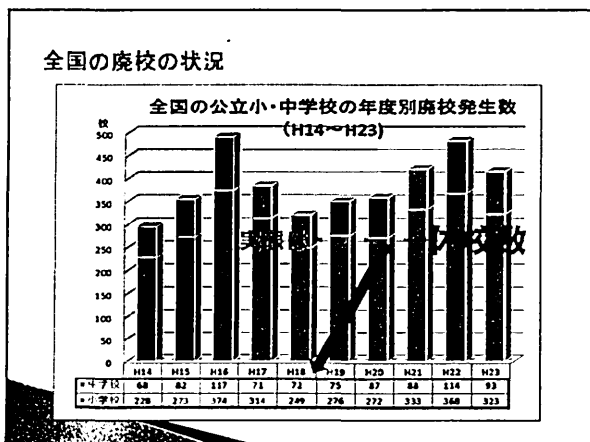
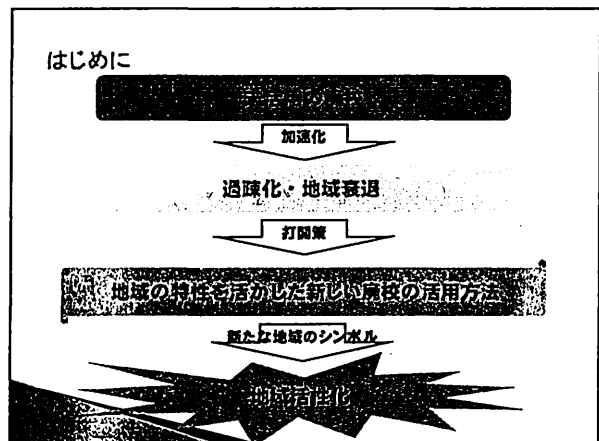
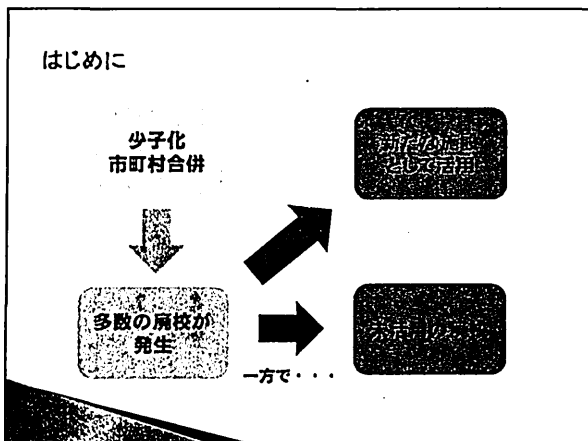
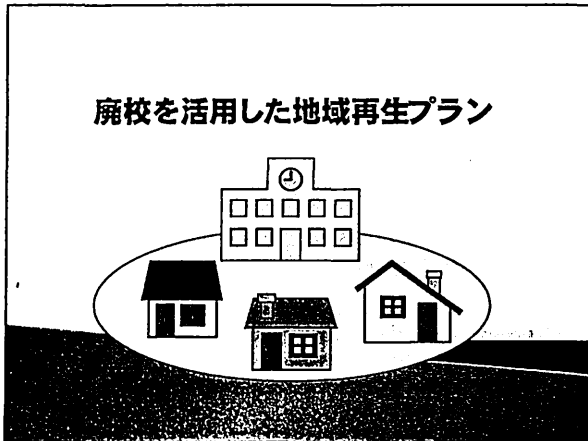
企業のメリット：広告・社会貢献活動によるイメージアップ

おわりに

【地域活性化へ向けて】



ご静聴ありがとうございました。

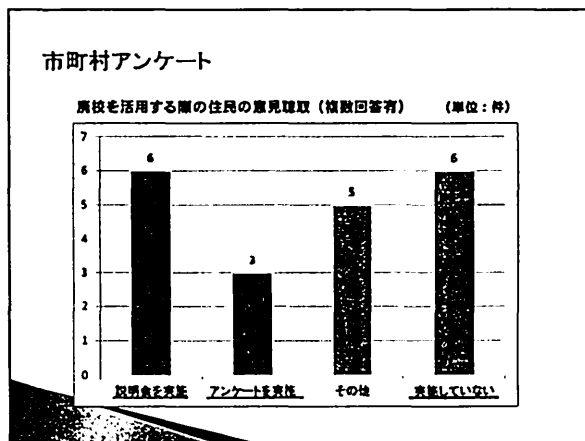
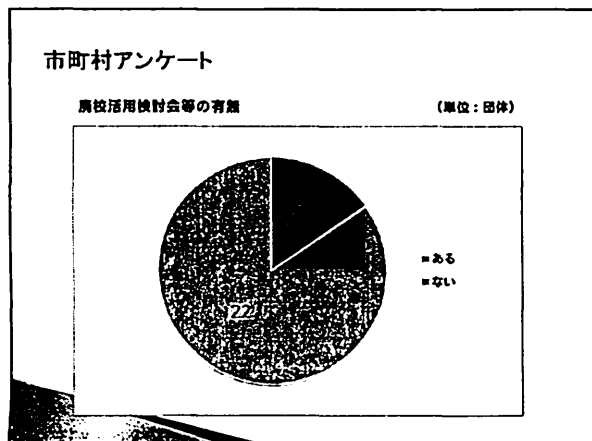
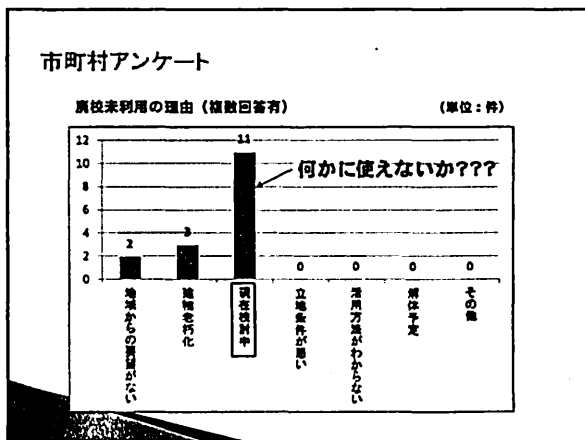
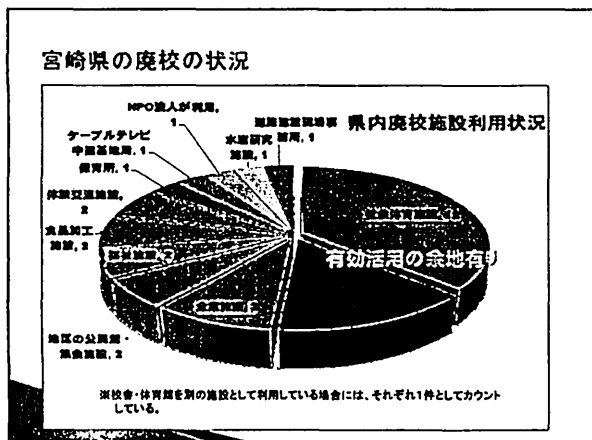
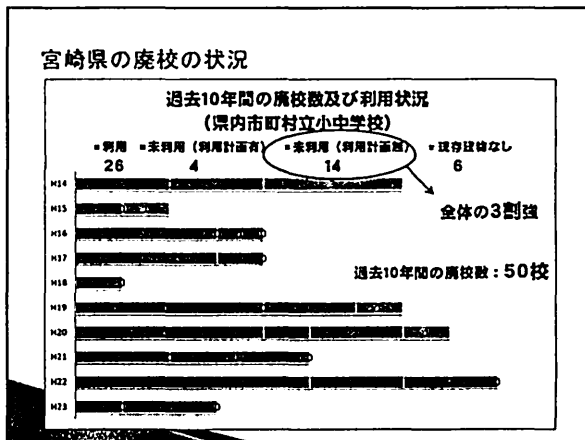
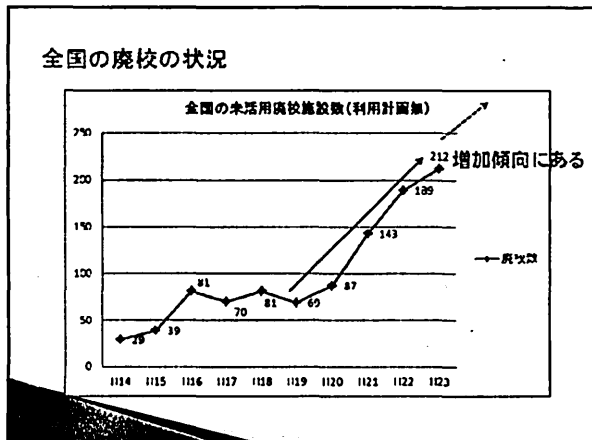


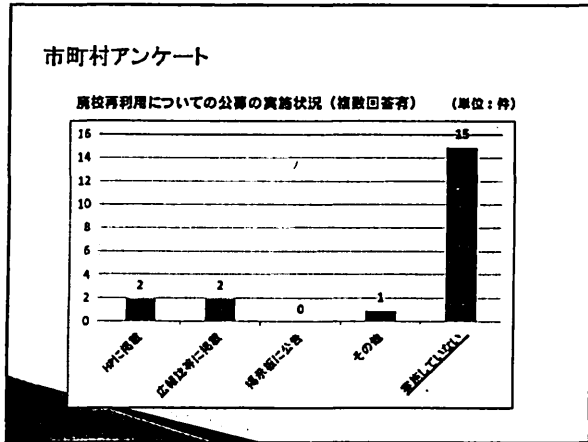
全国の廃校の状況

廃校の実態及び有効活用状況

廃校年度	平成14年度～平成22年度(計) (平成23年5月1日現在)		平成14年度～平成23年度 (平成24年5月1日現在)	
	小学校	中学校	小学校	中学校
廃校数(A)	4,179	2,641	4,709	3,010
残存する建物数(B)	3,754	2,641	4,222	2,983
残存率(B/A)	89.8%	99.9%	89.7%	99.1%
残存する建物数(C)	425	102	487	103

活用方法	件数	割合(%)
自らからの需要が顕著な活用ケース(a)	2,620	69.8
自ら提供費用が供出されて活用ケース(委託活用)(b)	1,134	30.2
教育関係の需要(c)	243	6.5
教育関係以外の需要(d)	891	23.7



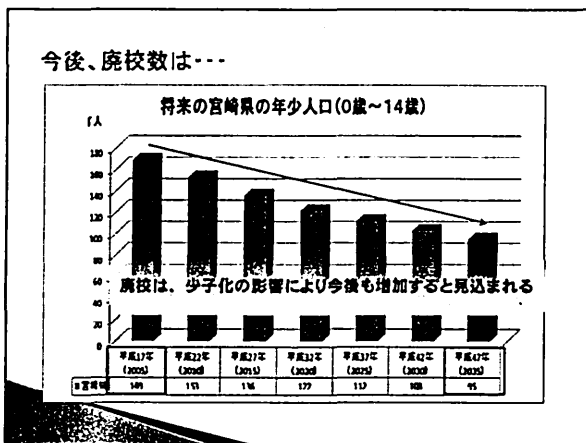


市町村アンケート

不足

協議・検討
の場

住民等への
周知体制



先進地視察

①株式会社センコースクールファーム鳥取

②そば屋おむすび屋

③門司港美術館工務部

④大分県立総合資料館



①株式会社センコースクールファーム鳥取

◆センコー株式会社◆

本社：(大阪) 大阪市北区
(東京) 東京都港区

営業所：全国330ヶ所

創立：1946年7月

社員数：8,640名

グループ企業：71社 (子会社68社、関連会社3社)

①株式会社センコースクールファーム鳥取

鳥取県東伯郡浦梨浜町

特例子会社とは
従業員4名以上を雇用する会社は、そのうち障がいをもつ1名以上の従業員を、従業員全体の7%以上雇用することを義務付けられている。その要件を満たすために設立された。

①株式会社センコースクールファーム鳥取

【会社概要】
◆グランド ピニールハウス6棟
→青ネギ、ルッコラ等の水耕栽培
◆温室
→キノコの菌床栽培、唐辛子栽培加工、苗の育成
◆雇用 41名 (障がい者25名)
※地元雇用 8名

行政支援

厚生の自治体	特例子会社等設立促進助成金等	100,000千円
鳥取県	企業等農業参入促進支援事業等	17,309千円
浦梨浜町	企業等農業参入促進支援事業等	48,418千円

②そば処さわやか茶屋

②そば処さわやか茶屋

広島県東広島市

たばこの製作(そば)を活用!!

【会社概要】
◆平成11年8月に開始200円からスタートし、現在は1日30~40人來客。
重伝はしていないが、マスコミ等で取り上げられ、多いときは、1日100人以上の客が入ることもあった。
◆従業員 13名

そば打ち体験可

地元で採れた山3号(指定品種)が1番うまい!

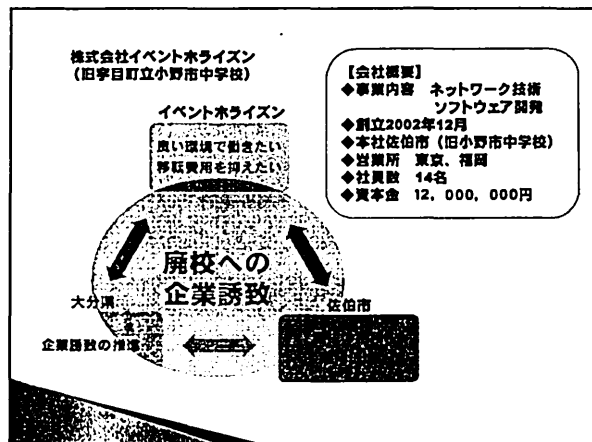
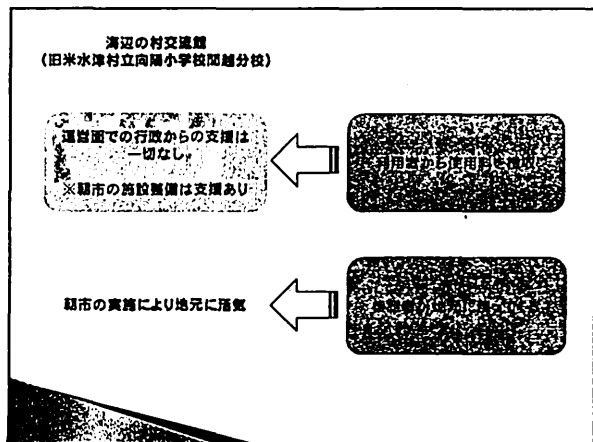
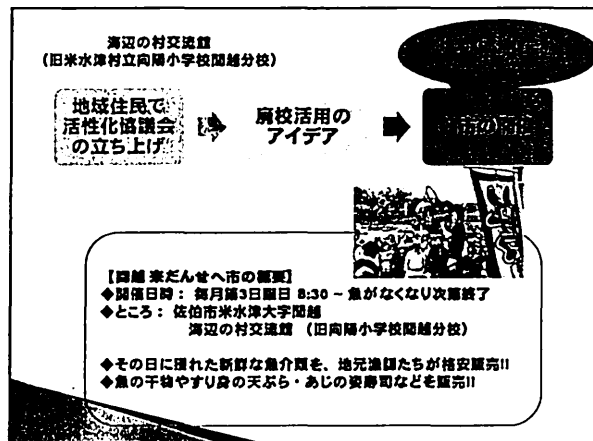
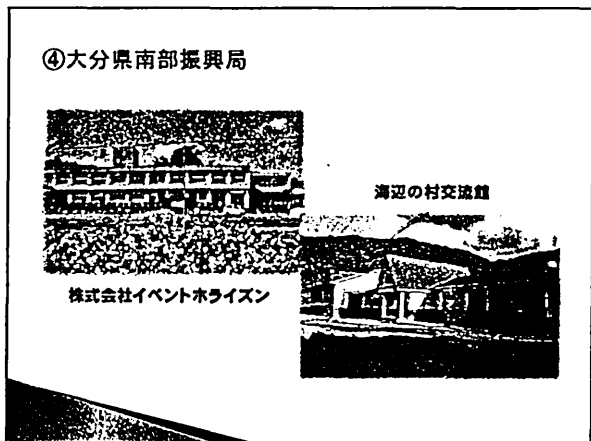
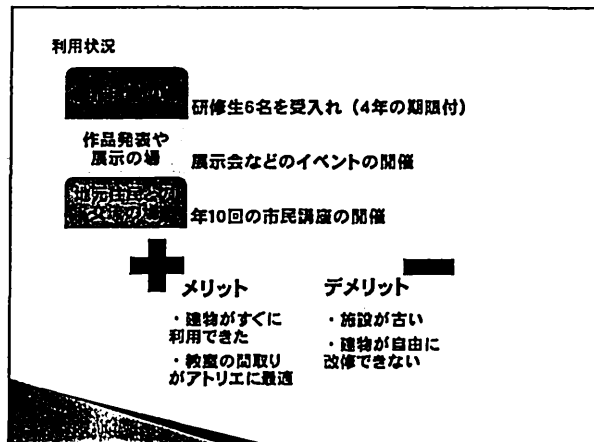
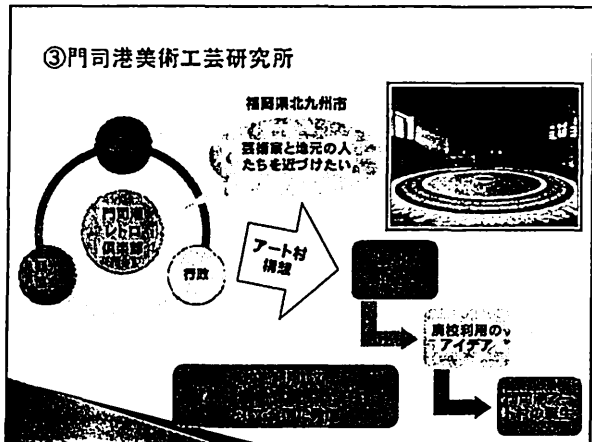
★ こだわり ★

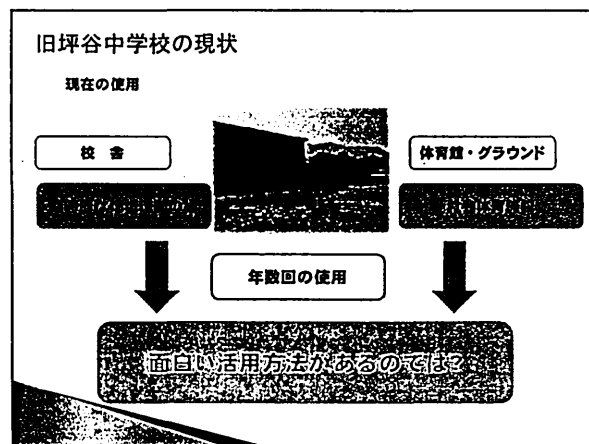
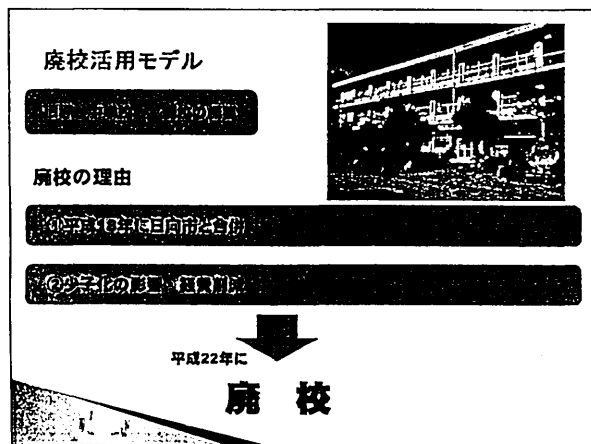
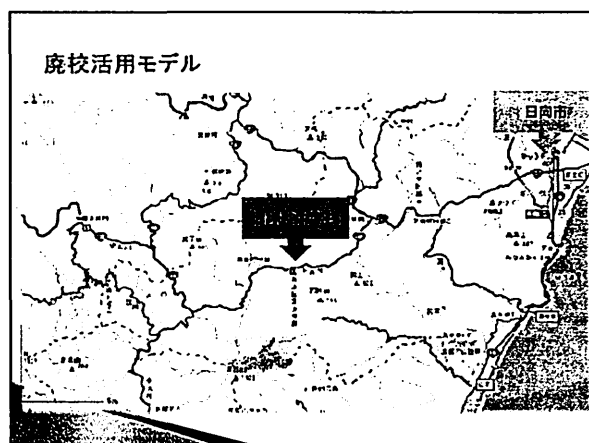
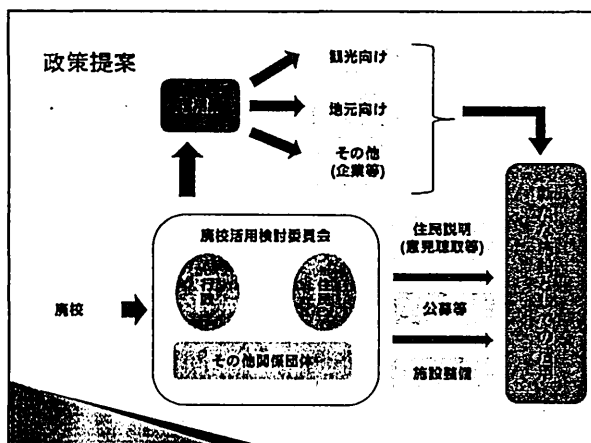
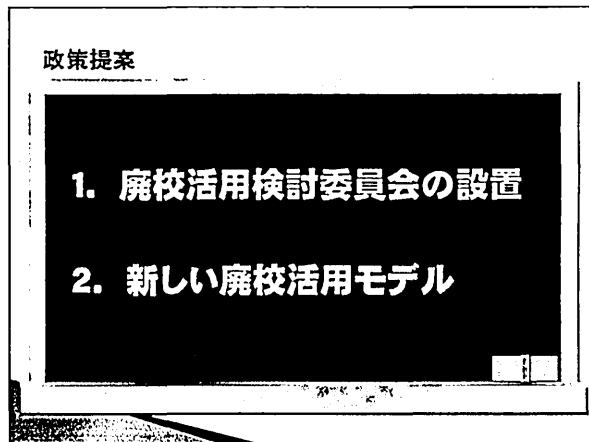
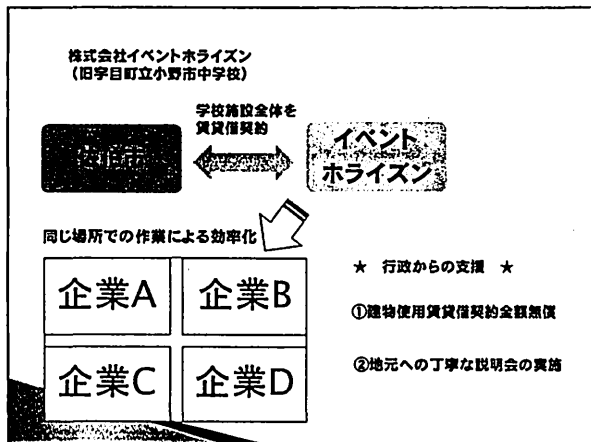
- ①地域でできたものを必ず使用
地元の農家と契約栽培(年間約3トン)
- ②廃棄ある学校をできる限りそのまま使用
机、椅子、下駄箱等は活用する。

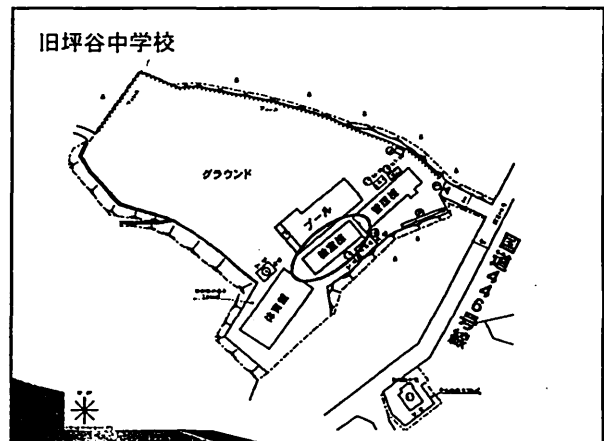
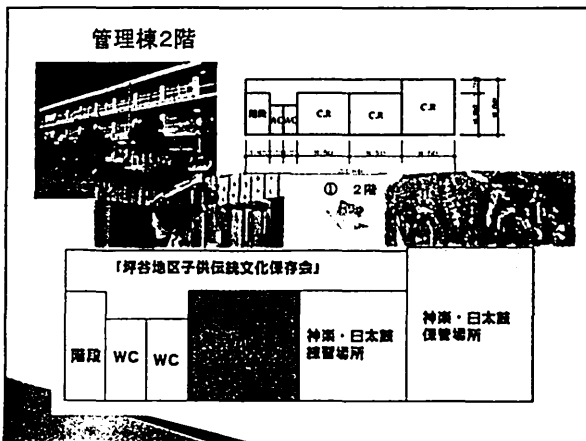
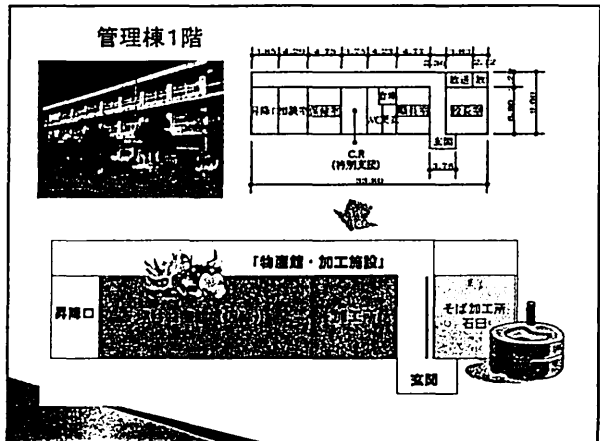
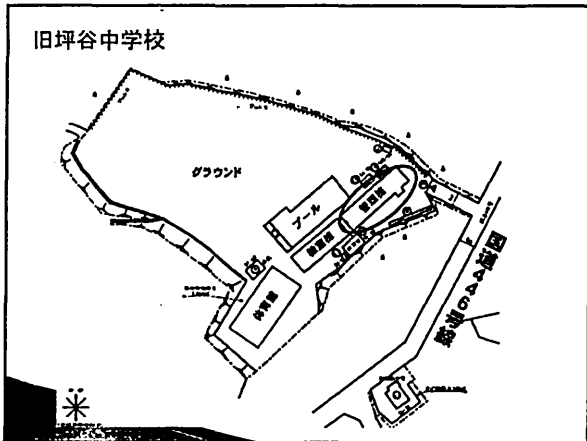
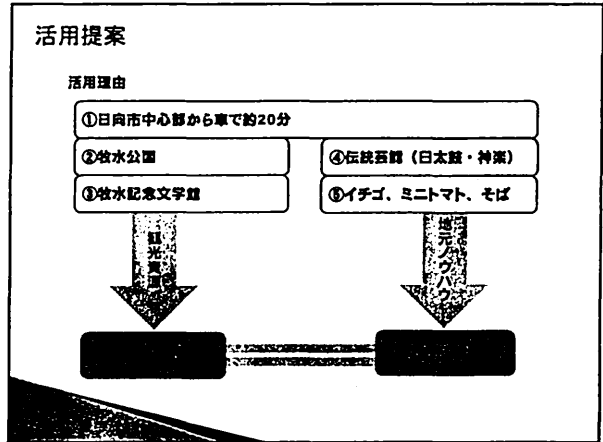
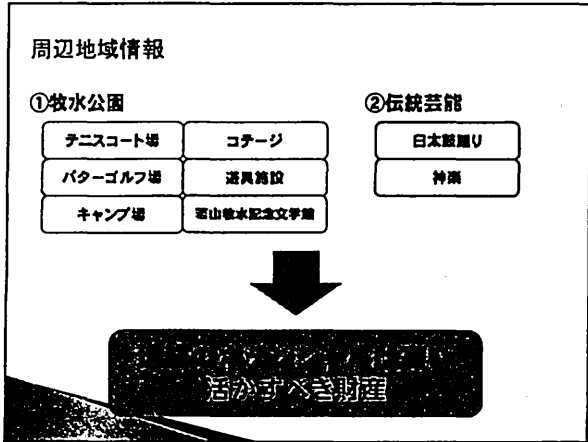
③門司港美術工芸研究所 (旧門司港アート村)

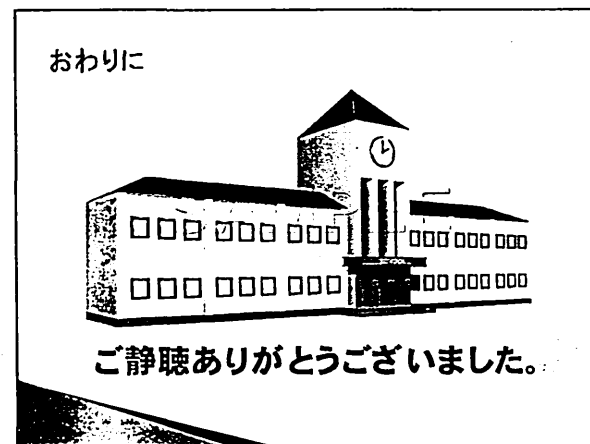
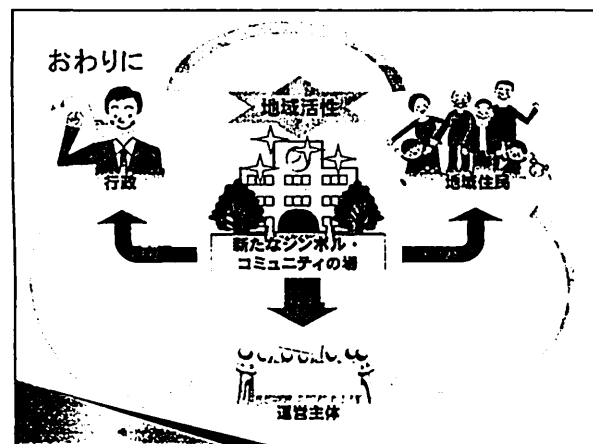
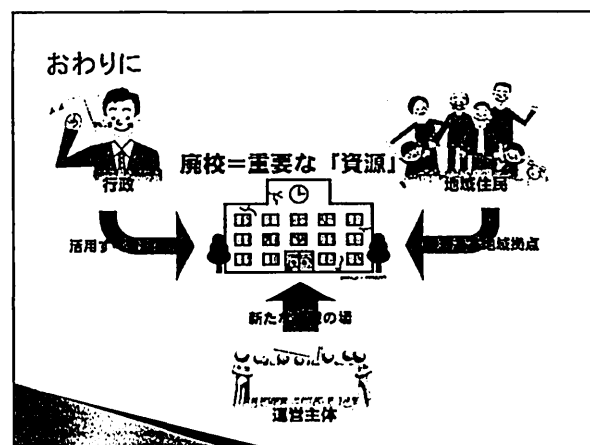
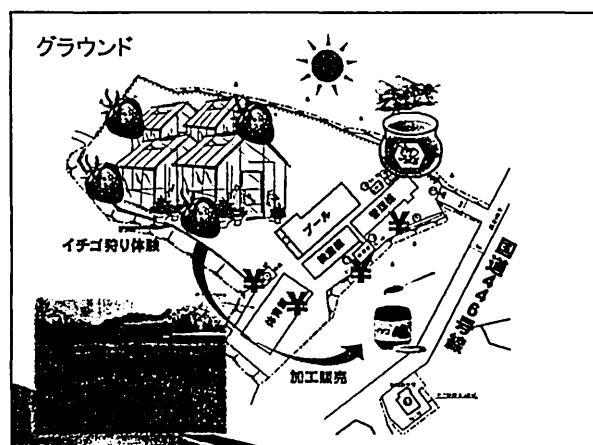
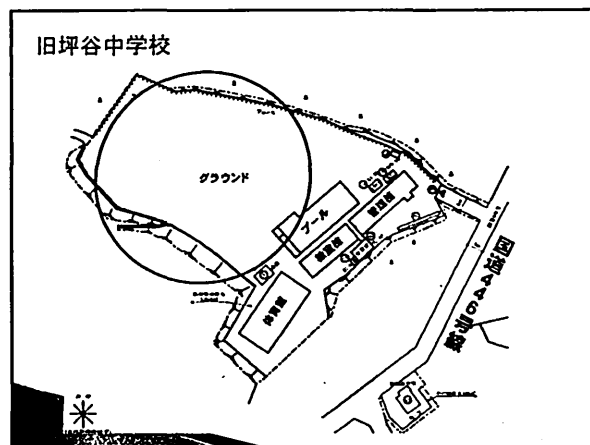
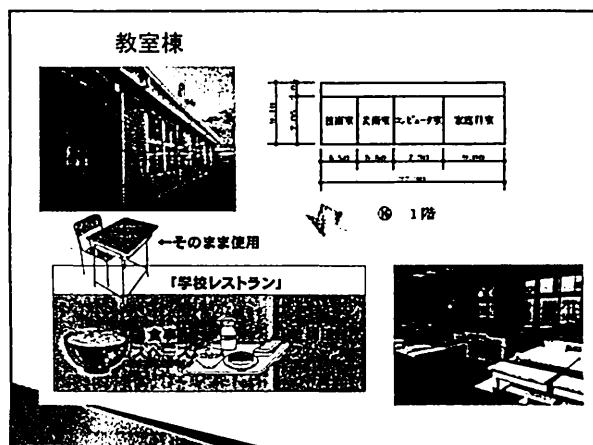
共通した条件
住民との連携(思い)

2013/2/15









計画-運営 地域活性化
地域住民の主体的なかわり。

第1回

宮崎県市町村改善改革実践事例発表会

(みやざき犬大会)



とき 平成25年2月15日(金) 13:30~

ところ 宮崎市教育情報研修センター 3階大研修室

主催：市町村職員自主研究グループ「カイゼン宮崎」

後援：宮崎県市長会、宮崎県町村会、宮崎県

この大会は宮崎県市町村振興協会の自主研究グループ支援事業の支援を受けて開催しています。

ごあいさつ

本日、記念すべき第1回目の「宮崎県市町村改善改革実践事例発表会（みやざき犬大会）」を開催するにあたり、県内外から多くの皆様にお集まりいただきましたことに、心からのお礼と歓迎を申し上げます。

今日の地方自治体を取り巻く環境が厳しさを増していることは言うまでもありません。そのような中で人、モノ、金、時間、情報といった限られた資源を最大限に生かし、住民サービスを展開していくためには、職員一人ひとりの前例や常識にとらわれない意識改革が必要です。

しかし、組織全体の意識改革が進まない中で、少数の職員だけが業務改善に取り組むことは、非常に困難なことです。

そのため、我々自主研究グループ「カイゼン宮崎」は、常に問題意識を高く持ち、日々業務改善に取り組む職員に、ささやかながらスポットライトがあたる「場」を創ることで、自治体の枠を超えて広く情報共有を図り、やる気を高め合うことができるようこの発表会を企画いたしました。

本日ここに、県内の自治体職員が一堂に会し、創意工夫にあふれた実践事例を発表し合うことで、この目的が達成でき、住民サービスの向上ひいては今後の県・市町村の発展につながるものと確信しております。自治体職員の一人ひとりが、明るく・元気に・前向きに仕事に取り組み、住民から感謝されるとしたら、県庁・市役所・役場ほど素晴らしい職場はありません。

本大会を契機に、宮崎県内各地で業務改善の機運が高まりますとともに、自治体職員間の絆がますます強まることを心より祈念いたします。

カイゼン宮崎 代表 西 裕治

全国都市改善改革実践事例発表会について

全国都市改善改革実践事例発表会とは、全国の自治体から優れた業務改善の実践事例を一堂に集め、発表し、互いに情報を共有することにより、自治体職員が今後の行政運営の効率化や意識改革につなげていくことを目的としています。

これまで、平成18年度第1回大会の山形市から始まり、兵庫県尼崎市、福井市、東京都中野区、岩手県北上市、大分市と毎年自治体持ち回りで開催され、第7回は、来る3月22日さいたま市で開催されます。

宮崎県市町村改善改革実践事例発表会（みやざき犬大会）について

宮崎県内の自治体職員が一堂に会し、これまでに取り組んできた創意工夫にあふれる業務改善実践事例を発表し合うことにより、やる気を高め合い、広く情報の共有を図り、県・市町村間の連携を深めることを目的とし、以ってより良い住民サービスの提供につなげます。

今大会は記念すべき第1回大会で、最優秀賞受賞者は3月にさいたま市で開催される全国大会への切符を手にすることができます。

審査・表彰について

①波及性、②効率性、③経済性、④独自性の視点から審査を行い、それぞれ点数が高かった事例を以下①～④の「出来すぎ賞」として表彰し、さらにその中から「最優秀賞」を決定します。

①広がりすぎで賞

もっともたくさんの自治体で応用できそう（パくれそう）な事例に贈られます。

②早すぎで賞

事務処理のスピード、住民サービス提供のスピードなど、効率化がもっとも図られた事例に贈られます。

③削りすぎで賞

費用対効果面、コスト削減面でもっとも効果をあげた事例に贈られます。

④おもしろすぎで賞

改善の着眼点をもっともユニークな事例に贈られます。

審査委員紹介

審査委員長 石原俊彦氏（関西学院大学専門職大学院教授）

審査委員 日高昭彦氏（川南町長）

審査委員 徳丸賢治氏（カリノ宮崎支配人）

みやざき犬大会 タイムテーブル

13:00	開場
13:30	開会式 オープニング・開会宣言・実行委員長あいさつ 審査委員紹介・審査委員長あいさつ・留意事項とお願い
	石原先生 スワカズオ
13:50	事例発表 パート1
	①小林市 保健体育課【え?!今日の給食あるの??】 のせさん
	②日南市 北郷町総合支所 産業経済課【行政主導から民間主導へ】
	③高原町 総務課【自治体クラウド導入による電算コスト削減について】
	④宮崎市 秘書広報課【facebookで“期待される市役所”に!】
	⑤綾町 総務税政課【私たち今会える職員、一緒にKKしようZ!】
	テーブルワーク
14:40	事例発表 パート2
	⑥高鍋町 健康福祉課【元気なシニア“ハッスル!マッスル!”大作戦】
	⑦日向市 下水道課【公営企業会計システム導入について】
	休憩(10分間)
	⑧小林市 税務課【学校の教育ICT化】
	⑨小林市 産業振興課【口蹄疫・新燃岳噴火からの復活!観光客を取り戻せ!官民共同観光宣伝チラシの配布】
	テーブルワーク
15:30	事例発表 パート3
	⑩都城市 商業観光課【端末を使った戸別所得補償制度の現地確認】
	⑪都城市 道路公園課【地域住民と協働による公園の花苗植栽】
	⑫川南町 総合政策課【スマート会議】
	⑬宮崎県 危機管理課【隗より始める100万泊県民運動】
	テーブルワーク
	⑭宮崎県 行政経営課【ひとり一改善県民サービス向上運動】【提案・かえるのたまご】
16:20	閉会式 表彰・審査委員長総評・閉会宣言
16:30	閉会

※時間はてげてげの目安です。

【え?!今日の給食あるの??】

自治体データ (平成 年 月 日現在)

人口	48,000 人	職員数	500 名
----	----------	-----	-------

自治体 (もしくは担当部署) の PR

宮崎県小林市は、南に名峰高千穂峰や韓国岳などの霧島連山、北には九州山地を望む、緑豊かな森林に囲まれた人口約 48,000 人の田園風景都市です。

ちよど、九州の真ん中下、へその部分に位置し、熊本県、鹿児島県からのアクセスも良好です。

今日はそんな小林市の魅力をご紹介します。

小林市は畜産のまち。10月の全国和牛能力共進会で日本一を獲得した「宮崎牛」の生産基地であり、小林市の畜産農家が育てた牛が見事日本一に輝きました。園芸農業も盛んで「京いも」の生産量は日本一です。また小林高校の駅伝、小林秀峰高校のハンドボール、新体操など全国屈指の強豪高校があり、全国からさまざまな競技の合宿を受け入れるなど「スポーツのまち」としても有名です。日本一に5回も選ばれた星空、市内75ヶ所以上で「湧水」が湧き、日本名水百選にも認定、初夏には市内各地でホタルが乱舞します。

改善のテーマ

台風最接近に給食どうするか?

改善前の状況と課題 (Before)

小林市は8小学校給食室、3給食センターで給食提供をしており、施設毎に献立や食材調達を行っています。安心安全な給食提供のために関係者一丸となって鋭意努力しています。

台風銀座と呼ばれるほど、台風襲来の多い九州地方。最近では、台風勢力の巨大化、予想外進路、進行停滞など、台風対策に苦慮するほど激変しています。学校においては、児童生徒の安全を第一と考え、台風再接近が登校下校にかかる場合は、休校あるいは繰上下校などの処置をとるため、学校給食を急遽中止する場合があります。しかしながら、学校としては授業単位確保のためできるだけ休校や授業短縮は避けたいので、ギリギリまで決定を引き延ばしたいため、当日朝6時に最終決定を行います。

学校給食については、ある程度の量の材料調達について、3週~1月前には業者へ発注しています。業者も納品日の前日には納品準備を整えて翌朝9時までの搬入を行っています。当日6時決定では、業者が調達した食材が不良在庫になっていました。業者はリスクを承知してはいますが、できれば前日までに決定していただけないかの申し出がありました。

そこで、6月18日に台風4号の最接近が予想される前日の夕方に緊急会議を開催し、給食中止が結論を出しました。給食中止なので学校も休校にするという結論になりました。ところが、6月19日になり台風進路が大きく変化し、その日は快晴でありました。学校関係者や保護者は「休校しなくてもよかったのでは。」と思われたとのことでした。

そのような事態から、当日6時の決定ができ、業者も困らない方法の検討が必要になりました。

取組んだ改善の内容 (Kaizen)

各給食センター責任者、栄養教諭、学校栄養職員と「台風最接近の当日朝に給食中止しても業者が困らない方法」について検討しました。

他市町村の対応なども参考にすべく、聞き取りをしましたが、「業者のリスクの範囲内」とのことであった。

どうすれば、当日判断でも良いか、業者に聞き取りをしましたが、これまでは、当日判断→リスクは業者負担→業者は給食納入から外れたくないので受け入れざるを得ない。であったとのこと。

聞き取りの結果や様々な意見を出し合い、画期的ですが、シンプルな方法を見つけました。

台風接近の情報と共に最接近予想日の献立に関係する業者と4日前から打ち合わせて、万が一給食中止の場合は、献立を翌日にまわすことを申し合わせる。最接近予想日前日に献立をずらす可能性を業者に連絡し、納入については当日6時に決定する。ずれた献立については週末にリセットされるので献立表への影響はほとんどない。

改善した結果得られた成果（After）や副産物（思いもよらず得られた成果）

（成果）
・この方法は、学校関係者のもとより、給食食材納入業者から“ありがたい”との評価を得ることができた。
・この方法は、9月17日の台風16号接近で、実際に通知して対応することができた（実際は夜中に通過したため影響無）。
・給食関係者が知恵を出し合い、意見を出し合うことができたため、相互理解と給食提供についての共通認識につながった。

（副産物）
・6月下旬に検討し、準備できていたため、突然降って湧いた7月の計画停電においても、関係者で対応策を検討する体制が整っていたため「万が一停電でも給食提供ができる体制整備」につながった。

コメント（改善実践者もしくはその上司より）

発表者

発表者名	能勢 誠		
所属部署名	小林市教育委員会保健体育課		
電話番号	0984-23-2345	FAX 番号	0984-23-6116
E-mail	K_hotai@city.kobayashi.lg.jp		

【行政主導から民間主導へ】

自治体データ（平成25年1月1日現在）

人口	56,159人	職員数	680人
----	---------	-----	------

自治体（もしくは担当部署）のPR

日南市は平成21年3月に旧日南市・南郷町・北郷町が合併し、青い海と緑の山々に囲まれた、自然豊かな歴史と文化にあふれる日南市として誕生。日南海岸・饂飩城・鶴戸神宮・堀川運河・猪八重溪谷・マリンビューワー・亜熱帯植物園といった歴史資源や観光資源のほか、温暖な気候を生かした、マンゴー・スイートピー・完熟きんかんなどの農産物、さらに400年以上の歴史を持つ饂飩杉、近海カツオや遠洋マグロの水揚げが盛んな海の幸、山の幸の宝庫です。プロ野球の広島東洋カープ・埼玉西武ライオンズ、Jリーグの横浜F.C.・湘南ベルマーレのキャンプ地としても県内外にPRしています。

改善のテーマ

森林セラピー基地を核としたまちづくりを行政主導から民間主導へ
～地域づくりは人財づくり。お金がおちる仕組みづくり～

改善前の状況と課題（Before）

行政担当者(担当課)がイベントを企画し、PR、募集、当日のイベントの運営等を行っていた。

取組んだ改善の内容（Kaizen）

①人財づくり・基盤づくり

国の緊急雇用事業を活用し、H21年～H23年の3年間、地域づくりに興味を持った人材を雇用し、地域資源の再発掘・体験プログラムの構築・地域素材を使った商品開発、そして人財育成を行った。

②ネットワークの構築・連携

1・2年目は、ネットワークを広げ、3年目はネットワークを生かし、活動のPRを行った。

改善した結果得られた成果（After）や副産物（思いもよらず得られた成果）

①地域づくり団体の誕生

森林セラピー基地北郷を核とした地域づくり団体がH24.3月に誕生。（NPO法人ごんはる）

それにより、これまで行政が担っていた森林セラピー事業を民間へ移行させることができた。

②人財育成及び地域に根差したネットワークの構築

3年間で、森林セラピスト1名。森林セラピーガイド1名。ルディックウォーキングインストラクター2名。

癒しをテーマにしたプログラムを有資格者が案内(提供)することで、より満足できるプログラムが体験でき、それに合う対価も得られるようになった。他にポータルサイト「ごんはる」の立ち上げ。フリーペーパー「フォレストフォレスト」の発行等

③地域素材を活用した商品開発

饂飩杉商品（オビジェ・ランプシェイド・イスなど）、温泉商品（保湿美容液・洗顔石鹸）、橙商品（ポン酢・紅茶・ジュース・ビールなど）

コメント（改善実践者もしくはその上司より）※日南市北郷町総合支所産業経済課 課長 植野一郎 氏

NPO 法人は特に地域の林業者・農業者との深い繋がりや地域住民(上郷地区)との連携など行政主導では得られない商品開発に大きな機動力を発揮して頂いている。

行政としては、今後の法人の組織力アップと運営の円滑化への支援をしていきたい。

発表者

発表者名	弓削勇生		
所属部署名	日南市北郷町総合支所産業経済課		
電話番号	0987-55-2114(内線 244)	FAX 番号	0987-55-3332
E-mail	i-yuge_ni@city-nichinan.jp		

【自治体クラウド導入による電算コスト削減について】

自治体データ（平成 25 年 1 月 1 日現在）

人口	9,698 人	職員数	166 人
----	---------	-----	-------

自治体（もしくは担当部署）の PR

高原町は、霊峰 高千穂峰の麓に位置し、神武天皇誕生の地として、地元には天孫降臨伝説も伝えられています。

まちの主幹産業は農業、中でも先ごろ開催された全国和牛能力共進会「2回連続日本一」になった宮崎牛の生産が盛んです。また、平成 23 年 1 月には新燃岳が大噴火をし、住民生活に大きな被害をもたらしました。その際には、全国の皆様から温かいご支援をいただき、心から感謝申し上げます。おかげをもちまして、噴火前の様にまちに元気が戻ってきたところです。

改善のテーマ

年々増加する電算経費削減のため、自治体クラウド導入による電算コスト削減のプロジェクトを実施

改善前の状況と課題（Before）

クラウドコンピューティングとは、「コンピュータを所有する」形態ではなく「サービスを利用する」形態で、ネットワーク上に存在するコンピュータ及びアプリケーション等が提供するサービスを利用できるようにしたコンピュータサービスのことを言います。

今回、宮崎県都農町・川南町・高原町、県域を越えた熊本県錦町の 4 自治体で、基幹系電算システムの住民情報、財務会計、上下水道、人事給与の 4 システム 26 業務を平成 24 年 3 月からクラウドにて運用開始しています。従来のシステムは、

- ① 各町でサーバーと呼ばれるコンピュータを調達していました。
- ② 従来のシステムは、操作性を重視し、利便性の追求や、ある意味伝統的に引き継がれてきた各町の業務フローに合わせ、各町でシステムのカスタマイズを行うことが一般的でした。したがって、システム更新のたびにカスタマイズ量は増加し続ける状況で、それにより法改正等のプログラムがスムーズに適用できないなどのトラブルも引き起し、電算経費は年々上昇し、経費削減に頭を悩ませていました。
- ③ また、セキュリティ上の問題を抱えており、耐震工事の済んでいない庁舎内にサーバーがあったため、地震等の災害に対し非常に脆弱でした。

そこで、4 自治体で「総合行政システム共同化推進機構」という任意の団体を設立し、平成 22 年 4 月からクラウド導入について検討を始めました。

取組んだ改善の内容 (Kaizen)

クラウド導入のプロジェクトは、ベンダー任せではなく、自治体が主導となり、より良い標準システムをベンダーと共に作り上げていくというもので、サービス開始までの約2年間一つ一つの構成内容を協議して、最終的なサービス利用料の確定を行う手法を採用しています。具体的な取組みとしては、

- ① クラウド導入によりコンピュータを所有することからサービスを利用する形態へ移行、4町のサーバーをデータセンターで一括保守・管理し、ネットワーク機器についても共有化が図られ、コスト削減に貢献しています。
- ② 4町の前課職員による業務標準化作業、即ちカスタマイズ削減作業を実施し、システムのパッケージ標準機能に合わせた業務改善を検討しました。この作業に先立ち、職員に対する事前説明を入念に実施しました。内容は自治体同士が責任をもって取り組まなければならないため、業務負担が増えることや取組みによりコスト削減が図られること、今後のスケジュール等。その結果、旧システムで約700あったカスタマイズを8割削減することに成功しました。
- ③ また、サーバーをデータセンターに置くことにより、セキュリティが飛躍的に向上しました。データセンターはサーバーの設置してあるフロア全体が免震構造であり、耐震性に優れています。その他、非常用電源設備の完備、24時間サーバーの死活監視、データのバックアップ管理、サーバールームへの入室制限を行っており、電算担当者の業務負担も軽減されました。

改善した結果得られた成果 (After) や副産物 (思いもよらず得られた成果)

今回、上記の取組みにより、4町による割勘効果も発揮され、クラウドを導入しなかった場合と比較して、最終的に22.5%の削減率という予想をはるかに上回る削減効果を上げることができました。

また、この削減効果を新たな住民サービスへ振り向け、平成24年4月から24時間全国のコンビニエンスストアで納付できるコンビニ納付をスタート。納税環境の整備が整備されたことにより、税や料金等の収納率向上に結び付くものと考えています。また、手数料が銀行での納付よりも割高ですが、原資は今回のコスト削減分で十分に捻出できました。

その他副産物的な効果として、他の町との情報交換ができたという点があります。業務標準化作業で担当者顔見知りになることで、システムが同一であるため運用方法や業務の情報交換や相談が可能となり、大きな収穫でした。

コメント (改善実践者もしくはその上司より)

当クラウドはL G W A N回線を使用していますので、基本的に全国どの自治体でも参加可能です。当クラウドに参加することで導入時の職員の業務量も低く抑えられ、電算経費の削減にも効果的です。参加お待ちしております！

発表者

発表者名	横田 秀二		
所属部署名	高原町 総務課 文書情報係		
電話番号	0984-42-2112	FAX 番号	0985-75-7903
E-mail	soumu@town.takaharu.lg.jp		

自
自
40
らに
り
改
～
ジ
す
改
し
つ
取
・H
・H
話
・H
・H
・H
改
運
不
み
コ
発

【 facebook で“期待される市役所”に！】

自治体データ（平成 24 年 4 月 1 日現在）

人口	401,239	職員数	2,604
----	---------	-----	-------

自治体（もしくは担当部署）の PR

平成 18 年 1 月の佐土原町、田野町、高岡町との合併に続き、平成 22 年 3 月には清武町と合併し、人口約 40 万人の宮崎市として、新たにスタートを切りました。市域の拡大とともに、新たな地域資源が加わり、産業構造もさらに充実し、県都として、また南九州の中核都市として、さらなる発展が期待されます。

現在、本市では、「市民が主役の市民のためのまちづくり」を念頭に、「株式会社宮崎市役所づくり」「きずな社会づくり」「元氣な宮崎づくり」の 3 つの基本的な姿勢で市政運営を行っています。

改善のテーマ

～ facebook ページ『宮崎市役所（チーム宮崎顔本版）』を勝手にスタート！～

「宮崎市版戦略 SNS」の有効性や可能性、運営方法などを調査研究するために、まず facebook ページを立ち上げた。様々な情報を投稿し、facebook の特徴である情報の即時性、拡散性、双方向性を検証する。

改善前の状況と課題（Before）

H24 年 3 月に「宮崎市ソーシャルメディアの利用に関するガイドライン」を定め、宮崎市景観課がツイッターを運用。しかしながら、市全体としては、「行政運営において広聴と広報は両輪」という観点からの戦略的な SNS の活用については議論されていなかった。

取組んだ改善の内容（Kaizen）

- ・H24 年 5 月 21 日 自主研究グループ「チーム宮崎顔本」を設立
- ・H24 年 6 月 1 日 非公式・試作版として『宮崎市役所（チーム宮崎顔本版）』facebook ページを開設。6 月 3 日公開し、1 ヶ月で 300「いいね！」を得た後も、仮説を検証すべく実験的に投稿を実施
- ・H24 年 8 月 17 日 二役（市長、副市長）を対象に中間発表としてプレゼンを実施
- ・H24 年 11 月 5 日 二役・部局長ら幹部全員を対象にプレゼンを実施（内容は別添参照）
- ・H24 年 12 月 21 日 1000「いいね！」を超え、お礼のメッセージを投稿

改善した結果得られた成果（After）や副産物（思いもよらず得られた成果）

facebook を活用し、業績を伸ばしている商工業者や IT 業界の経営者に、facebook ページ運用に関する指導をいただき、市民に喜ばれる広聴 & 広報の運営には、専門家である第三者のアドバイザーが必要不可欠と感じた。非公式ながら「いいね！」を増やし続ける成果に、他の職員や議員らも注目。一般質問で取り組みが紹介・称賛されるなど、公式運用に向け具体的な検討が始まり、非公式→公式化が実現しそうな兆し！

コメント（改善実践者もしくはその上司より）

発表者

発表者名	迫口和豊 臼本隼也 小椋大 沼口一郎 江下博貴 児玉朋子		
所属部署名	農商工連携室（児玉）		
電話番号	0985-44-0600（児玉）	FAX 番号	0985-44-0273（児玉）
E-mail	15nousy@city.miyazaki.miyazaki.jp（児玉）		

【私たち今会える職員、一緒にK KしようZ！】

自治体データ（平成 24 年 11 月 1 日現在）

人口	7,682 人	職員数	81 名
----	---------	-----	------

自治体（もしくは担当部署）の PR

今年度町制施行 80 周年となった綾町は宮崎県の中央に位置する小さな町です。有機農業の積極的推進、照葉樹林の保全等により人と自然が一体となった町づくりを目指しています。

平成 24 年中にはその功績が認められ国際機関であるユネスコ本部より、ユネスコ・エコパークの登録決定がなされました。また CIB 国際まちづくりコンクール（カナダ・エドモントン大会）においては、「最高ランクの 5 つ星」と「特別賞：綾方式-交流と連携」を受賞し、更に宮崎日日新聞社からは、自治体初の文化賞をいただくなど、多くの賞を受賞しました。

改善のテーマや概要

時代は進んだ。今は誰かに会おうと思えばすぐに会える時代。この出会いを活かさなきゃ！！

改善前の状況と課題（Before）

階層別研修や他市町村との交流会があっても参加しないことが多く、たとえ参加しても自ら他市町村の職員と親睦を深めることはありませんでした。そのため、顔見知りができても、そこから関係が発展することもなく、表面上の付き合いになっていました。

取組んだ改善の内容（Kaizen）

階層別研修では接点があった人と名刺交換を行い、研修後にはお礼のメールを送るようにしました。さらに SNS 等を積極的に使って定期的に情報交換を行い、そこで見つけた仕事以外でのイベント（各市町村が独自に開催している行事など）にも参加するようにし、交流の幅を広げました。また自ら市町村の交流会を開催することで、ネット上だけの付き合いや、研修会限りでの一時的な付き合いにならないようにしました。

改善した結果得られた成果（After）や副産物（思いもよらず得られた成果）

職場外の強いネットワークができました。そのため職場内で発生した様々な問題に対しても、問題解決方法を他の市町村に求めることがしやすい環境になりました。また副産物としては付き合いのある職員を介して他の市町村の職員を紹介してもらうことが多くなり交流が広く深くなりました。そのため他市町村で行われるイベント情報や仕事への取組み、ニュースなども多く得られるようになりました。

コメント（改善実践者もしくはその上司より）

自分から他市町村の職員に話しかけたり、交流会を企画することでその後の付き合い方が大きく変わってきます。一期一会の人生ですので、積極的に交流してほしいです。

発表者

発表者名	小崎 将司		
所属部署名	綾町 総務税政課 町税係		
電話番号	0985-77-1113	FAX 番号	0985-77-2094
E-mail	s.ozaki@town.aya.lg.jp		

【元気なシニア“ハッスル！マッスル！”大作戦】

自治体データ（平成25年1月1日現在）

人口	21,669人	職員数	155人
----	---------	-----	------

自治体（もしくは担当部署）のPR

宮崎県の中央部に位置しており、北に尾鈴山、東に日向灘に面する自然豊かな町です。町内には、舞鶴公園をはじめ、秋月藩の城下街の面影が今もなお残っており、歴史の香りを感じることができます。高鍋海水浴場は、コンディションの良いサーフスポットとして有名で、全国各地から多くのサーファーで賑わっています。また、“百年の孤独”をはじめとする焼酎や天然カキ、キャベツ、白菜、ズッキーニなどなど、美味しいものも盛り沢山です。

改善のテーマ

本町の65歳以上の高齢者は約5,700人で、高齢化率26.5%、4人に1人が高齢者という超高齢化社会に直面している。高齢化社会という活力が失われるなどマイナスなイメージが付きまとうが、本町では元気で生きがいのある高齢者を増やし、ポジティブな長寿社会“高鍋モデル”の構築を目指す。

改善前の状況と課題（Before）

高齢化の進展と共に、医療費や介護給付費が増加し、町の予算においても社会保障経費が年々増加している。また、急速な高齢化に伴い、より良く生きたいがどうすればいいのかわからない高齢者が増加し、引きこもりやアルコールに依存する傾向も見られるようになっている。

取組んだ改善の内容（Kaizen）

- ①中央公園に健康遊具“てくてく”、“ぶらぶら”を設置。
- ②シニアサーファーの育成
- ③65歳以上高齢者を対象にした「ルディックウォーキング教室」の開催
- ④認知症予防システム“タッチで脳体操”を使った認知症予防
- ⑤“脳の健康教室”の開催

改善した結果得られた成果（After）や副産物（思いもよらず得られた成果）

- ・現役フルマソンランナーの74歳の男性が、腰を痛め通院していたが、健康遊具を使い始めてから治療がいらなくなった。
- ・昔から夢見ていたサーフィンが退職後にできるようになり、サーフィン場が高齢者の集いの場となった。
- ・週に1回の“脳の健康教室”と残り6日間の宿題が楽しみという高齢者が増加。

コメント（改善実践者もしくはその上司より）

元気で生きがいのある高齢者が増えると、医療費や介護給付費が抑制され、余った財源を未来を担う子供達の教育や産業振興、環境保全に活用することができ、持続可能なまちづくりができる。そして、何よりも高齢者本人が毎日楽しく生き生きと過ごすことができ、社会全体の幸福感が増加する。

発表者

発表者名	守部智博		
所属部署名	健康福祉課		
電話番号	0983-22-2905	FAX 番号	0983-23-6303
E-mail	t-moribe@town.takanabe.miyazaki.jp		

【公営企業会計システムの導入について】

自治体データ（平成24年12月1日現在）

人口	64,098 人	職員数	596 人
----	----------	-----	-------

自治体（もしくは担当部署）の PR

日向市は、国民的歌入「若山牧水」の生まれ故郷であり、温暖な気候と、美しい山々、お倉ヶ浜をはじめとする黒潮おどる太平洋など雄大な自然が自慢です。また、国の重要港湾に指定されている「細島港」は、宮崎県内唯一の国際貿易港として発展を続けており、隣接する工業地帯を含め、宮崎県を代表する「港湾工業都市」として大きく発展する可能性を秘めています。

改善のテーマ

水道事業、病院事業、下水道事業の3事業合同で、公営企業会計システムを導入します。

改善前の状況と課題（Before）

水道事業と病院事業は、それぞれ別々の公営企業会計システムを導入し、運用している。

平成26年4月、地方公営企業法の改正により、従来使用してきたシステムが利用出来なくなるため、システムの改修または新システムの導入を検討しなければならない状況であった。また、下水道事業も同じ時期に、新たに地方公営企業法を適用するため、新システムの導入を検討しなかった。

取組んだ改善の内容（Kaizen）

水道事業、病院事業、下水道事業の3事業共同で公営企業会計システムを導入することになった。

各事業単独で導入するよりも、費用が抑えられることになる。また、庁内 LAN や既存のパソコンを利用できるため、システム構築が一体的に行え、法改正にも迅速に対応が出来ることが期待されている。

また、管理方法が事業ごとに異なっていた固定資産データや企業債データも、新システムにデータ移行することにより、同じ方法で管理が出来るようになる。帳票類の様式も共通したものにすることが出来るため、仮に3事業間内で人事異動があった場合もスムーズに業務遂行が出来ることが期待される。

改善した結果得られた成果（After）や副産物（思いもよらず得られた成果）

当初、水道事業の会計規程の見直しを委託により行うことを考えていたが、システムを合同で導入することがきっかけとなり、水道事業と下水道事業の担当者が合同で会計規程の見直しを自前で行うことになった。平成23年10月から週2日のペースで見直し作業を行うことにより、規程の内容や簿記への理解が深まった。

3事業合同の協議も定期的に行うことにより、連携が密になり、話しやすい雰囲気となった。

また、職員課が呼びかけをしている自主研究グループで「簿記資格取得グループ」が結成されるきっかけとなり、庁内でちょっとした簿記ブームが沸き起こった。

コメント（改善実践者もしくはその上司より）

システムを共有化することにより、時代の変化に迅速に対応が出来るシステムづくりを意識した事例です。

小規模自治体ほど取り組みやすい事例ですので、ぜひ参考にしてください。

発表者

発表者名	辻本 義夫		
所属部署名	日向市 生活環境部 下水道課 業務係		
電話番号	0982-54-4175	FAX 番号	0982-54-1457
E-mail	y-tujimoto@hyugacity.jp		

【学校の教育 ICT 化】

自治体データ (平成 年 月 日現在)

人口	48,000 人	職員数	500 名
----	----------	-----	-------

自治体 (もしくは担当部署) の PR

宮崎県小林市は、南に名峰高千穂峰や韓国岳などの霧島連山、北には九州山地を望む、緑豊かな森林に囲まれた人口約 48,000 人の田園風景都市です。

ちょうど、九州の真ん中下、へその部分に位置し、熊本県、鹿児島県からのアクセスも良好です。

今日はそんな小林市の魅力をご紹介します。

小林市は畜産のまち。10月の全国和牛能力共進会で日本一を獲得した「宮崎牛」の生産基地であり、小林市の畜産農家が育てた牛が見事日本一に輝きました。園芸農業も盛んで「京いも」の生産量は日本一です。また小林高校の駅伝、小林秀峰高校のハンドボール、新体操など全国屈指の強豪高校があり、全国からさまざまな競技の合宿を受け入れるなど「スポーツのまち」としても有名です。日本一に5回も選ばれた星空、市内75ヶ所以上で「湧水」が湧き、日本名水百選にも認定、初夏には市内各地でホタルが乱舞します。

改善のテーマ

学校における ICT を活用したペーパーレス化と経営・運営・事務の効率化

改善前の状況と課題 (Before)

市内各小中学校 (16 校) に対し、国・県や関係機関及び市からの年間 1000 件程度の文書を全て紙媒体で送付していた。中には、枚数が数十枚になるものもあったことから、市教育委員会の手間や消耗品代、コピー代が嵩んでいた。さらに、学校においては、受付文書を校務分掌に応じて各担当用をコピーしていたため、その手間と消耗品代とコピー代がかかっていた。

また、全ての情報を紙媒体や FAX 等でやりとりしていたため、迅速かつ適正な情報共有に欠けており、円滑な学校経営に支障をきたしていた。

取組んだ改善の内容 (Kaizen)

平成 19 年度に Web サーバを導入し、ブラウザ (Internet Explorer 等) ベースの情報共有システムを導入し、そのシステムを活用して、スキャナと PDF ソフトを利用した文書配信機能、文書処理簿機能、掲示板 (BBS) 機能、スケジュール機能を学校に提供開始した。

サーバ構築に費用は要したが、情報共有システムは学校事務職員で構成される事務の共同実施組織が開発したことから、システム開発費及び導入費については市の財源負担を要しなかった (平成 24 年度現時点においては、より高次の機能を求めて SOHO 事業者とシステムを共同開発し、低価格でのシステム利用を行っている)。

さらに、平成 22 年度にはファイルサーバを導入し、大容量の資料や、職階に応じた秘匿性を要する資料の共有をサーバ上で行う仕組みを構築した。

改善した結果得られた成果 (After) や副産物 (思いもよらず得られた成果)

システムを導入した結果、コストメリットや事務の効率化、迅速かつ適正な情報共有が図られたのはもちろんのこと、学校の ICT リテラシー (活用能力) が向上し、現在においては学校から新規機能やシステムについて提案を受け、そのアイデアを教育委員会が実行するというケースも出てきている。また、システムの用途は事務 (校務) に限らず、授業への利用や職員の資質向上にも波及しており、自由に発想し、学校経営・運営に ICT を活用して、教育の質の向上を果たそうという機運が、教育委員会・学校双方に高まっている。

コメント（改善実践者もしくはその上司より）

学校の発案が出てくるような環境となっている一要因として、学校と協働でシステム開発に取り組んだ事が大きいと思う。
現場サイドの意見を尊重することで、互いに切磋琢磨しようという風土が出来上がったと思う。

発表者

発表者名	永野 真吾		
所属部署名	小林市 税務課		
電話番号	0984-23-0115	FAX 番号	
E-mail			

【口蹄疫・新燃岳噴火からの復活！

観光客を取り戻せ！官民共同観光宣伝チラシの配布】

自治体データ（平成 年 月 日現在）

人口	48,000 人	職員数	500 名
----	----------	-----	-------

自治体（もしくは担当部署）の PR

宮崎県小林市は、南に名峰高千穂峰や韓国岳などの霧島連山、北には九州山地を望む、緑豊かな森林に囲まれた人口約 48,000 人の田園風景都市です。

ちょうど、九州の真ん中下、へその部分に位置し、熊本県、鹿児島県からのアクセスも良好です。

今日はそんな小林市の魅力をご紹介します。

小林市は畜産のまち。10月の全国和牛能力共進会で日本一を獲得した「宮崎牛」の生産基地であり、小林市の畜産農家が育てた牛が見事日本一に輝きました。園芸農業も盛んで「京いも」の生産量は日本一です。また小林高校の駅伝、小林秀峰高校のハンドボール、新体操など全国屈指の強豪高校があり、全国からさまざまな競技の合宿を受け入れるなど「スポーツのまち」としても有名です。日本一に5回も選ばれた星空、市内75ヶ所以上で「湧水」が湧き、日本名水百選にも認定、初夏には市内各地でホタルが乱舞します。

改善のテーマ

・官民共同観光宣伝チラシの配布

改善前の状況と課題（Before）

小林市には、官民がそれぞれが運営する観光地が多数存在している。これまで観光シーズンにおける宣伝活動はそれぞれの観光施設ごとにチラシを作成するなどして対応していた。

しかし、その方法では施設ごとに又は行政が単独でチラシを配布するなど単発・バラバラの観光宣伝であることから非効率であった。また、経費がそれぞれ発生するという課題があった。

取組んだ改善の内容（Kaizen）

官民共同で観光宣伝を行うために周辺の観光地が連携して部会を設立。

施設ごとに経費を按分し、共通のチラシを作成した。按分することで、1施設あたりの単価は安価でありながら、大量のチラシを作成することができた。

また、配布にあたっては、各自治体の教育委員会を通じて小中学校生徒に配布することで、コストが実質無料で、効率的に広範囲に配布することができた。（各教育委員会への郵送コストのみ発生）

改善した結果得られた成果（After）や副産物（思いもよらず得られた成果）

取り組みにより、官民共通の目的を低コストで効率よく達成することができた。

広範囲に大量のチラシを配布できたことから、観光客が前年比平均130%の伸びを記録した。施設によっては、前年比700%という記録となった。また、共同の部会で取組んだことにより、マスコミからも取り上げられ、新聞やニュースで報道されるなどパブリシティ効果もあった。

低コスト・効率的であることから今後も長期的にも継続していける取り組みである。部会協議により連携も深まった。今後も協議を継続し、さらなる観光客増加のため、改善に取り組んでいきたい。

コメント（改善実践者もしくはその上司より）

観光PRは、自治体だけでは不可能であり、民との連携が不可欠だと思います。
なぜなら自治体の魅力とは公だけが持つものではなく、むしろ民が持っているものだからです。

発表者

発表者名	種子田 宗希		
所属部署名	小林市経済部産業振興課		
電話番号	0984-23-1174	FAX 番号	0984-22-4177
E-mail	k_syoukan@city.kobayashi.lg.jp		

【端末を使った戸別所得補償制度の現地確認】

自治体データ（平成 25 年 1 月 1 日現在）

人口	167,992	職員数	1,530
----	---------	-----	-------

自治体（もしくは担当部署）の PR

都城市は県の南西部に位置し、人口は南九州では鹿児島市、宮崎市に次いで 3 番目で、南九州における産業、経済、教育、文化の中心的役割を担っています。それを象徴するかのよう、宮崎・鹿児島両県合わせて 9 つの市町村と隣接しています。

最近のご当地グルメである「チキン南蛮カレー」や「都城焼き肉三昧定食炭火定食」などがメディアを賑わしています。

改善のテーマ

戸別所得補償制度の現地確認用地図を紙ベースで運用していたものを、電子データ化したうえで大型プリンタを利用し、カラー出力できるようにしました。さらに、I p a d を活用した新たな改善に取り組みました。

改善前の状況と課題（Before）

現地確認用地図を作成するのに大型プリンタでコピーし、それを貼り合わせて作成したものに情報を手書きで書き込んでいた。地図の作成にかなりの労力と時間を要する割に、字が小さく使いづらい、嵩張るといった課題があった。また、地図とは別にどの地番に何の作物が植えているかを入力した表と確認しながら現地の確認を行っていた。しかし、厳しい財政状況下においては新たな地図作成システム等（見積もりで数百万単位）を導入する予算もなく、前述のような手順で地図を作成していた。

取り組んだ改善の内容（Kaizen）

- ①資産税課のシステム（G I S）にデータを取り込めるようにデータを整理した。
- ②現地確認用地図の田んぼ 1 つ 1 つを作物ごとに色分けし、その作物名をあらかじめ地図に表示できるようにした。

改善した結果得られた成果（After）や副産物（思いもよらず得られた成果）

- ①地図の作成に要する時間と労力を大幅に改善することができた。
- ②地図を見れば確認する作物が色と文字で分かるので、現地確認に要する時間を大幅に短縮することができた。
- ③現地確認後の結果示した地図を作成する必要もあるのだが、そちらに要する作業時間、労力を削減することができた。
- ④試行的に現地確認用地図を P D F 化し、I p a d に取り込んだ上で、P D F に手書きで色を塗ったり字を書けるアプリ（85 円）を利用して現地確認を行った。これは、紙やインク代の削減だけでなく、地図を作成するのに全く時間がかからないことや、同じ地図を複数作成可能、間違っ て 記 入 し て も す ぐ に 修 正 可 能 な ど 大 き な 効 果 が あ っ た。
- ⑤これだけの改善を行ったにも関わらず、所属課として支出した予算及び翌年度以降のランニングコストが 0 円！

コメント（改善実践者もしくはその上司より）

どの市町村も財政状況は厳しく、限られた予算の中でいろいろと改善されているかと思います。今回の事例は、自分だけ、また自分の課だけでは不可能なことでも、常日頃から他課の職員との風通しをよくしておくことや情報交換をしておくことで実現できた改善だと思います。

これは自分の考えですが、面倒くさいと思う作業や仕事には、必ず改善の余地があると思います。改善されていないから作業や仕事を面倒くさいと思うだけで、それを改善するだけですごくやりがいのある作業や仕事に代わっていくような気がします。今回の改善でそのように感じたところです。

また、I p a dなどのタブレット端末の活用については、農業だけでなく、資産税関係や防災関係などの多種多様な業務においても幅広く活用することで、業務の効率化や市民サービスの向上を図ることができるのではないのでしょうか。

発表者

発表者名	鳥取 竜一郎 菱口 寿文		
所属部署名	商工部 商業観光課 商業担当 市民生活部 資産税課 賦課担当		
電話番号	0986-23-2983 0986-23-2124	FAX 番号	0986-25-6200 0986-23-2673
E-mail	shogyo@city.miyakonojo.miyazaki.jp kotei@city.miyakonojo.miyazaki.jp		

【地域住民と協働による公園の花苗植栽】

自治体データ（平成 25 年 1 月 1 日現在）

人口	167,992 人	職員数	1,530 名
----	-----------	-----	---------

自治体（もしくは担当部署）の PR

都城市は県の南西部に位置し、人口は南九州では鹿児島市、宮崎市に次いで 3 番目で、南九州における産業、経済、教育、文化の中心的役割を担っています。それを象徴するかのよう、宮崎・鹿児島両県合わせて 9 つの市町村と隣接しています。最近のご当地グルメである「チキン南蛮カレー」や「都城焼き肉三味定食炭火定食」などがメディアを賑わしています。

改善のテーマや概要

地域住民との協働による早水公園内への花苗植栽

改善前の状況と課題（Before）

外部委託により、年間約 2,000 千円経費がかかっていた。

取り組んだ改善の内容（Kaizen）

以前は外部委託により公園に花苗植栽を行っていたが（経費年間約 2,000 千円）、年 5 回行っている早水公園内での緑の相談所（園芸教室）開催時に、苗作り・鉢上げ実習を取り入れ、参加者全員で園内の花壇に花を植えて、年間を通して園内の花を絶やさない取り組みを行った。

改善した結果得られた成果（After）や副産物（思いもよらず得られた成果）

【得られた成果】

- ・経費削減（年間 2,000 千円）
- ・市民との協働による郷土愛の熟成

【思いもよらず得られた成果】

- ・来園者の増加（園芸教室受講生が自ら蒔き育てた花が公園に咲いているという意識の芽生え）
- ・緑に対する関心の深まり
- ・緑の相談所（園芸教室）の知名度アップ
- ・早水公園のイメージアップ

コメント（改善実践者もしくはその上司より）

年々先細りになる予算の中で、苦肉の策としてこの取り組みを始めたが、思いもよらず成果を得て驚いています。特に 4 年目を経過した緑の相談所（園芸教室）は、年々受講希望者が増え、現在は参加者を抽選で行っている状況であり、緑の相談所（園芸教室）の知名度アップにつながっており、また、早水公園のイメージアップにもなっています。

発表者

発表者名	中村康雄		
所属部署名	都城市 土木部 道路公園課 街区公園担当		
電話番号	0986-23-2613	FAX 番号	0986-23—2158
E-mail	gairo@city.miyakonojo.miyazaki.jp		

【スマート会議】

自治体データ（平成25年 2月 1日現在）

人口	16,736人	職員数	170名
----	---------	-----	------

自治体（もしくは担当部署）のPR

川南町は県の太平洋沿岸の中央部に位置し、雄大な自然の中で農耕・畜産・漁業を主産業とした緑豊かなまちです。また、戦後の大規模開拓が進んだ日本三大開拓地のひとつでもあり、先人たちのフロンティアスピリッツが今も受け継がれ「川南合衆国」とも呼ばれています。

近年は、日本一の軽トラ市やフェスティバルイントロントロン、電飾大作戦などの特色あるイベントのほか、キャンプ誘致を中心としたスポーツランドかわみなみに取り組み、観光客など交流人口増加に力を入れています。

更に、急速に進歩するSNSの有用性に着目し、全国でも2番目となる全職員フェイスブックアカウント取得を実現し、行政情報発信と双方向性を利用した意見聴取を推進しています。

改善のテーマ

これまで多くの手間と時間を要して開催してきた各種会議を、フェイスブックの機能を活用した手法を導入し、最小限の労力と時間で最大限の効果を発揮できる会議となった。

改善前の状況と課題（Before）

会議開催までには、参加者の把握、会場確保、資料作成など多くの労力と時間を要する。しかし、苦勞して会議開催までこぎ着けたものの、議論は進まないばかりか、協議内容など開催後の意思疎通が思ったほど出来ないことが多く見られていた。

取組んだ改善の内容（Kaizen）

全職員がアカウントを持っていることから、グループ機能を利用した周知と参加者把握が容易になった。また、ファイル共有機能により意思疎通を会議開催までに実施し、協議した内容や決定事項についてもグループ内での投稿によって参加者全員で情報を共有するようになった。

改善した結果得られた成果（After）や副産物（思いもよらず得られた成果）

簡単な議論は投稿で済ませることができ、必要のない会議を開くことがなくなった。また、ファイルを共有することができるため事前に協議内容を知ることができ、会議開催時にはある程度の意見を持って臨めるようになった。さらに、会議後は担当者が協議内容や決定事項を投稿することによって、グループ内での意思統一が確保できるようになった。

これまで、顔を合わせた会議では、人付き合いやしがらみ等もあって、これまで意見の出にくい場面が多く見られたが、投稿での議論が行われるようになったため、あまり発言の機会が無かった者からの投稿があるなどの効果も見られるようになった。

コメント（改善実践者もしくはその上司より）

川南町ではSNSを新たなコミュニティとして地域に根付かせていく取り組みを今後も実践していきたいと考えています。まだ使ってないところは、職場などで身近なコミュニティを作ってみても面白いんじゃないでしょうか？

発表者

発表者名	河野賢二		
所属部署名	川南町 総合政策課		
電話番号	0983-27-8002	FAX 番号	0983-27-5879
E-mail	kawa-ken_km@town.kawaminami.miyazaki.jp		

【隗より始める100万泊県民運動】

自治体データ（平成24年4月1日現在）

人口	約113万人（宮崎県）	職員数	約3,800人（知事部局等）
----	-------------	-----	----------------

自治体（もしくは担当部署）のPR

宮崎県は、古来「日向の国」と呼ばれ、太陽の光が燦々と降り注ぐ風光明媚なところです。観光地としても人気があり、かつては新婚旅行のメッカとも言われていました。平成に入り、リゾートやスポーツランドなど、新たな視点で観光振興に取り組んでいます。最近では、県内各地において、特産グルメや感動体験などを素材にして、地域活性化や集客を図ろうとする動きが活発になってきました。県でも「100万泊県民運動」と銘打って、県民が県内各地で宿泊し合う運動を提案し、相互交流や地域振興を図る取り組みを始めています。

改善のテーマ

「100万泊県民運動」について、県職員自らが企画して実践し、県内各地の地域資源の再発見や地域住民との交流を行い、それをマスコミや県ホームページなどで県民に広く紹介する。職員が率先して「隗より始める」ことで、県民の皆さんに県内各地の魅力を理解していただき、県民運動としての大きな流れへと進めていく。

改善前の状況と課題（Before）

「100万泊県民運動」は、河野知事が2年前に自らの政策提案として掲げ、県の総合計画にも位置づけたところだが、まだ緒に就いたばかりで、具体的にどう進めていくか、これからの課題である。

取組んだ改善の内容（Kaizen）

宮崎県では、政策課題や事務改善のアイデアについて、職員が自由に提案を行う「提案・かえるのたまご」という制度がある。そこで、今年度の募集に際し、「隗より始める100万泊県民運動～県職員の手づくり県内ツアーの実施」と題して、職員の知識やネットワークを活かしたツアー企画、職員・家族等の自主参加による県庁版職場旅行の実施を提案し、職員投票やプレゼン審査を経て、知事賞として採択された。

第1回目のツアーは、11月23日～24日に「秋の水郷を巡る延岡感動の旅」と題して実施し、職員家族21名が、「ピュアな自然に包まれて、歴史と文化と産業がコラボする街」の魅力を満喫。延岡市の職員や地域の方々との交流も行い、マスコミでも大きく紹介された。（費用は全額割り勘で、1人約2万円）

第2回目は、3月9日～10日に西臼杵を訪ね、神話伝説に触れながらの町歩きや各種体験、地元レストランでの交流会や農家民泊などを行う予定。

改善した結果得られた成果（After）や副産物（思いもよらず得られた成果）

地域の魅力を再発見し、テーマ性を持ったツアーに仕上げることで、100万泊県民運動の一つのモデルを作り、県民にPRすることができた。また、一連の過程を通して、職員の企画力の向上、秘められた能力の発揮、職員同士の親睦、市町村職員や地域の皆さんとの連携強化など、さまざまな副産物が得られている。

コメント（改善実践者もしくはその上司より）

すでに、この取り組みを知った一部の経済団体や市町村からも関心が示されており、自分たちもやってみようとの反応が出てきている。多くの人々が県内のことを知り合い、お互いに行き来し合うことで、相互理解や地域活性化も進むものと思う。県民がお互いに「小さな贅沢」をすることで経済振興にもつながる。今後、県内各地でツアーを実施し、この輪を宮崎県全体に広げていきたい。

発表者

発表者名	大坪篤史		
所属部署名	宮崎県危機管理局		
電話番号	0985-26-7064	FAX 番号	0985-26-7304
E-mail	ohtsubo-atsushi@pref.miyazaki.lg.jp		

【移動図書館車～知恵と工夫～】

自治体データ（平成 25 年 1 月 1 日現在）

人口	1,267 人	職員数	72 名
----	---------	-----	------

自治体（もしくは担当部署）の PR

宮崎県の西部に位置する村で、児湯郡に所属している。宮崎県内では最も総人口が少ない自治体である。特産品として『ゆず』、『椎茸』、そして『カラーピーマン』などが有名である。また、観光地として、『西米良温泉ゆた〜と』、『小川作小屋村』などがあり、村外から来村される方々が近年増加傾向にある。生涯現役元気村を合言葉に村民ひとり一人が生きがいを持って生活し、村全体で活力ある村づくりに取り組んでいる。なお、本村のイメージキャラクターは狩子坊主（カリコボース）の『ホイホイ』君である。

改善のテーマ

高齢社会につなぐ図書室の在り方

改善前の状況と課題（Before）

本村は村立図書室を村の中心部（村所）に有しており、遠隔地になると図書室を利用するにも車で約 30 分の時間を要する。また、高齢化率 40%を越えており、車を運転出来ない村民も多数いることから、こうした方々が読書を楽しむには難しい状況にあった。

取組んだ改善の内容（Kaizen）

移動図書館車の導入であった。

改善した結果得られた成果（After）や副産物（思いもよらず得られた成果）

移動図書館車が各地区を巡回することで、どんな人でも図書室まで行くことなく本を借りて読書を楽しむことができた。しかし、図書館車を購入することは高額な予算を要するため、職員の知恵と工夫による図書館車の巡回が始まった。このことが、多数の本を貸し出し、そして読書を楽しむ村民を増やすことに繋がった。移動図書館車の取組は、平成 21 年度からスタートした。当初は軽自動車に 3 段のカラーボックスを 2 組（約 200 冊）を載せて巡回し、年間で 1,214 冊貸し出すことが出来た。この冊数は前年度の貸出冊数と比較し、約 12 倍の数を貸し出すことに成功した。そして平成 22 年度からは、不要になった学校給食車を改造し、約 900 冊の本を積んで巡回をし、年間総貸出冊数が 1,579 冊、平成 23 年度は 2,032 冊になった。そして平成 24 年度には村民の読書活動をさらに推進するために、雨でも車内で選書ができる図書館車を約 700 万の予算で購入。こうした取り組みにより、図書室から遠隔地にある集落でも読書を楽しむことができることに繋がった。

コメント（改善実践者もしくはその上司より）

夏の暑い日に図書室の本を車に積み込む作業は大変でした。しかし、巡回を待つ人、そして読書を楽しむ人を思うと、本の出し入れを頑張れました。公用車にカラーボックスを積み込んで始まった移動図書館。読書の推進を考えた時に、効果的な取り組みであると思うところです。

発表者

発表者名	松 葉 大 樹		
所属部署名	西米良村教育委員会 教育総務課 社会教育係		
電話番号	0983-36-1111	FAX 番号	0983-36-1207
E-mail	d-matsuba@vill.nishimera.lg.jp		

STAFF

(敬称略)



◆Special Thanks

審査委員長 石原俊彦

審査委員 日高昭彦

審査委員 徳丸賢治

みやざき犬 ひいくん、むうちゃん、かあくん

餌肥杉トロフィー&メダル制作 日南餌肥杉デザイン会

古代衣装協力 宮崎商工会議所

物品協力 宮崎県自治学院



◆発表グループの皆さん (発表順)

能勢誠(小林市) 弓削勇生(日南市) 横田秀二(高原町) 迫口和豊(宮崎市) 臼本隼也(宮崎市)
小椋大(宮崎市) 沼口一郎(宮崎市) 江下博貴(宮崎市) 児玉朋子(宮崎市) 小崎将司(綾町)
守部智博(高鍋町) 辻本義夫(日向市) 永野真吾(小林市) 種子田宗希(小林市) 鳥取竜一郎(都城市)
中村康雄(都城市) 河野賢二(川南町) 大坪篤史(宮崎県) 横山由美(宮崎県) 松葉大樹(西米良村)

◆MKB26 メンバー (加入順)



八野裕嗣(貝塚市) 小崎将司(綾町) 能勢誠(小林市) 白井一郎(NPO法人) 児玉吉隆(町村会)
伊藤孝(国富町) 佐藤友有子(国富町) 永野真吾(小林市) 宮田陽介(小林市) 橋口幹夫(川南町)
岩満龍(川南町) 三角祐介(国富町) 松葉大樹(西米良村) 稲田陽介(川南町) 三浦久知(宮崎県)
西水流豊和(小林市) 山之内稔(宮崎県) 加藤悠一郎(小林市) 金指秀樹(富士市) 脇元正広(串間市)
松木弘志(宮崎市) 加藤智之(日南市) 宮越直正(高鍋町) 河野賢二(川南町) 中原美季子(美郷町)
吉村優(五ヶ瀬町) 弓削勇生(日南市) 周防郁子(五ヶ瀬町) 日高昭彦(川南町) 森山業(高原町)

◆カイゼン宮崎

西裕治(都城市) 葉上耕大朗(日向市) 押川克久(日向市)

辻本義夫(日向市) 種子田宗希(小林市) 宮地宏季(国富町) 矢野弘倫(国富町)

◆みやざき犬大会に関わってくれたすべての皆さん

ありがとうございました!

また来年お会いしましょう(´▽`)/



え?! 今日給食あるの??

「給食のこんな時どうする？」
～台風でも計画停電でも対応可能な学校給食システムの構築～

● 台風時給食対応マニュアルの作成

改善した内容

- 台風時給食対応マニュアルの作成
(その背景と改善内容、成果)
- 計画停電時給食対応マニュアルの作成
(その背景と改善内容、成果)

台風時の給食対応マニュアル作成

- 背景 (その1)
台風銀座といわれるほど台風襲来の多い南九州。昔から授業日に台風最接近が予想されると、児童生徒の登下校の安全を担保するため臨時休校になる場合が多い。しかしながら学校としては過密なカリキュラムのため極力休校したくないので、当日朝ぎりぎりに判断をしていた。

台風時の給食対応マニュアル作成

・背景（その2）

しかしながら、当日朝休校が決定した場合には、

給食中止



肉、魚などの生鮮食料品の納入中止



業者の責任で処分（処分費は業者持ち）

台風時の給食対応マニュアル作成

・背景（その3）

業者から、前日の判断をしてほしいと要望（6月17日）があったため、前日（6月18日）に（6月19日）給食中止を判断し、休校となった。

ところが、未明に進路が大きく変わり、当日は晴天になってしまったため、学校も業者も困らない給食対応に迫られた。

台風時の給食対応マニュアル作成

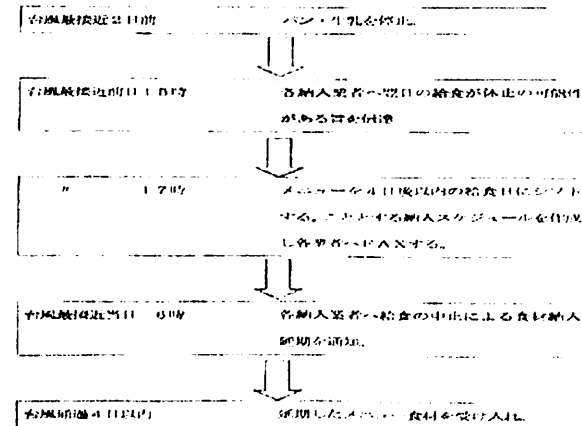
・改善（その1）

各給食施設責任者（3センター、8給食室）を集め、当日判断でも業者が困らないようにするために、出来る事を考えた。

※（食材の発注は2～3週間前に行っている。場合によっては1か月前に発注している。中止変更は1週間前にする必要がある。）

Beforeその1

台風接近が授業日の就業時間にかかる場合の給食対応手順（案）

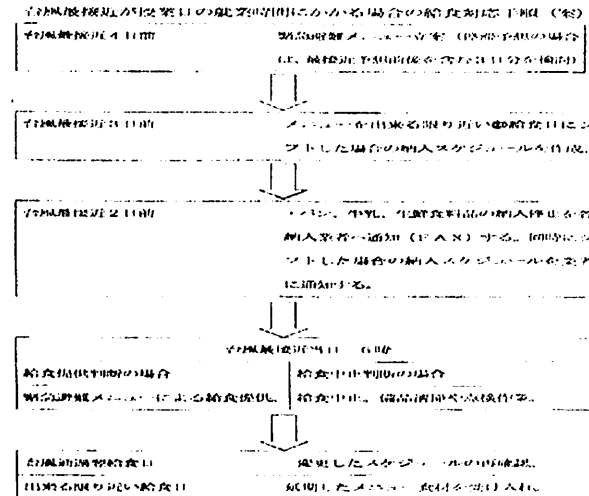


台風時の給食対応マニュアル作成

・改善（その2）

検討した結果を栄養教諭・学校栄養職員、納入業者と情報交換しながら、業者も給食施設も納得できるように工夫し、マニュアルを作成し、全ての関係者に共有を図った。

Beforeその2



台風時の給食対応マニュアル作成

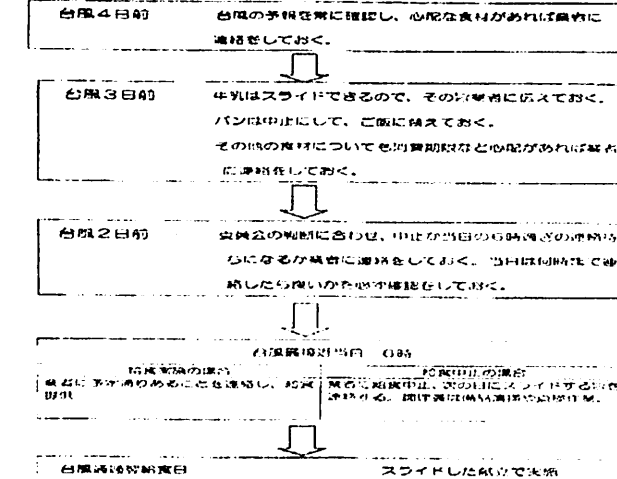
・改善（その3）

最終案を栄養教諭らに修正を加えていただき完成した。

実際の台風接近時（9月17日の台風16号接近）にマニュアル発動の情報発信ができた。実際は進路が逸れたが、準備態勢を構築できたことにより、学校や業者をはじめとする関係者に安心を与えることができた。

After

台風接近が授業日の就業時間にかかる場合の給食対応手順



計画停電時給食対応 マニュアルの作成

計画停電時の給食対応 マニュアル作成

・背景（その1）

6月27日九州電力が新聞報道等で計画停電の開始を発表。

市内の殆どが計画停電エリアに入っており、学校としては休校にしたいため、給食対応（給食を出せるか出せないか）を検討する必要に迫られた。

緊急校長会を開き、停電時間によっては給食中止し、弁当で対応する事が決定した。

Before

計画停電予定を踏まえての学校給食実施対応策

	月日(曜日)	停電開始	停電終了	給食提供	対応策
1	7月2日(月)	8時30分	11時00分	不可	弁当持参(牛乳なし)
2	7月3日(火)	18時30分	21時00分	可	
3	7月4日(水)	18時30分	19時00分	可	
4	7月5日(木)	14時30分	17時00分	可	片付け時間延長により給食は実施
5	7月6日(金)	12時30分	15時00分	可	片付け時間延長により給食は実施
6	7月9日(月)	10時30分	13時00分	不可	弁当持参(牛乳なし)
7	7月10日(火)	8時30分	11時00分	不可	弁当持参(牛乳なし)
8	7月11日(水)	18時30分	21時00分	可	
9	7月12日(木)	18時30分	19時00分	可	
10	7月13日(金)	14時30分	17時00分	可	片付け時間延長により給食は実施

計画停電時の給食対応 マニュアル作成

・背景（その2）

しかしながら、保護者からの不満の声が聞こえるようになった。

また、現場（調理員）からも何とか給食実施できる方法はあるかとの声もあり、台風時マニュアル作成の経験を生かし、施設責任者や調理員と検討を行った。

計画停電時の給食対応 マニュアル作成

改善（その1）

栄養教諭や学校栄養職員と現場の調理員、納入業者と施設責任者が知恵を出し合い、あらゆる方法を検討し、計画停電が実施されても給食実施できる方法を導き出した。

なお、納入業者の協力が得られたのも、台風時対応マニュアルに対する評価が得られたためである。

計画停電時の給食対応 マニュアル作成

改善（その2）

栄養教諭や学校栄養職員がマニュアルに沿った献立を考案し、全体に周知するようにした。

After その1

計画停電が調理時間にかかるとした場合

①計画停電予定が8時30分～11時までの日の対応

「給食の準備、調理の完了時刻、計画停電開始時刻、計画停電終了時刻の4つの時刻」を把握し、計画停電開始時刻と計画停電終了時刻の間を調理時間として確保する。

②計画停電の開始時刻が計画開始時刻を過ぎた場合

給食の準備、調理の完了時刻、計画停電開始時刻、計画停電終了時刻の4つの時刻を把握し、計画停電開始時刻と計画停電終了時刻の間を調理時間として確保する。

③計画停電予定が10時30分～13時までの日の対応

栄養教諭や学校栄養職員が給食の準備、調理の完了時刻、計画停電開始時刻、計画停電終了時刻の4つの時刻を把握し、計画停電開始時刻と計画停電終了時刻の間を調理時間として確保する。

④計画停電の開始時刻が計画開始時刻を過ぎた場合

給食の準備、調理の完了時刻、計画停電開始時刻、計画停電終了時刻の4つの時刻を把握し、計画停電開始時刻と計画停電終了時刻の間を調理時間として確保する。

After その2

計画停電予定を踏まえた学校の給食献立対応表

月日(曜日)	停電開始	停電終了	献立(給食)	対応
7月17日(木)	12時30分	18時00分	給食	給食の準備、調理の完了時刻、計画停電開始時刻、計画停電終了時刻の4つの時刻を把握し、計画停電開始時刻と計画停電終了時刻の間を調理時間として確保する。
7月18日(金)	10時30分	18時00分	給食	給食の準備、調理の完了時刻、計画停電開始時刻、計画停電終了時刻の4つの時刻を把握し、計画停電開始時刻と計画停電終了時刻の間を調理時間として確保する。
7月19日(土)	8時30分	11時00分	給食	給食の準備、調理の完了時刻、計画停電開始時刻、計画停電終了時刻の4つの時刻を把握し、計画停電開始時刻と計画停電終了時刻の間を調理時間として確保する。
7月20日(日)	18時30分	21時00分	給食	給食の準備、調理の完了時刻、計画停電開始時刻、計画停電終了時刻の4つの時刻を把握し、計画停電開始時刻と計画停電終了時刻の間を調理時間として確保する。
7月21日(月)	8時30分	11時00分	給食	給食の準備、調理の完了時刻、計画停電開始時刻、計画停電終了時刻の4つの時刻を把握し、計画停電開始時刻と計画停電終了時刻の間を調理時間として確保する。
7月22日(火)	10時30分	13時00分	給食	給食の準備、調理の完了時刻、計画停電開始時刻、計画停電終了時刻の4つの時刻を把握し、計画停電開始時刻と計画停電終了時刻の間を調理時間として確保する。
7月23日(水)	10時30分	13時00分	給食	給食の準備、調理の完了時刻、計画停電開始時刻、計画停電終了時刻の4つの時刻を把握し、計画停電開始時刻と計画停電終了時刻の間を調理時間として確保する。
7月24日(木)	10時30分	13時00分	給食	給食の準備、調理の完了時刻、計画停電開始時刻、計画停電終了時刻の4つの時刻を把握し、計画停電開始時刻と計画停電終了時刻の間を調理時間として確保する。
7月25日(金)	10時30分	13時00分	給食	給食の準備、調理の完了時刻、計画停電開始時刻、計画停電終了時刻の4つの時刻を把握し、計画停電開始時刻と計画停電終了時刻の間を調理時間として確保する。
7月26日(土)	10時30分	13時00分	給食	給食の準備、調理の完了時刻、計画停電開始時刻、計画停電終了時刻の4つの時刻を把握し、計画停電開始時刻と計画停電終了時刻の間を調理時間として確保する。
7月27日(日)	10時30分	13時00分	給食	給食の準備、調理の完了時刻、計画停電開始時刻、計画停電終了時刻の4つの時刻を把握し、計画停電開始時刻と計画停電終了時刻の間を調理時間として確保する。

7月13日までの給食対応については設置はありませぬ。今回の給食対応については、計画停電が実施された場合に給食の準備、調理の完了時刻、計画停電開始時刻、計画停電終了時刻の4つの時刻を把握し、計画停電開始時刻と計画停電終了時刻の間を調理時間として確保する。なお、牛乳の提供についても要領します。

Before

計画停電予定を踏まえての学校給食実施対応表

月日(曜日)	停電開始	停電終了	給食提供	対応案
7月2日(月)	8時30分	11時00分	不可	弁当持参(午食のみ)
7月3日(火)	18時30分	21時00分	可	
7月4日(水)	18時30分	18時00分	可	
7月5日(木)	14時30分	17時00分	可	弁当持参(午食のみ) 弁当持参(午食のみ) 弁当持参(午食のみ)
7月6日(金)	12時30分	16時00分	可	弁当持参(午食のみ) 弁当持参(午食のみ)
7月9日(月)	10時30分	13時00分	不可	弁当持参(午食のみ)
7月10日(火)	8時30分	11時00分	不可	弁当持参(午食のみ)
7月11日(水)	19時30分	21時00分	可	
7月12日(木)	18時30分	18時00分	可	
7月13日(金)	14時30分	17時00分	可	弁当持参(午食のみ) 弁当持参(午食のみ)

計画停電が調理時間にかかる場合

①計画停電予定が8時30分～11時までの日の対応

※計画停電の発生時刻が調理開始時刻より遅い場合は、調理開始時刻を遅らせる場合があります。この場合、調理開始時刻を遅らせることにより、調理開始時刻が変更される場合があります。この場合、調理開始時刻を遅らせることにより、調理開始時刻が変更される場合があります。

※計画停電の発生時刻が調理開始時刻より早い場合は、調理開始時刻を遅らせる場合があります。この場合、調理開始時刻を遅らせることにより、調理開始時刻が変更される場合があります。この場合、調理開始時刻を遅らせることにより、調理開始時刻が変更される場合があります。

②計画停電予定が10時30分～13時までの日の対応

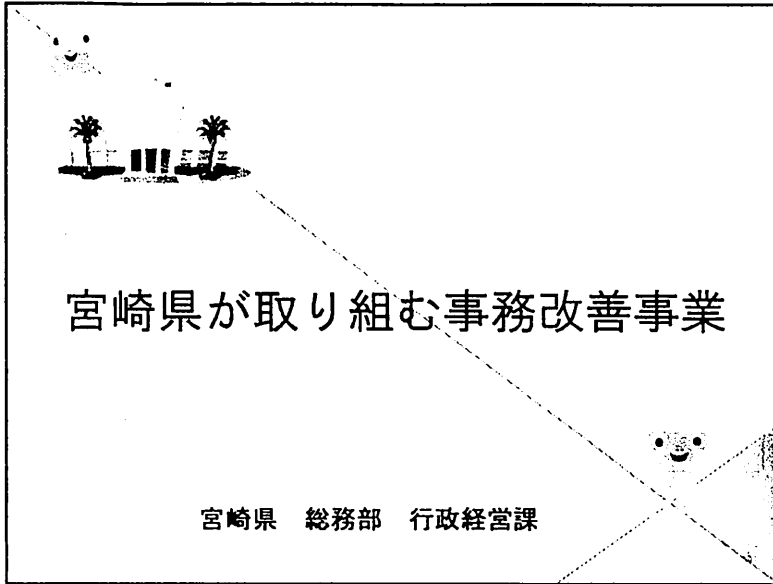
※計画停電の発生時刻が調理開始時刻より遅い場合は、調理開始時刻を遅らせる場合があります。この場合、調理開始時刻を遅らせることにより、調理開始時刻が変更される場合があります。この場合、調理開始時刻を遅らせることにより、調理開始時刻が変更される場合があります。

※計画停電の発生時刻が調理開始時刻より早い場合は、調理開始時刻を遅らせる場合があります。この場合、調理開始時刻を遅らせることにより、調理開始時刻が変更される場合があります。この場合、調理開始時刻を遅らせることにより、調理開始時刻が変更される場合があります。

9月カレンダーお祝い

月	火	水	木	金
3 お誕生会 お誕生会 お誕生会	4 お誕生会 お誕生会	5 お誕生会 お誕生会	6 お誕生会 お誕生会	7 お誕生会 お誕生会
10 お誕生会 お誕生会	11 お誕生会 お誕生会	12 お誕生会 お誕生会	13 お誕生会 お誕生会	14 お誕生会 お誕生会
17 お誕生会 お誕生会	18 お誕生会 お誕生会	19 お誕生会 お誕生会	20 お誕生会 お誕生会	21 お誕生会 お誕生会
24 お誕生会 お誕生会	25 お誕生会 お誕生会	26 お誕生会 お誕生会	27 お誕生会 お誕生会	28 お誕生会 お誕生会

ご清聴ありがとうございました。
ございました。



宮崎県が取り組む事務改善事業

事業1 「ひとりー改善県民サービス向上運動」

- 事業概要
- 取組事例 県税事務所における自動車税取扱事務

事業2 「提案・かえるのたまご」

- 事業概要
- 取組事例1 地震・津波発生時における緊急連絡方法の見直し
- 取組事例2 事務所のお宝発見
- 取組事例3 通勤届の省略

宮崎県が取り組む事務改善事業

事業1 「ひとりー改善県民サービス向上運動」

- 事業概要
- 取組事例 県税事務所における自動車税取扱事務

事業2 「提案・かえるのたまご」

- 事業概要
- 取組事例1 地震・津波発生時における緊急連絡方法の見直し
- 取組事例2 事務所のお宝発見
- 取組事例3 通勤届の省略

宮崎県が取り組む事務改善事業

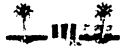
事業1 「ひとりー改善県民サービス向上運動」

【事業概要】

- ・職員一人ひとりが、
- ・仕事の質を向上させる工夫や改善等を行うことにより
- ・県民サービス・利便性の向上を図ることを目的

平成23年度にスタートした、**目標設定・点検制度**

対象：知事部局(7部1局)の本庁各課(局・室)及び出先機関



事業1「ひとり改善県民サービス向上運動」

【実施内容】

個々の職員・担当（係）ごとに取組目標を設定

所属長に報告

↓ 日々の取組

↓ 取組状況を自己点検（四半期毎）

↓ 日々の取組

各所属の取組を取りまとめ（年1回）

制度担当課

効果の高い取組等を情報共有し、取組の波及を推進
（特に優れた取組については表彰等を行う）



事業1「ひとり改善県民サービス向上運動」

【取組の波及を推進】

●事例集を作成し、庁内ポータルサイトに保存

●事例等レポートを庁内電子掲示板でお知らせ

●自己点検等について、庁内放送でお知らせ



事業1「ひとり改善県民サービス向上運動」

【取組の波及を推進】

●事例集を作成し、庁内ポータルサイトに保存

【実績】（平成23年度）

事業1「ひとり改善県民サービス向上運動」



取組事例 県税事務所における 自動車税取扱事務の場合

【現状】

窓口での
自動車税納付

納税通知書を持参
されないが、納付期限
後一定期間の経過

納付書を
再発行

【問題点】

車検を受ける際は
納税証明書が
必要

納税証明書は、
納税通知書に
付いている

再発行された
納付書には付
いていない



**取組事例 県税事務所における
自動車税取扱事務の場合**

[現状]

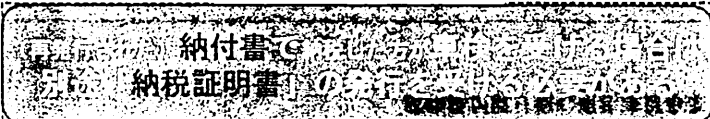
窓口での
自動車税納付



納税通知書を持参
されないか、納付期限
後一定期間を経過

納付書を
再発行

[問題点]



**取組事例 県税事務所における
自動車税取扱事務の場合**

[改善点]

窓口納付の場合は、常に車検の有効期限を確認し、
期限が近い方には、
納税証明書が必要ないか声かけを行っている



[効果]

再度窓口に来所する必要がなくなる

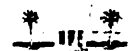


**事業1
「ひとり改善県民サービス向上運動」**

- 事業概要
- 取組事例 県税事務所における自動車取扱事務

事業2 「提案・かえるのたまご」

- 事業概要
- 取組事例1 地震・津波発生時における緊急連絡方法の見直し
- 取組事例2 事務所のお宝発見
- 取組事例3 「通勤届」の省略



事業2 「提案・かえるのたまご」

【事業概要】

庁内の政策や事務改善のアイデアを掘り起こすとともに、
県政課題に率先して挑戦する職員の意欲喚起と意識改革
を図ることを目的として

平成18年度にスタートした、職員提案制度

対象：庁内ポータルサイトを利用できる全職員
(知事部局・企業局・病院局・教育庁等の本庁・出先機関等全所属)



事業2 「提案・かえるのたまご」

【事業概要】



平成18年度にスタートした、職員提案制度

対象：庁内ポータルサイトを利用できる全職員
(知事部局・企業局・病院局・教育庁等の本庁・出先機関等全所属)



事業2 「提案・かえるのたまご」

【実施内容】（平成24年度）

提案の募集 「政策提案」「事務改善提案」に区分

一次審査 ポータルサイトの投票システムを利用した職員投票

二次審査 提案者によるプレゼンテーション
(庁内審査員)

知事表彰 優秀な提案を知事が表彰

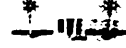
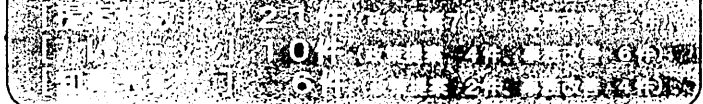


事業2 「提案・かえるのたまご」

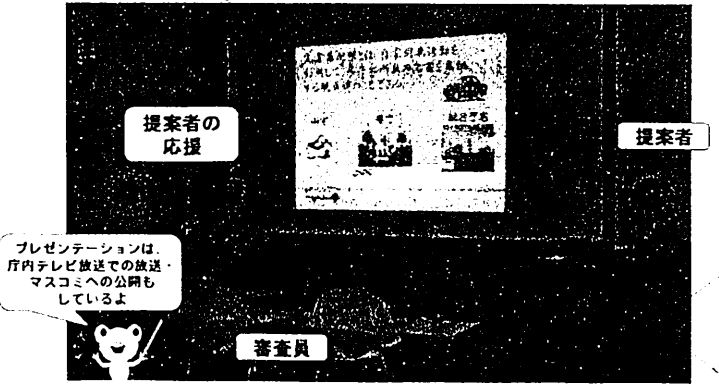
【実施内容】（平成24年度）

- 全ての提案について、
 - ・ 関係所属に情報提供
 - ・ 庁内ポータルサイトにデータベース掲載
- 所属・個人で施策・事務改善に反映（検討）

【実績】（平成24年度）



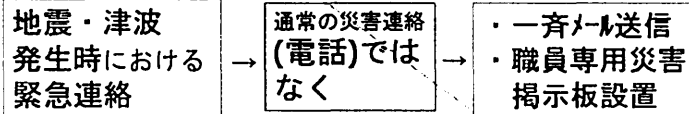
事業2 「提案・かえるのたまご」



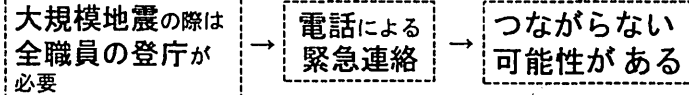


事例1 地震・津波発生時における 緊急連絡体制の見直し

[提案概要]



[現状・問題点]



事例1 地震・津波発生時における 緊急連絡体制の見直し

[改善点]

地震など大規模災害発生時に、
職員の安否と登庁の可否等を確認する

「安否確認メールシステム」を運用開始



事例1 地震・津波発生時における 緊急連絡体制の見直し

●大地震発生後、自動的に職員の
携帯電話に安否確認メールを送信



●職員は、自身の安否・登庁の可否・
勤務先到着までの時間等を返信

●返信されたメールは、自動集計の後、安否等の
情報が応急対策を行う各所属に提供され、
業務遂行体制の構築が開始される



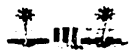
事例1 地震・津波発生時における 緊急連絡体制の見直し

[見込まれる効果]

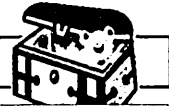
●電話回線が通じ無い場合の安否確認等が可能

●一斉に送受信できることで、
時間の短縮が図られ、
迅速な業務継続体制の構築・維持
が可能となる





事例2 事務所のお宝発見



[提案概要]

各所属で利用されなくなったフィルム式カメラ等の備品・消耗品を点検し、インターネットオークションで売却する

[現状・問題点]

- デジタルカメラの普及により使われなくなったフィルム式カメラ等が存在
- 廃棄する場合にも費用が発生
- マニアには価値があり、廃棄はもったいない



事例2 事務所のお宝発見



[改善点]

- 本庁各課や出先機関における不用物品を調査
- 売却可能なものを選定
- 財務規則の改正、ガイドライン等の作成
- インターネットオークションで売却

[効果]

- 「レンズ」「ストロボ」など
合計62品を約68万円で売却
- 廃棄経費の節約



事例3 通勤届の省略



[提案概要]

県庁（本庁）周辺の人事異動で生じる通勤届を省略できるようにする

[現状・問題点]

例えば「本館」から「7号館」に勤務する庁舎が変わる場合でも、各職員がシステム入力・経路図作成を行い、通勤届の届出が必要



事例3 通勤届の省略



[改善点]

通勤経路の認定方法を変更

《変更前》 → 《変更後》
各自が通う庁舎の 自宅に近い門 「本館正門」に統一

[効果]

- 事務手続の簡素化（変更届の入力・認定）
- 紙資源の節約





【まとめ】

事業1「ひとりー改善県民サービス向上運動」

担当業務に関する改善目標設定、情報共有（波及推進）

【効果】 身近なところから取組、自己点検による継続性

【課題】 組織全体への浸透

事業2 提案・かえるのたまご

担当業務外についても提案、事業化・改善の検討・導入

【効果】 事業化・予算化、プレゼンテーション機会の提供

【課題】 職員の参加、事業化・改善の具体化



【まとめ】

事業に取り組む理由

限られた人員や財源で、多様化・高度化する県民ニーズに応えるための行政サービスを提供し続けるためには、知恵と工夫が必要であり、継続的な取組が不可欠

↓ 新たな行財政改革の指針

「みやざき行財政改革プラン」（平成23年6月策定）

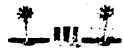
● 効果的・効率的な行政基盤の確立

「提案・かえるのたまご」

● 県民目線による行政サービスの向上

「ひとりー改善県民サービス向上運動」

● 持続可能な財政基盤の確立



【まとめ】

事業に取り組む理由

限られた人員や財源で、多様化・高度化する県民ニーズに応える行政サービスを提供し続けるためには、知恵と工夫が必要であり、継続的な取組が不可欠

↓ 新たな行財政改革の指針

「みやざき行財政改革プラン」（平成23年6月策定）

今後も県庁総力戦で取り組んでいきます！



ご静聴ありがとうございました





～県職員の手づくり県内ツアーの実施～

宮崎県危機管理局 大坪篤史

「100万泊県民運動」

1

宮崎県民113万人が県内に年間1泊すれば、100万泊となり、人やお金が動くことによる経済効果が期待できる

2

一人ひとりが踏み出す一步の積み重ねが大きな効果と呼ぶ

3

県民にとっても「ふるさと宮崎」を再発見する機会となる

4

地域間交流が促進され、観光客を受け入れる施設や観光地の側にも新たな「気付き」が期待できる

1 提案要約

1

県職員が「手づくりの県内ツアー」を企画

～お気に入りの場所、おいしい食べ物、楽しい体験。
1泊2日のツアープランを作成。

2

全庁掲示板に発表して参加者を募集

～職員だけでなく家族の参加もOK。
費用はみんなで割勘(子供は半額)。

3

ツアーの実施

～県内各地の魅力再発見。出会い、ふれあい、感動。
県庁HPやツイッターなどで県民にも広く紹介。

2 現状及び問題点

1

100万泊県民運動は始まったばかり

～「行ってみたい」との動機付けが必要。県内に運動の輪を広げていくために、県職員が率先して行動を。

2

県職員の知識や情報、人脈がもっていない

～担当業務以外でも能力を発揮できる機会が必要。
新たな「出る杭」の実践的人材育成を。

3

風通しの良い職場づくりも大きな課題

～職員・家族の交流、独身職員の出会いの場が必要。
お互いに仲良くなって、明るくゆたかな県庁生活を。

3 効果

①職員の企画力・実践力の向上

②職員・家族間の交流促進

③独身職員の出会い・婚活促進

④地域の人々との交流促進、県民への波及

100万泊県民運動の積極的な推進

要望

①特に予算はいりません。
職員が全庁掲示板に出して募集し、ツアーを実施することを認めてください。

②県の主要施策の推進です。
通常業務に支障のない範囲で、勤務時間内に企画や募集等を行うことを認めてください。

③県庁には夢や実践力を持った人材が必要です。
自ら始めて、この輪を広げていきたいと思えます。

☆隗より始めよ～大きなことを始めるには、呼び水となる小さなことから始めると良い。

具体的な実践例(ツアー第1弾)



参加者募集チラシ

秋の水郷を巡る
延岡感動の旅
11月23日(金) 延岡電報の局 ~24日(土)

日	時間	内容
1日目 (11月23日)	08:00	集合
	08:30	出発
	09:00	延岡電報の局
	09:30	延岡電報の局
	10:00	延岡電報の局
	10:30	延岡電報の局
	11:00	延岡電報の局
	11:30	延岡電報の局
	12:00	延岡電報の局
	12:30	延岡電報の局
2日目 (11月24日)	08:00	集合
	08:30	出発
	09:00	延岡電報の局
	09:30	延岡電報の局
	10:00	延岡電報の局
	10:30	延岡電報の局
	11:00	延岡電報の局
	11:30	延岡電報の局
	12:00	延岡電報の局
	12:30	延岡電報の局

ツアー内容 ～1日目～

①城山歴史散歩
～公園散策、歌詠み



をつかきし城山の地ちりいでぬ
私かりし日同じごとくくに

～1日目～

②昼食
～名物「チキン南蛮」



今回お邪魔したのは
「丸玄」
大根おろしと黒酢を使った甘
酢がたっぷり。
自慢の釜飯も付いたセットを
いただきました。



延岡市内では
48店舗で

を楽しむことができます。
(もちろんタルタルソース付き
も！)

～1日目～

③旭化成工場見学
～それは水から始まった



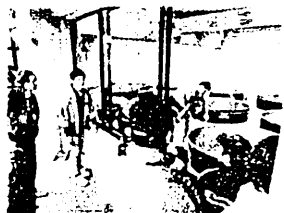
～1日目～

④行勝神社と
ひでじビール工場見学
～スピリチュアル体験&乾杯！?



～ 1 日 目 ～

⑤ 祝子川と
佐藤焼酎製造場見学
～まるで美術館を思わせる佇まいし～



祝子川は、水郷延岡の中でも特に水のきれいな川。その昔、ホオリノミコト(山幸彦)が産湯を使ったところとか。それで祝子川という名前になったのだとか！

佐藤焼酎製造場では最後の工程で1本1本手でぎゅっと握りしめられて愛情を込められてから出荷されているそうです！

～ 1 日 目 ～



愛宕山から見える約300度連なる大パノラマは、
にも選ばれています。

愛宕山は、ニニギノミコトとコノハナサクヤヒメが出会ったという聖地。カップルと一緒に鳴らすと幸せになれるという鐘や終生の金いを誓う鍵のモニュメントがあります。

千徳酒造
贅沢に研がれたお米は白銀のように輝いていました。

～ 1 日 目 ～

⑦ 夕食
～郷土料理と地酒飲み比べ、
曲水の宴



- [1日目]
①城山(集合)
↓
②昼食
↓
③旭化成工場
↓
④行徳神社とひでじビール工場
↓
⑤祝子川と佐藤焼酎製造場
↓
⑥千徳酒造と愛宕山の夜景
↓
⑦夕食(曲水の宴)

- [2日目]
⑧島野浦散策
↓
⑨須美江ファミリー水族館
↓
⑩道の駅 北浦
↓
⑪「黏やな」で昼食

～ 1 日 目 ～

延岡地酒飲み比べ、曲水の宴



～延岡の地酒を回しながら
順番に自分の歌を披露
清酒千徳、佐藤焼酎、ひでじビー



遠か来た
わが来た
旅路の果てにあるもの
は
さとの城山の鐘

～ 2 日 目 ～

⑧ 島野浦散策

～潮風に吹かれながら
フェリーの旅



日豊海岸の
美しい眺めに感動！
フェリーで20分、
高速艇なら10分で到着します。
(ダイヤも充実)

名物「あげみ」
揚げたて、美味しかった～！

～ 2 日 目 ～

⑨⑩ 須美江ファミリー水族館と
道の駅北浦

小さいけど魅力たっぷり！



須美江ファミリー水族館
五ヶ瀬川の生き物、海流に
乗って南からやってくる色鮮
やかな魚など見ることができ、
釣り好きにはたまらない魚た
ち！

タッチングコーナーでは、
「なまこ」を触ることもできる
よ！

～ 2 日 目 ～

⑪ 鮎やなで昼食

～やなでいただく鮎はサイコー



- 【1日目】
①城山(集合)
↓
②昼食
↓
③旭化成工場
↓
④行勝神社とひでじビル工場
↓
⑤祝子川と佐藤焼酎製造場
↓
⑥千徳酒造と愛宕山の夜景
↓
⑦夕食(曲水の宴)
【2日目】
⑧島野浦散策
↓
⑨須美江ファミリー水族館
↓
⑩道の駅 北浦
↓
⑪「鮎やな」で昼食

広 報

ツアー前・ツアー後、
テレビや新聞に取り上げ
たいただいたほか、
県庁ホームページでも
周知を図りました。

事前PR

夕刊デイリー新聞 1面 →
平成24年11月20日(火)

河野県政の目玉事業
100万泊県民運動
県庁職員が先駆け実践

「100万泊県民運動」は、県民の県外泊を促進し、観光客の増加を図ることを目的とした取り組みです。県庁職員が先駆け実践し、県民に呼びかけられています。

第1弾は「延岡感動の旅」
12月2日から12月22日まで参加

事後PR



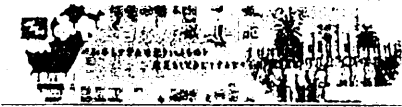
↑ 宮崎日日新聞 平成24年11月24日(土)



↑ 夕刊デイリー新聞 平成24年11月24日(土)

← 毎日新聞 平成24年11月24日(土)

事後PR



県ホームページ
「県庁職員日記ブログ」(12月11日)



県庁職員日記ブログ
12月11日
[Blog content text]



最後に

●効果●

- 地域の魅力を再発見し、テーマ性を持ったツアーに仕上げることで、100万泊県民運動の一つのモデルを作り、PRすることができました。
- 職員の企画力の向上、秘められた能力の発揮、職員同士の親睦、市町村職員や地域の皆さんとの連携強化など

●第2弾決定！●

【日程】3月9～10日 【訪問地区】西臼杵
神話伝説に触れながらの町歩きや各種体験、地元レストランでの交流会や農家民泊など盛りだくさん！

最後に

●波及効果●

すでに、この取組を知った一部の経済団体や市町村からも関心が示され、自分たちもやってみようとの反応が出てきている。

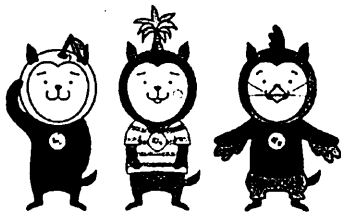
多くの人々が県内のことを知り合い、お互いに行き来し合うことで、相互理解や地域活性化も進むのでは。県民がお互いに「小さな賛沢」をすることで経済振興にもつながります。

今後も、県内各地でツアーを実施し、この輪を宮崎県全体に広げていきたい！

最後に

皆さんも、一緒に
地域の魅力を再発見、発信
してみませんか！

【みやざき犬大会】
 森林セラピー基地を核とした
 “まちづくり”を
 行政主導から民間主導へ
 ～地域づくりは人財づくり。
 お金がおちる仕組みづくり～



発表者：日南市北郷町総合支所産業経済課
 産業経済係 主任主事 弓削勇生

項 目

1. 日南市の概要
2. 改善前の状況
3. 改善の内容
4. 改善後の状況

1. 日南市の概要

- 平成21年(2009年)3月30日に旧日南市、北郷町、南郷町が合併
- 人口約5万6千人

青い海・緑の山々に囲まれ
 自然豊かな魅力あふれる町

2013
NANGO SPRING CAMP

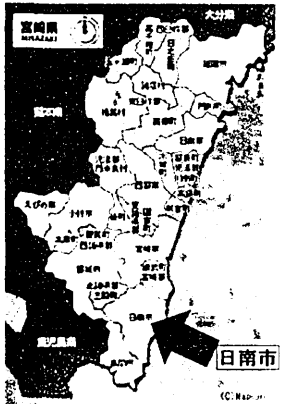
骨太!

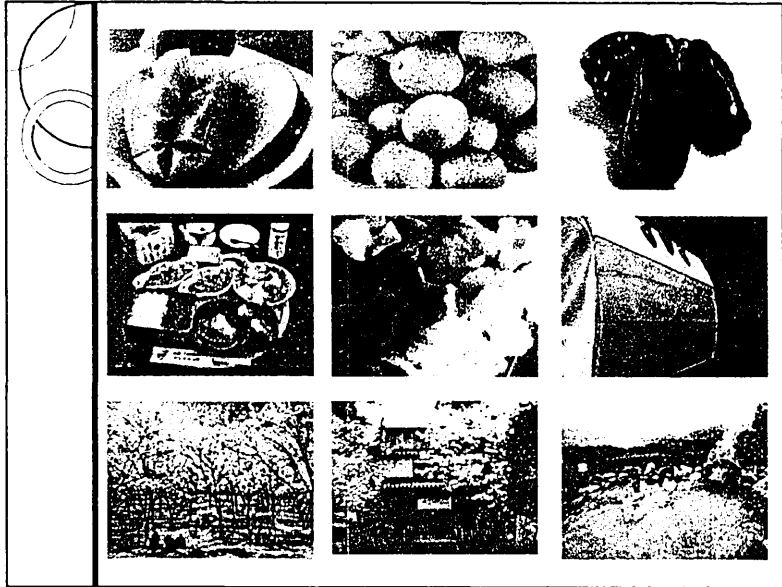
SYNEX YSL 2013
埼玉西武ライオンズ

2013
NICHINAN CAMP

骨太!

SYNEX YSL 2013
広島東洋カープ







2 改善前の状況

平成20年(2008年)4月森林セラピー基地認定

 セラピーロードの整備	 ガイド養成講座の実施
 セラピー弁当の開発	 セラピー体験の実施

しかし

参加費などは低料金の500円など
(無料の時もある...)
しかもガイドや弁当、参加賞までついて
このお値段...

収益性がない

一過性のイベント

3 改善の内容

地域活性化を図るためには
民間が運営できる体制を作る事が必要!!!
【行政はサポート役】

地域主体のセラピー基地
にするために！

そこで…

平成21年度(2009年度)より

国のふるさと雇用再生特別交付金事業
緊急雇用創出事業

3年間で…

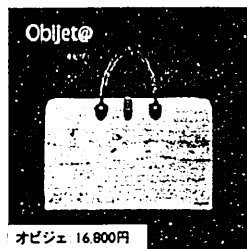
人財育成

基盤づくり

体験メニューの構築

	
ランプシェード作り体験 5,000円	ネイチャークラフト体験 1,500円
	
象のヨガ体験 1,500円	ノルディックウォーキング体験 1,500円

PB商品の開発



Objet@
オビジェ 16,800円



標ボン酢 400円

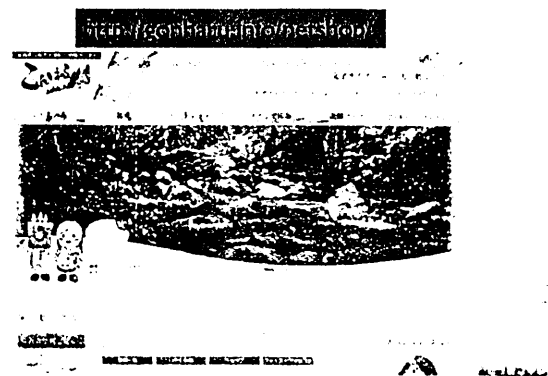


北郷温泉入り洗顔石鹸 1,980円



いつ夢セット 2,500円

ネットショップの運営



即売所の運営及び物産販売



ロード近くにある即売所



県内での展示会



県外での物産販売

3 改善後の状況

森林セラピーを核とした地域主体のまちづくり

- 1) 付加価値のある体験メニューの整備
散策・NW・ヨガ・クラフト・収穫体験など
カスタマイズできるメニュー作り
- 2) 地域ブランドに特化したネットショップ事業の整備
温泉、鉄杉杉など地域資源を活用したPB商品の開発
生産者と連携してネットショップでの販路拡大
- 3) 企業と連携した「森の応援団」の実施
宮崎県内の中小企業と連携し、森林保全活動への取り組み
2012年は、森林保有者の協力のもと、4社と提携し、社員のコミュニケーションやレクリエーションの場所として提供する
- 4) 団体・人材(コーディネーター)の育成
雇用していた職員が地域づくり団体「NPO法人ごんはる」を設立
法人社員がコーディネーターとして体験メニューの構築やインストラクターとして活動中。各種団体の事務局も引き受けている。

地域づくり = 地域資源 × 人材

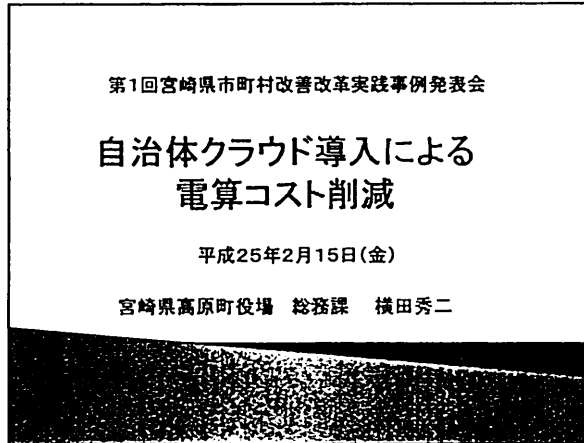
森を生かすのも人
地域を生かすのも人
住民を動かすのも人

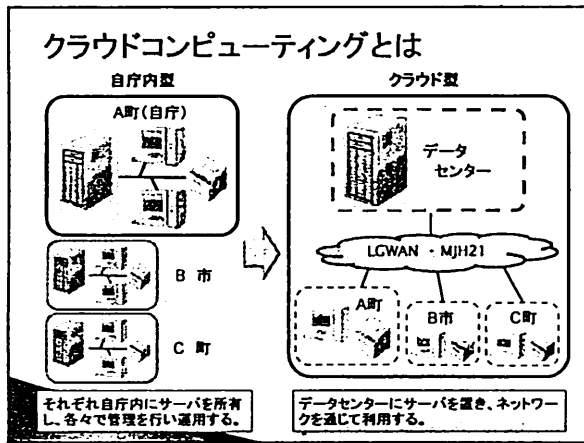
※ 地域に住む人が楽しく生き生きと生活できる
手助けをこれからも心がけていきたい

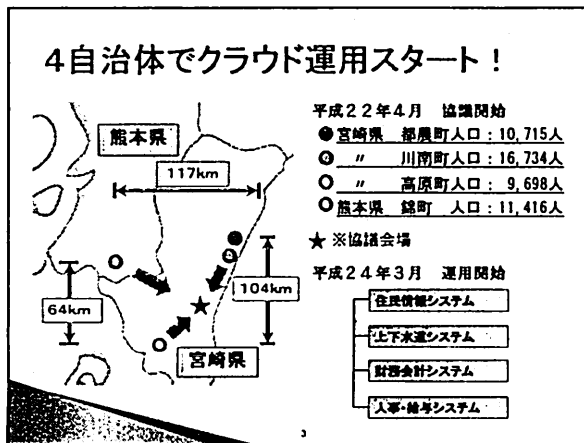
協賛企業： 協賛企業がある公園には花が咲くよ



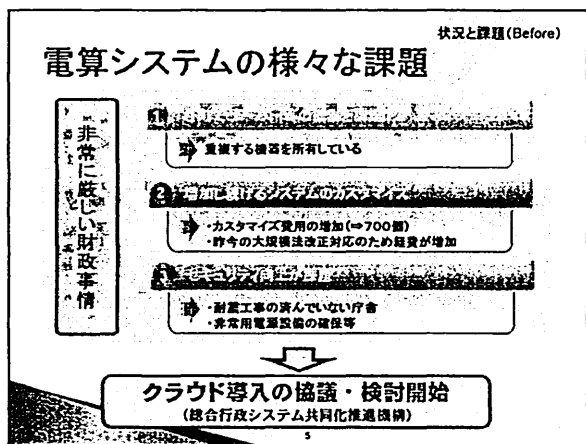
～ご清聴ありがとうございました～



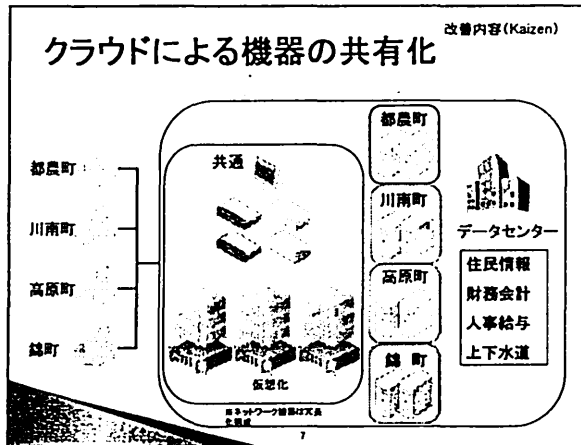


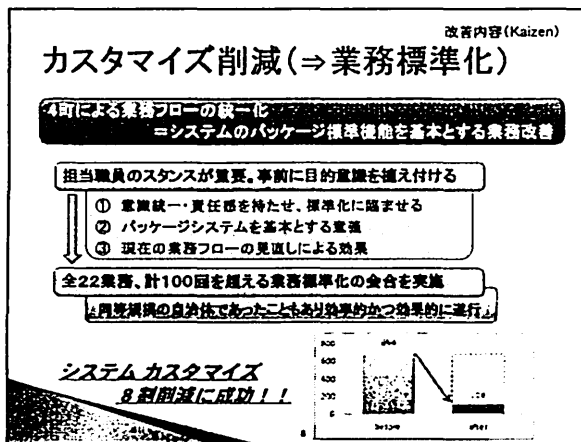


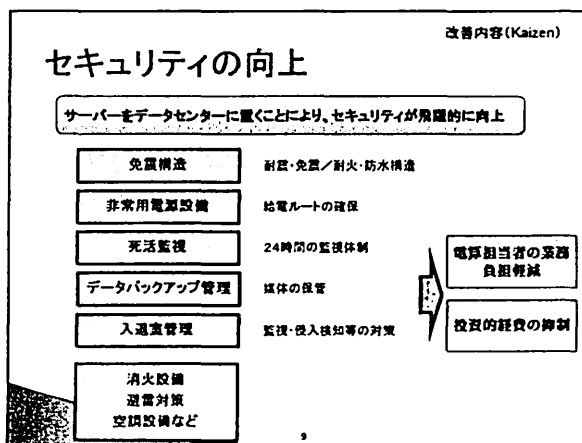
改善前の状況と課題(Before)

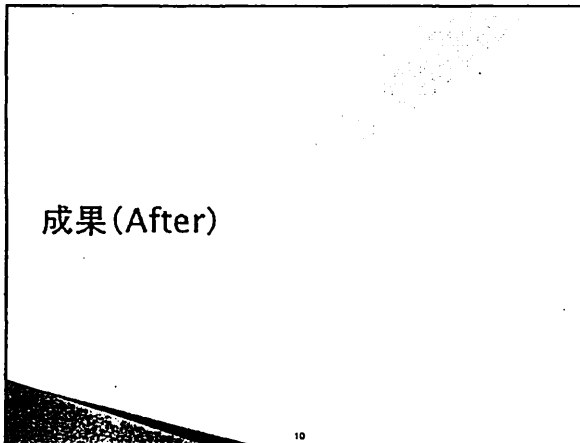


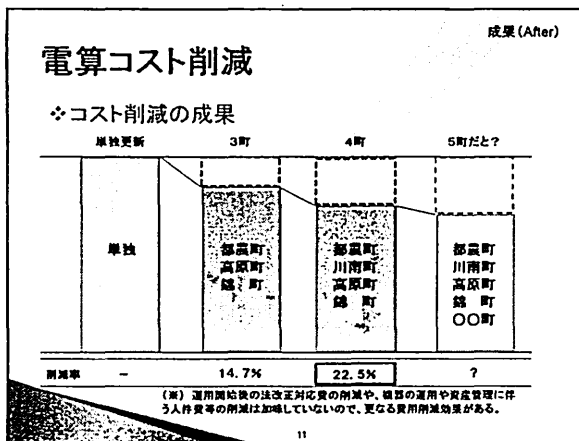
取組んだ改善内容(Kaizen)











新たな住民サービスのスタート 成果(After)

- ◆平成24年4月 コンビニ納付開始
 - ・24時間全国のコンビニで納付可能 (納税環境の整備)
 - ・期待される徴収率の向上
 - ・手数料増加は、コスト削減で捻出
- ◆他町との情報共有化・更なるコスト削減
 - ・システム運用や業務上の相談、情報共有
 - ・LGWAN回線により、全国どの自治体でも参加可能! 参加お待ちしております!

12

